



高校生の時間感覚

要約

第1章 調査の意図と調査対象校および調査対象者の属性・特性

① 調査の意図

今日の社会では、「ある時刻」を守ること、「何分かの時間」で何かを達成することが望まれ、「時間の費やし方」を管理する能力が強く求められている。「時間」には、そのような物理的・客観的な側面と、その一方で同じ物理的・客観的「時間」を長く感じたり短く感じたりと、主観的に感じとられる側面がある。そこで、本調査では、第一に、客観的な「時間」を高校生がどのように費やしているかを明らかにすること、第二に、主観的な「時間」について、高校生がどのように主観的な「時間」を費やし、感じているのかという「時間感覚」を明らかにすることを目的とする。

② 調査対象校と調査対象者の属性・特性

1) 調査対象校について

本調査の対象校は5校である。地域は、愛知県2校、群馬県2校、栃木県1校である。学年別にみると、1年984名、2年657名、3年379名、男女別にみると、男子710名、女子1,307名（不明3名）となっている。

2) 調査対象者の属性・特性

1. 部活動

全体で約80%が加入しており、やや高い加入率といえる（p.14 表1-2）

2. 学業成績の自己評価

全体の分布は正規分布しているが、やや低めの評価となっており、男子より女子の方がやや低い自己評価をしている（p.14 表1-3）

3. 卒業後の進路

3人に2人が4年制大学進学を志望しており、本調査の調査対象校は比較的進学校といえる。男子はほとんどが4年制大学を、女子は4人に1人が専修・専門学校ないし短大を志望している（p.15 表1-4）

4. 性格特性

自分自身にかかわることでの自己評価が高い一方、対人関係の取り方に関する自己評価は総じて低い（p.17 図1-1）

5. 将来観

高校卒業後の進路や将来つきたい職業など、近い将来については9割が考えている一方、遠い将来の生活の様子や社会の様子については3割から5割程度しか考えていない。全体に男子より女子の方が将来について考えている割合が高い（p.18 図1-2）

第2章 高校生の日常生活

① 学校のある日

女子は男子よりも早めに就寝、早めに起床、ゆっくり食事をし、朝の身支度に十分時間をかける（p.20 表2 - 1、p.21 図2 - 1）。1年生は学校生活中心のきまじめな時間を過ごしている（p.22 図2 - 2）。部活動を熱心にやっている層は、起床時間が早い。部活動に今は入っていない層は就寝時間が遅い（p.23 表2 - 2）。夜遅くまで起きている層は、朝の身支度や夕食の時間もゆっくりである（p.24 表2 - 3）。成績上位層は就寝が早い。中位層は朝の身支度や夕食時間が長い。下位層は夜遅くまで起きている（p.25 表2 - 4）。

② 平日の放課後していること

女子は友だちと遊びに出かけたり、友だちと電話で話したりすることが男子よりも多い（p.26 図2 - 3）。1年生は部活動中心、2年生はいろいろなことをやっている、3年生は勉強中心である（p.27 図2 - 4）。運動部非熱心層はテレビを見たり、友だちと電話で話すことが多い。部活動に今は入っていない層は、いろいろなことをやっている。成績下位層は友だちと出かけたり、電話をししたりしている（p.29 表2 - 5）。

③ 休日にしていること

女子は友だちと遊びに出かけたりウインドーショッピングに長い時間をかける。またボーっとしていることも比較的多い。男子は自由時間を過ごすことが女子より多い（p.31 表2 - 6）。1年生は友だちと出かけたり、電話をししたりすることが多い（p.32 図2 - 5）。部活動加入状況別では、運動部非熱心層は友だちとの関係が多く、入ったことがな

い層は、勉強や趣味をする率が高い。成績下位層は友だちと出かけたりウインドーショッピングをすることが多い（p.33 表2 - 7）。

④ 時間に関する意識

睡眠時間と自由時間に関しては時間がとれているという肯定的意見が多いが、勉強に関しては十分とれていない意識が強い（p.35 図2 - 6）。

部活動加入状況別では、運動部熱心層は睡眠時間や自由時間があまりとれていない。入ったことがない層は自由時間と勉強時間がとれている意識が比較的高い（p.36 表2 - 8）。自分の時間の使い方に関しては、不満度が過半数を占める。特に、女子および3年生にやや不満の意見が多い（p.37 図2 - 7）。部活動に今は入っていない層および成績中位層は、「どちらでもない」とする意見が多い（p.37 表2 - 9）。

親の世代との比較ではテレビ、マンガ、友だちとの関係は自分たちの世代の方が長いとする意識が高い。反面、家族団らんの時間、睡眠時間、夕食時間は自分たちの世代が短いと感じている（p.38 表2 - 10）。

第3章 学校生活と時間

① 学校・友人関係・家庭での時間感覚

学校の中では、「苦手な科目の授業を受けているとき」が一番長く感じている（85.6%）。そして、くつろげる、楽しい、好ましい、意欲的に取り組める時間は短く感じ、その反対の時間は長く感じている（p.41 図3 - 1）。性別では、女子は「友だちと電話をしているとき」を短く感じ、男子は「テレビゲームをしているとき」を短く感じている。学年差はあまり認められない（p.42 表3 - 1）。

② 学校での時間意識

板書事項はしっかりとノートするが、先生の話をも熱心に聞きながら要点もノートするといった生徒はそう多くはない(p.43 図3-2)。性別では、授業に参加する形はとるが、集中力を欠いた行動をとる生徒が男子よりは女子の方に若干多い(p.44 図3-3)。学年別では、2年生の授業参加意欲が低い(p.45 表3-2)。

「終了ベル後の延長授業」では、2割(21.4%)の生徒が「1分以内」、3割(29.0%)の生徒が「2～3分くらい」、3割(31.3%)の生徒が「4～5分くらい」、2割(18.3%)の生徒が「6分以上」がまんできる。「お説教」の場合は、親と担任の先生と部活動の先輩がほぼ同傾向を示し、部活動の顧問の先生の「お説教」は前3者より重く受けとめている。学校行事での来賓や校長先生のあいさつには、より強くがまん度が働いている(p.47 図3-4)。性別では、がまん度の弱い生徒は女子より男子の方が多い(p.48 図3-5)。学年別では、2年生のがまん度が弱い(p.49 図3-6)。

③ がまん度の差と学校生活

がまん強い生徒は、学校内での生活時間をそれほど長いとは感じていない。一方、がまんできない生徒は、昼休み以外の時間はどれも長く感じている(p.51 表3-3)。がまん強い生徒は授業への参加意欲が高く、授業中の集中力の欠如も少なく、消極的拒否の態度もあまりとらない。しかし、がまんできない生徒は授業への参加意欲が低く、集中力にも乏しく、消極的拒否の態度をときどき示す(p.53 表3-4)。

部活動加入状況別では、熱心に活動している者にがまん強い生徒が多く、入ったことがない者や今は入っていない者にがまんできない生徒が多い。クラスでの成績別では、がまん強い層に「中の上」以上の生徒が多く、が

まんできない層には「下の方」の生徒が多い。卒業後の進路別では、がまん度の弱い層に「就職」志望者や「まだ決めていない」生徒が多く、がまん強い層には「難しい4年制大学」志望の生徒が多い(p.55 表3-5)。

第4章 マジでキレル何秒前？

時間感覚からみる高校生の耐性

① 本章の課題と分析枠組み

本章では、耐性の一側面には「時間」の主観的な感じ方があるという前提で、高校生の「主観的な時間の費やし方」と「時間の費やし方を通してみた耐性の様子」について検討する。

② 主観的な時間の費やし方

「1日が24時間では足りないと思うことがある」に肯定的な回答が69.3%、「時間に追われていると思うことがある」に肯定的な回答が66.1%。全体から読み取れる高校生の「主観的な時間の費やし方」は、「時間に追われていると感じているのに、時間を惜しいと思ってせかせかしすぎることなく、つついボーっと無駄に時間を費やしている」というところだろう(p.59 図4-2)。

性別では、男子はちょっとした時間を惜しみ、女子はゆっくり時間を使うという傾向がある(p.60 図4-3)。

授業中の態度別では、「時間」に関する授業中の態度が悪い生徒、つまり学校で求められている「時間の費やし方」にルーズな生徒の方が、ちょっとした時間を惜しむ行動をとる一方で、つついずると無駄な時間を費やしている(p.62 図4-5)。

計画性の有無別では、計画性がない高校生の方が、ちょっとした時間を惜しむ行動をとる一方で、つついずると無駄な時間を費やしている(p.62 図4-6)。

欲望満足延期性では、即時型の方がちょっとした時間を惜しんでいるかのようにみえるが、延期型の方が時間に追われていると感じていたり、即時型の方がゆっくり散歩をしていたり、即時型の高校生は、自分のしたいことをするうえで無駄だと感じる時間は惜しむが、大事だと感じる時間はしっかりとる、というように、確かに即時型らしい行動をとっているとみることができぬ(p.63 図4 - 7)。

③ 時間の費やし方を通してみた耐性の様子

「時間に関する耐性(対物)」では、「学校の授業が延びたとき」「コンビニでレジの順番を待つとき」「公衆電話の順番待ちをしているとき」は、「すぐ」から「1~2分くらい」で2、3割が、「5分以内」で半数以上がイライラし始めている。「電車やバスが時間通りに来ないとき」「校外学習などで、学校外で全員が集合するのを待つとき」「演劇やコンサートの開演時間が遅れているとき」は、1~2分までにイライラし始めるのは1割程度にすぎず、定刻をすぎても5分から15分くらい待つのは許容範囲といった感じのようだ。「ファミリーレストランで注文したものが出てくるのを待つとき」「病院で診察待ちをしているとき」は、10分程度待つのは当然で、20分から30分くらいしてようやくイライラし始めるようである(p.64 図4 - 8)。

「時間に関する耐性(対人)」では、「きょうだい」「部活動の後輩」「親」「担任の先生」が、待ち合わせで待たされていてイライラし始めるのが早い相手である。いずれも2割強が待ち合わせの「ある時刻」をすぎて「5分くらい」で、また2割前後が「10分くらい」で、2割弱が「15分くらい」でイライラし始めており、イライラし始める平均時間はおよそ20分弱。「同級生」「親友」「部活動の先輩」「恋人(好きな人)」は、イライラし始め

るまでの平均時間がおよそ25分前後から40分ほど(p.65 図4 - 9、p.66 表4 - 1)。

以上から、「何かをするために待つ何分かの時間」「誰かを待つための何分かの時間」の「時間感覚」も、何を/誰を待つかによって違っており、耐性にも違いがあると考えられる。

性別では、多くの項目で差がみられたが、男子と女子のどちらが耐性が高いかは、項目によってまちまちだった(p.67 表4 - 2)。

地域別では、非都市部の方が対物の耐性が高い(p.68 表4 - 3)。

計画性の有無別では、ほとんどの項目で、計画性のある方がない方よりも耐性が高い(p.69 表4 - 6)。

欲望満足延期性では、総じて延期型の方が耐性が高い(p.70 表4 - 7)。

④ 「計画性」の背景

成績、授業中の態度別、欲望満足延期性で計画性の有無をみると、成績の上位の生徒、時間に関する授業中の態度がよい生徒、欲望満足延期型の生徒の方が、計画性がある割合が高い(p.71 図4 - 10~p.75 図4 - 17)。このことから、今日の社会で求められている「ある時刻」で何かをすることを区切り、「何分かの時間」で一定の成果を達成するという、「時間」に対する規範に肯定的な高校生ほど計画性がある、つまり、今日の社会の「時間」に対する規範に関して社会化しているほど、計画性を身につけているということがいえる。

しかし、それだけにとどまらず、友だちに信頼されていたり、友だちをひっぱっていくことができたりする高校生の方が、計画性のある割合が高いこと(p.75 図4 - 18)から、「時間に関する耐性」と深くかかわりのある計画性が、「時間」以外の側面から計られる耐性ともつながっていると推測される。

第5章 高校生の時間感覚タイプとその日常

① 時間感覚タイプの軸

高校生が時間を意識し、価値づけをする「筋」をみるために、Q25の質問回答を数量化 類にかけた。その結果、現在・未来への価値を意識する、第 軸<将来志向 現在志向>があらわれた。また、自分が時間に従属する・時間を支配する、第 軸<絶対志向 相対志向>があらわれた (p.77 表5 - 1、p.78 図5 - 1、p.80 図5 - 2)

② 各タイプの説明

あらわれた軸をクロスして、高校生の4つの時間感覚タイプを作成した (p.81 図5 - 3)。現在に活動の中心を置き、自分なりにポジティブな解釈を行う「直感型」。現在に活動の中心を置き、時間の規定を受け入れる「現実型」。将来を見据え、合理的な解釈を行う「柔軟型」。将来を見据え、時間の規定をネガティブに受けとめる「とらわれ型」 (p.81 図5 - 4)

③ 各タイプの属性

第 軸の<絶対志向 相対志向>は性差が大きい。男子に<絶対志向>、女子に<相対志向>がある。性別内で学年、進路、成績をみると各タイプの特徴がみられる。学年が上がり、進路が短大・大学へ、クラスでの成績が上位である場合、<将来志向>が高い (p.82 図5 - 5)。現在の時間の使い方には不満を感じている者が「とらわれ型」に多い (p.84 図5 - 6)

④ 各タイプの自画像

将来の生活を考えているのは「とらわれ型」に多い。時間に厳しい親を持っているのは「柔軟型」「とらわれ型」である。彼らの志向性に親のしつけがある (p.85 表5 - 2、p.86 表5 - 3)。「異性から人気がある」と思うのは「現実型」である (p.86 表5 - 4)

⑤ 各タイプの日常

がまんする時間が最も短いのが「現実型」で、落ち着きのなさがみられる。彼らは授業中でも「内職」をしたり、「マンガ・雑誌」を読んだりしている。反対に、忍耐力があり、授業にまじめに取り組んでいるのは「柔軟型」「とらわれ型」である。彼らは事前に予定を立てる傾向にある (p.88 表5 - 6、p.89 表5 - 7、表5 - 8)

だが、事前に予定を立てる「柔軟型」「とらわれ型」であっても、その深層意識は異なる。「とらわれ型」は、余裕を持って生活しているはずなのに、「1日が24時間では足りない」「時間に追われている」と思っている。時間にナーバスな意識をみることができる。一方、「直感型」はマイペースを維持し続けている (p.89 表5 - 8)

このように高校生の時間感覚は4つのタイプに分化して、日々の生活にあらわれている。

〔調査概要〕

対象 愛知・群馬・栃木の公立高校5校の
1～3年生

時期 1999年7月

方法 学校通しによる質問紙調査

サンプル数 2,020名(1年984名・2年657名・
3年379名、男子710名、女子
1,307名・性別不明3名)

注意；本報告書では、要約を含めた本文各章、並びに巻末集計表の集計の数字(パーセント)は、回答不明や無回答を除いた数(回答者数)を母数として計算したもので示している。

〔執筆分担〕

はじめに・まとめに代えて
深谷昌志(東京成徳短期大学教授)

第1・4章
西島 央(東京大学助手)

第2章
木下 勉(東京都立上野高等学校教諭)

第3章
蒲生眞紗雄(東京都立上野高等学校教諭)

第5章・1章1節
浜島幸司(上智大学大学院生)



はじめに ||||

時間との接し方考

目的志向的な時間観

研究者になって30年、常に時間を意識してきた気がする。といっても、今になって考えると、時間の密度が違う。若い頃も時間に追われ忙しいと思っていたが、今になって考えると、気になる単位は何日か数時間だったように思う。講演の依頼は少ないし、原稿も年に何本かなので、何日までに原稿を上げようという程度の忙しさだった。

そのうち、大学の雑用が増え、それと同時に学外での社会的な仕事が増える。もちろん、講演や原稿の数は飛躍的に増加する。そうになると、1つの時間帯に複数の仕事が重なるのが当たり前で、優先順位をつけて仕事をこなしていくのが大変になった。それと並行して気になる時間の長さも「日」や「時間」でなく、「分」に変わってきた。

こうした思い出は、社会人なら誰しも経験することであろう。時間は誰にも平等に与えられている。その時間をいかに効果的に活用するかが重要という考え方だ。筆者の場合なら、授業や教授会などの拘束時間は決まっているので、残りの時間をいかに生み出すかで研究の進み方が決まる。そう信じて、時計を

見ながら研究に取り組む時期もあった。

時間をいかに有効に管理するかに生産性がかかっているという「効率化の思想」であろう。そして、そうした見方はややオーバーに言えば、日本の近代を支えてきたモチーフであった。

改めてふれるまでもなく、江戸時代は「一刻」が2時間なのに加え、「刻」が日の出や日の入りで決まるから、「お江戸日本橋、七つ立ち」といっても、現代風に言えば、夏と冬とで、旅立ちの時刻が異なっていた。刻を半分に刻んだ「半」が1時間であったことを考えると、「分」の感覚は乏しかったのではないか。確かに、どこへ行くにも徒歩だから、人形町から芝へ行くといっても、「半」の感覚で十分だったのである。

明治から大正になり、家庭に時計が入ってきて、「分」の感覚が浸透してくる。しかし、時計といってもぜんまい仕掛けで、誤差が大きいから、5分や10分が長さの単位だったような気がする。「分」に誤差がつきまとうのであるから、「秒」などの感覚はなかった。

そして現在、デジタルの時計が安く手に入るようになり、「秒」も100分の1レベルまで正確に目にできるようになった。正直にいうと100分の1秒などは、スポーツの記録とし

て重要ではあっても、実生活に意味を持たない。しかし、家庭の中にも、そうしたミクロな単位まで表示される。

単位が細くなる傾向と比例するとまでいかなくとも、全体としてみると、現代になるほど時間の密度が濃くなり、その時間を有効に使うことの大事さが説かれ始める。それも、子どもや生徒たちにとっては勉強、社会人は仕事のように、1つのことに力を集中する態度が望ましいといわれる。研究者を例にすれば、特に若い頃、いろいろと多方面に興味を抱くのはタブーで、1つのテーマをこつこつと根気よく取り組む態度が理想とされた。

禁欲的にわき目もふらず、1つのことに集中して時間を使う。そして、目的を達成する。目的志向的な効率化が近代の時間観で、筆者自身もそうした態度を身につけて、禁欲的な研究生活を送っていたような気がする。

自分中心に時間と接する

時間の使い方を考えさせられたのは、アメリカでの体験だった。特に印象的だったのは、大学の仲間たちの生き方だった。アメリカの大学は業績主義が貫かれているので、研究面での競争が激しい。それなのに、友人はかなりの時間をボランティアに割いている。高齢者の施設の運転手をやったり、発達遅滞の学級で読みの相手をしたりしている。不思議になって、「その時間が惜しくはないか」と尋ねてみた。「変なことをいう奴だ」という顔をしながら、「食事や睡眠と同じように、そうした時間をとるのは人間としての当然の行為だ」という。

研究のために、可能な限りの時間を効率よく使うのが研究者の生き方と信じてきただけに、少なくとも週に1日、そうしたことに時間を割くことを信じられなかった。

もう1つ、驚いたことがある。週末になると、いろいろな家族が集まって、夕食パーティが始まる。顔が広いというのか、画家や弁護士、中近東の留学生、本屋の主人、テレビ

関係者など、パーティにはいろいろな職種の人たちが集まってくる。そうした人が仕事を離れて食事をするのだが、何よりも話題が豊富だった。ワインに詳しい人もいれば、肉の通もいる。香料なら何でもわかるという人もいる。食後にピアノに向かい、ビートルズを弾き始めると、バイオリンで伴奏をする人も出てくる。それが決して、いわゆるインテリの集まりでない。庶民と呼ばれる人たちであったりする。

人間の幅が広いというか、奥が深いというか、1人の人間として圧倒されるものを感じた。研究者として専門の話をしているときはこちらの方が上と思うのだが、仕事を離れると、こちらはピアノを弾けないし、香料の話でみんなを惹きつける深さもない。自分から研究を取り除くとゼロに近いが、アメリカ人の友人は研究を除いても、ボランティアの側面や蝶の収集家としての生活や民主党の熱心なサポーター、アマチュアバンドのベース奏者の活動もある。

それも1人だけでなく、アメリカで知り合った友人の多くはそうした生き方をしていた。その後、イギリスやドイツの教授にも会う機会が増えたが、同様に趣味の広さや深さ、あるいは、活動の幅などに太刀打ちできないものを感じた。

正直に言って、自分の幅の狭さを気づき愕然とし、それ以来、何とか人間の幅を広くすることに努めてきた。しかし、いかにも泥縄の感をぬぐえない。今もって欧米の学者と会うと、学問でなく人間として圧倒される感じがする。

こうした気持ちを感じるのは筆者だけではない。アメリカに進出している企業のトップなどをみると、確かに経済的に成功し、ビジネスがうまいのはわかる。しかし、人間としての幅が狭く、ビジネスだけしている人という印象を受け、好感を持っていない場合が少なくない。二昔前に「醜いアメリカ人」といういい方があった。お金だけを持って、無神経に動き回る態度を指したのであろうが、国

外でみていると、日本人も醜い人の仲間入りをしている印象を受ける。

われわれは、1つのことに集中する生き方をしてきた。日本人がエコノミック・アニマルと呼ばれたのは、そうした面を指すのであろう。そして、それなりの成果を上げたのは確かだが、生産性を取り除くと何も残らない。仕事のために生きたというのは聞こえがいいが、仕事に吸収され自分がない。

3年ほど前に、ブラジルのアマゾンに入った。インディオの人たちが昔ながらの生活をしてきた。昼になると、手こぎのカヌーで母親が魚を獲り、父親がジャングルから果物を取ってくる。子どもたちはタロイモでパンを作る。そして、昼食が始まる。そうした毎日が何年も、何十年も続くらしい。ゆったりと何時間単位で、時が流れていく。

ボートで集落の近くに行き、川でピラニアを釣ったり、雲を眺めたりしながら、ぼんやりと1日を過ごす。夕日を見ながら、マナウスの町に戻る。きょう1日自然の中で伸び伸びと生きた思いがして、何ともいえない充実感や解放感を抱いた。そして、また明日もイ

ンディオの集落を訪ねようと思う。

仕事をするといっても、会社は不況になれば、リストラという名の人員整理を始める。終身雇用制も崩れかけている。そうになると、働く方も仕事一途の生き方に疑問が生まれてくる。仕事とのつきあい方も、まず自分の生活があり、それとの兼ね合いの中で仕事も考える。仕事の他に家庭人や地域の人、1人の人間としての生活を持ち、それぞれがバランスを保っている。そうした生き方が大事になる。この先さらに、時間を効率よく管理するのではなく、多方面に触覚を伸ばし、ある面では効率よく、多面ではゆったりと、そして時間を無視してというように、時間をうまく使い分ける必要があるように思われる。不況が長引く現在、この機会に自分の基点として、時間とつきあう態度を作ることも意味があるように思われる。

それでは、高校生は時間とどう接しているのか。若い世代だけに、多方面に触角を伸ばして、時間とつきあっているのか。それとも、受け身のまま流れの中に身を置いているのか。高校生の時間感覚を確かめてみることにしたい。

第1章 IIIII

調査の意図と調査対象校および 調査対象者の属性・特性

1 調査の意図

私たちの人生、いやそんな大上段にかまえなくても日々の生活は、「時間」の流れの中で展開している。私たちにとって「時間」は空気と同じくらい当たり前の存在であり、ふだんは特に意識することなく、一瞬一瞬の時間を費やしてしまっている。しかし、「時間」を痛切に感じさせられる瞬間が1日に何度となくあることもまた、事実であろう。

例えば、学校の授業は、「ある時刻」に始まり、「何分かの間」が経つとその授業は別の「ある時刻」で終わり、やがて次の授業がまた別の「ある時刻」から始まる。「ある時刻」とは、私たちが何かをし始め、し終わる区切りとして、多くの場合正確に定められており、「何分かの間」とは、私たちが何かをするために「ある時刻」で区切られているもので、その「時間」で何かを達成することが期待されている。私たちの人生や生活は、そういった「時間」によって管理され、くみたてられているといっても過言ではない。

特に今日の社会では、社会のしくみが複雑になり、情報化の進展や交通網が整備された

ことによって、私たちには、同時にさまざまな地位についたり役割を果たしたりすることが、かつてよりも強く求められるようになってきている。そのことは「時間の費やし方」にも如実に反映されており、決められた「ある時刻」を厳密に守り、決められた「何分かの間」内で期待された成果を確実に達成することが強く望まれ、1分1秒たりとも無駄に費やすことが許されない、そんな規範さえ感じさせられる社会になってきているといえよう。

その意味で、「時間の費やし方」を管理する能力は、今日の社会ではとても重要な能力だと考えられるのではないだろうか。

このように考えると、社会への入り口に立つ高校生にとって、今日の社会の一員となっていくために「時間の費やし方」を管理する能力を身につけていくことは、重要な社会化の過程といえることができよう。実際、高校生たちは学校で、数学や英語といった教科の勉強をしているだけではない。彼らには「始業時刻に間に合うように登校すること」「授業時間中は教師の話をしっかり聞き、与えられ

た課題をこなすこと」などが求められており、その期待に応えられないと一定のサンクションを科されることがある。このことから、学校で彼らは、決められた「ある時刻」を守り、決められた「何分かの時間」内で期待されていることをこなし、達成することの重要性を学び、そのことを通して「時間の費やし方」を管理する能力を身につけていっていると考えられる。

以上のように、「時間」とは物理的・客観的なものであると同時に、主観的に感じる¹⁾ことのあるものでもある。先ほどの例を使えば、授業はどの授業であっても誰もが同じ「何分かの時間」を過ごしているはずであるが、その「何分かの時間」の感じ方が、授業によって・人によって違うこともあるだろう。

また、今の社会では決められた「ある時刻」と決められた「何分かの時間」を厳密に守ることが期待されている分、その規範が守られなかった場合、多くの人々は不満を感じるだろう。しかし、どのようなことをするために決められた「時間」であるか、どのような人と交わされている規範であるかによって、またその人の「時間の費やし方」やその管理能力の違いによって、不満の感じ方が違うこともあるだろう。

つまり、本来物理的・客観的である「時間」は、私たちの人生や生活の違いによって、人それぞれに、またそのときどきで異なって意識され、解釈されている主観的なものでもある。

その意味で、主観的な「時間」の感じ方＝「時間感覚」は、一人一人の性格によって規定されているばかりでなく、社会的に規定されているもの、つまり、「時間の費やし方」に関する社会化過程に大きく左右されているといえよう。

今日の高校生について語るとき、「キレイやすい」とか、「ストレスがたまっている」などといわれることが多いが、彼らの耐性の一側面には、「時間」の主

観的な感じ方があると考えられよう。だとすれば、彼らが家庭や学校でどのように「時間の費やし方」を学び、その管理能力を身につけたかが、彼らの「時間感覚」にも影響をし、ひいては耐性にも影響しているともみることができるだろう。

以上のような観点から、第一に、客観的な「時間」を高校生がどのように費やしているかを明らかにしてみたいと考えた。これが本調査の1つめの目的である。物理的・客観的な「時間」の指標とは、彼らが実際に日々の生活を過ごすにあたってどのような時間配分をしているかという生活の実態である。特に、学校生活だけではみえてこない平日の放課後と休日の過ごし方をそれぞれに捉えていく。平日と休日という異なる「時間」を彼らがいに分けているのかどうかを検討することで、彼らの「時間の費やし方」を管理する能力にまでふみこんだ考察をしていく。

第二に、彼らの「時間感覚」を明らかにしてみたいと考えた。これが本調査の2つめの目的である。学校生活のさまざまな場面、特に授業中や、広く日常生活のさまざまな場面をとりあげて、彼らの「時間感覚」を捉えていく。彼らの属性や特性に応じて、またさまざまな場面で、「時間」の主観的な感じ方がどのように違うかを検討することで、彼らの「時間の費やし方」に関する社会化過程と「時間感覚」と耐性の関係にまでふみこんだ考察をしていく。

以下の各章では、上記の課題に答えるべく、全体の回答傾向を概観したあと、諸属性による特徴を提示し、考察していく。諸属性については、各章ごとにさまざまではあるが、おおそ地域別、性別、学年別、部活動別、成績別、進路別などをい、彼らの「時間の費やし方」と「時間感覚」を規定するものについて、細部にわたった考察をする。

今日の高校生の日常を描き出すにあたって、私たちの人生や日々の生活にとって空気

と同じくらい自明な存在である「時間」にあえて焦点をあてて分析・考察をすることを通して、「高校生の意識と行動を『時間』を通してみる」という新たな視点を提供していくことが本調査のトータルなねらいである。²⁾

1) 藤田(1991)は、物理的・客観的な時間のことを「顕在的時間」、主観的に感じられる時間のことを「潜在的時間」と呼び、その詳しい定義と、両者の関係ならびにその変遷を論じている。本稿は、藤田の議論に依拠しているが、やや一般的な表現に言い替えた。

2) 本節は、西島と浜島の共同執筆である。

2 調査対象校と調査対象者の属性・特性

1) 調査対象校について

本調査の調査対象校は5校である。学校の所在地は、愛知県2校(A校、B校)、群馬県2校(C校、D校)、栃木県1校(E校)である。本文中で、都市圏・非都市圏という地域別の比較をする場合は、A校、B校を都市圏として、C校、D校、E校を非都市圏と

してグルーピングしている。共学・別学の区別については、A校、B校、C校が共学で、D校は女子校、E校は男子校である。男女別の比較をする場合にやや学校差の影響が含まれていることが否めないことを前もって断っておく。なお、学校別、性別、学年別のサンプル構成の詳細は、表1-1にまとめているので、ご参照いただきたい。

表1-1 サンプル構成

(%)

	全 体	性 別		学 年		
		男 子	女 子	1 年	2 年	3 年
A 校	19.2	25.6	15.8	39.5	0.0	0.0
B 校	15.4	17.5	14.2	8.1	17.7	30.6
C 校	13.0	18.2	10.2	26.6	0.0	0.3
D 校	38.8	0.0	59.8	25.8	40.5	69.1
E 校	13.6	38.7	0.0	0.0	41.8	0.0

2) 調査対象者の属性・特性

①部活動

部活動加入の様子は、表1 - 2のように、全体では約80%がなんらかのかたちで加入しており、過去の「モノグラフ」の調査と比較してみると、加入率はやや高めといえるだろう。少し詳しくみていくと、すでに引退しているなどの関係と思われる学年差、男子は運動部（54.9%）、女子は文化部（45.6%）とい

った男女差、運動部加入者の大半が熱心に活動しているのに対して、文化部加入者は熱心に活動している生徒と熱心ではない生徒とがほぼ半々であるという、部の種類の違いによる関与度の差に加えて、表には示していないが、加入経験が100%の学校も含まれていることから、学校差もみられる。

②学業成績の自己評価

学業成績の自己評価については、表1 - 3

表1 - 2 部活動加入の様子

(%)

	全 体	性 別		学 年		
		男 子	女 子	1 年	2 年	3 年
運動部熱心	35.3	44.8	30.0	46.3	30.3	14.8
運動部非熱心	7.7	10.1	6.4	8.8	8.0	4.3
文化部熱心	18.1	8.5	23.4	19.9	15.3	18.0
文化部非熱心	17.5	8.9	22.2	17.2	13.9	24.7
今は入っていない	16.3	14.8	17.1	5.9	20.0	37.1
入ったことはない	5.2	13.0	0.9	1.8	12.5	1.1

表1 - 3 学業成績の自己評価

(%)

	全 体	性 別	
		男 子	女 子
上の方	10.3	15.2	7.6
中の上	19.6	19.5	19.5
中くらい	27.5	23.1	30.0
中の下	19.9	19.4	20.3
下の方	22.7	22.8	22.6

のように、全体の分布をみると、「上の方」10.3%、「中の上」19.6%、「中くらい」27.5%、「中の下」19.9%、「下の方」22.7%となっている。男女別にみると、女子の方がやや自己評価が低くなっている。

③卒業後の進路

卒業後の進路については、表1-4のように、「就職」2.7%、「専修・専門学校」11.8%、「短期大学」6.1%、「まあまあの4年制大学」

47.9%、「難しい4年制大学」21.8%、「まだ決めていない」9.7%となっている。全体的に4年制大学志望者の割合が高く、本調査の調査対象校は比較的進学校といえる。4年制大学か、専修・専門学校または短大かの進路選択の違いに男女差がみられ、卒業後の進路として進学を希望している生徒のうち、男子はそのほとんどが4年制大学を志望しているのに対して、女子は4人に1人が専修・専門学校または短大を志望している。

表1-4 卒業後の進路

(%)

	全 体	性 別	
		男 子	女 子
就 職	2.7	1.7	3.2
専修・専門学校	11.8	3.4	16.5
短期大学	6.1	0.0	9.5
まあまあの4年制大学	47.9	55.9	43.6
難しい4年制大学	21.8	31.5	16.4
まだ決めていない	9.7	7.6	10.8

④性格特性

性格特性については、図1-1のように、「とてもそう」+「かなりそう」を合わせた肯定的な回答が高かったのは、「友だちが多い」28.0%、「心がやさしい」25.7%、「スポーツが得意だ」24.2%、「努力型だ」22.9%、「行動力がある」19.1%で、反対に肯定的な回答が低かったのは、「異性から人気がある」3.1%、「先生から信頼されている」9.1%、「オシャレな方だ」9.4%、「友だちをひっぱる力がある」12.5%、「友だちから信頼されている」16.1%となっている。全体的には自分自身にかかわることでは自己評価が高い一方、他者との関係の取り方に関する自己評価は低い。

⑤将来観

将来についてどの程度考えているのか、近い将来から遠い将来までと、自分の身のまわりから社会の様子まで、高校生の時間軸の長さや広がりを尋ねた。将来については、総じて男子より女子の方がよく考えているようであるが、図1-2から細かくみていくと、男女差が大きくみられるものと学年差が大きくみられるものがある。

近い将来である、「高校を卒業したあとの進路」「将来つきたい職業」は、9割が「よく考える」+「ときどき考える」と回答して

おり、高校生は思ったほど即時的ではないようだ。また、男女差もややみられるが、学年が上がるにつれて、より考えるようになっていっていることの方に注目できよう。

遠い将来のことのうち、「将来どんな人と結婚したいか」「自分の子どもをどう育てたいか」といった身のまわりの生活の様子については、「よく考える」+「ときどき考える」という回答は5～6割にとどまっており、近い将来に比べて遠い将来のことを考えている割合はやや少ない。遠い将来のことのうち、「自分が社会の中心になっている頃の日本社会」については、3割弱が「よく考える」+「ときどき考える」と回答しており、遠い将来の、しかも身のまわりのことでないことへの関心はまだ高くないようだ。いずれも若干の学年差がみられ、学年が上がるにつれて「ときどき考える」割合が高くなっていくが、「よく考える」割合の男女差の方が注目に値する。つまり、身のまわりの生活の様子については男子よりも女子がより考えているのに対して、社会の様子については女子よりも男子がより考えている。

<参考文献>

藤田英典 1991 『子ども・学校・社会』東京大学出版会。

図1 - 1 性格特性

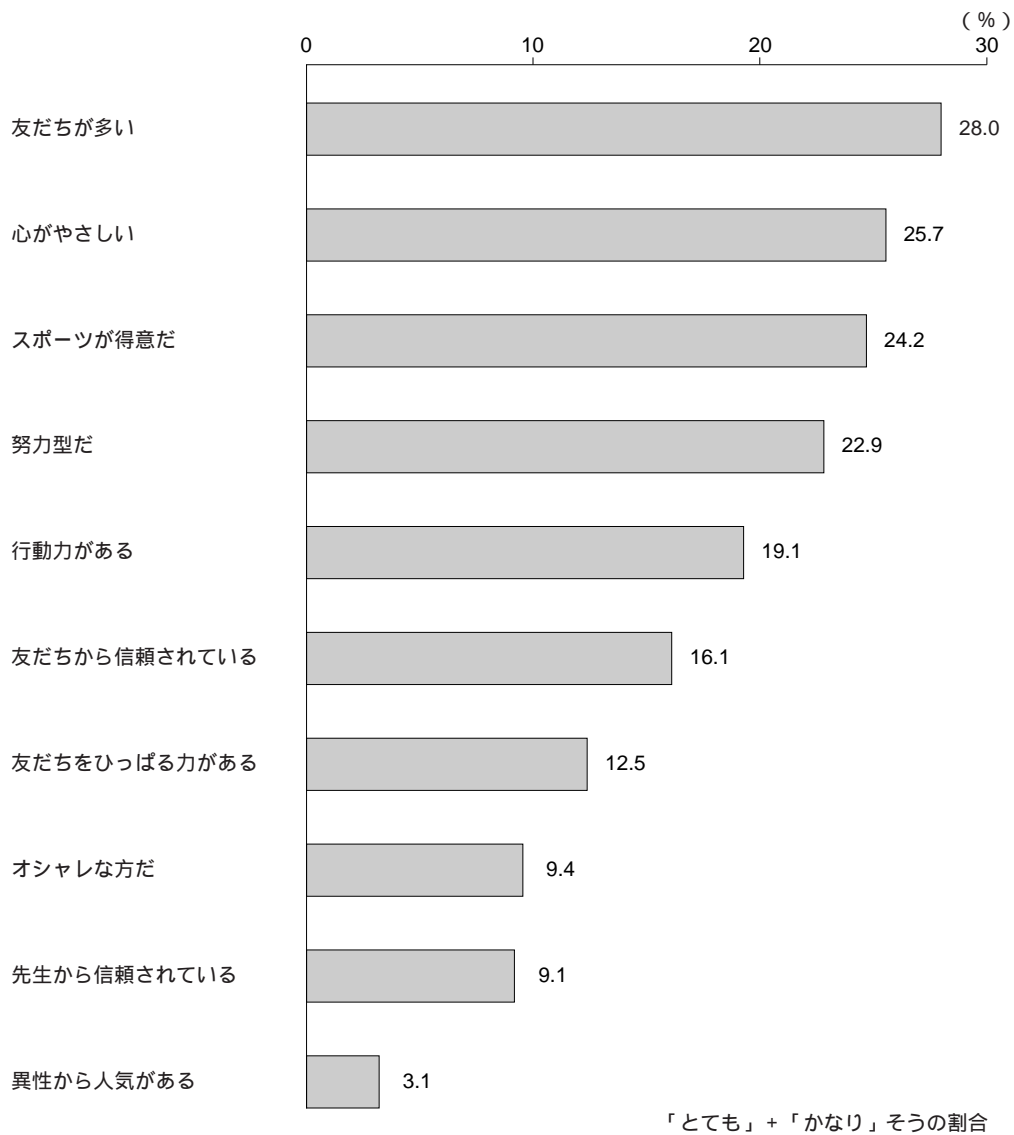
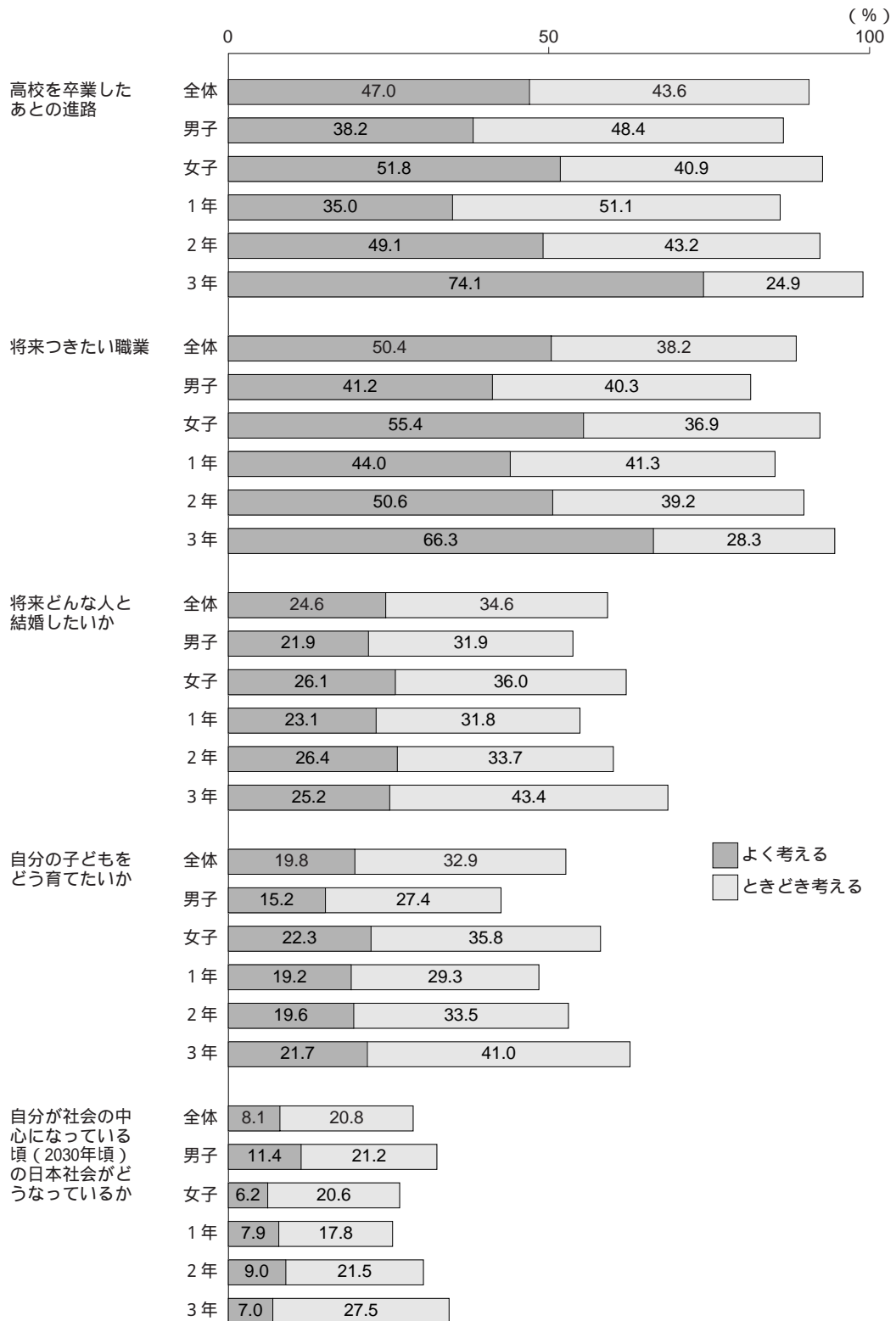


図1 - 2 将来観



第2章

高校生の日常生活

■諦めていない人たち・諦めた人たち——●

高校生に日頃接していると彼らは一様に「毎日が忙しい」「時間がいくらあっても足りない」と嘆く。1年生は「中学生の頃の方がゆったりと楽しむことができた」といい、2年生は「勉強以外にやることがいっぱいあって忙しい」という。3年生は受験勉強である。「もっとゆったりと暮らしたい、のんびりしたいというのが今一番の望みだ」という。でも「のんびりしている人もいないか」というと、「私たちは諦めている人たちと違うから」という。のんびりしている人は諦めている人たちで、忙しい自分たちは諦めていない人たちなんだそうである。教員目からすれば、万事にマイペースで学校生活を送っていたり、遅刻はする、予習復習や宿題をやってこないなどいろいろなタイプののんびり

屋さんがいる。彼らが何を諦めているのかは、この言葉を発している生徒たちにとっても必ずしも共通のイメージがある訳ではないが、「諦め」が高校生たちの時間に関する捉え方の1つの基準になっているようである。

この章では、高校生がどのような時間の使い方をしているのか、何が忙しいのかを①学校のある日、②平日の放課後、③休日の過ごし方の3項目から検討する。さらに、④時間に関する意識を睡眠時間、自由時間、勉強時間が十分とれているか否か、さらに自分の時間の使い方の満足度、親世代が高校生の頃どのように時間を使っていたと考えるか、の点から検討し、現在の高校生の生活時間の実態と意識を探ってみたい。

1 学校のある日

ここでは学校のある日の生活時間を、起床から就寝までどのような使い方をしているかで検討してみた。

どこの高校でも遅刻する生徒が多くその防止策に頭を悩ませるのが常であるが、その一方で部活動の早朝練習や教科の朝補習に参加している生徒もいる。さらに、朝の出勤ラッシュの混雑を避けて7時前後に登校して、教室で自習をしたり本を読んでいる生徒もいる。また、家庭に帰ってからの勉強時間などを聞いてみても、学校から帰って一旦寝てか

ら夕食後勉強するという者、部活動で帰宅が遅いから朝起きてする者など、それぞれ工夫した時間の使い方をしているようである。

今回の調査では朝「6時30分以前」に起床している者が全体で40.6%、「7時15分以降」が24.5%いる。朝の身支度にかかる時間は「5分以内」が23.4%、「10分くらい」が21.4%、「15分以上」が55.3%、中でも「30分以上」が16.6%いる。家族そろっての夕食は「20分以内」が41.2%、「30～40分くらい」が49.2%、1人での夕食は「10分くらい」が22.6%、

表2 - 1 学校のある日の生活時間

		(%)			
		全 体	性 別		
			男 子	女 子	
朝の起床	6時30分以前	40.6	33.8	<	44.3
	6時45分～7時頃	34.9	33.3		35.9
	7時15分以降	24.5	32.9	>	19.9
朝の身支度	5分以内	23.4	44.1	>	12.1
	10分くらい	21.4	26.8	>	18.4
	15分以上	55.3	29.0	<	69.7
家族そろっての夕食	20分以内	41.2	50.7	>	36.2
	30～40分くらい	49.2	43.1	<	52.3
	50分以上	9.6	6.2	<	11.5
1人での夕食	10分くらい	22.6	29.7	>	18.6
	20～30分くらい	68.0	63.2	<	70.7
	40分以上	9.5	7.0		10.8
夜の就寝	11時まで	18.5	17.8		18.9
	11時30分～0時頃	44.1	42.0		45.4
	0時30分～1時頃	29.3	30.6		28.7
	1時30分以降	8.0	9.6		7.1
門 限	8時まで	26.5	20.8	<	29.7
	9～10時頃	11.3	8.9		12.5
	11時以降	1.2	1.7		1.0
	特にない	60.9	68.6	>	56.7

<は5%以上差のあるもの

「20～30分くらい」が68.0%いる。就寝時間は「11時まで」が18.5%、「11時30分～0時頃」が44.1%、「0時30分～1時頃」が29.3%いる。門限は「特でない」者が60.9%、「8時まで」が26.5%、「9～10時頃」が11.3%である（表2 - 1）

性別にみても、女子は起床時間「6時30分以前」が44.3%であるのに対して、男子は33.8%でまだ3分の1しか起きていない。「7時15分以降」に起床する男子が32.9%いる。女子は起床後の顔を洗ったり髪を整えたりする身支度に時間をかける。「15分以上」が、男子29.0%に対し女子は69.7%である。

図2 - 1は朝の身支度時間を性別に比較したものである。女子は「30分以上」が23.1%である。

夕食時間は家族一緒の時と1人の時があるが、ともに男子は早め、女子はゆっくりの傾向であることがわかる。夜の就寝は、女子の方が比較的早めである。

門限は「特でない」者が男子68.6%に対し、女子は56.7%、「9時まで」が男子25.5%、女子37.6%である。遅くまで塾や予備校に通っていたり、24時間消費時代で夜遅くまで街中をうろついている眠らない若者たちがしばしば話題になる昨今、この門限に関する数字をどのように評価するか難しい。9時門限が男子の4分の1、女子で4割近くいることは意外に多いように思える。今回の調査対象校の地域性や学校レベルなども加味する必要があるが、まだまだ家庭による健全な時間管理が生きている印象を受ける。

図2 - 1 朝の身支度時間 × 性

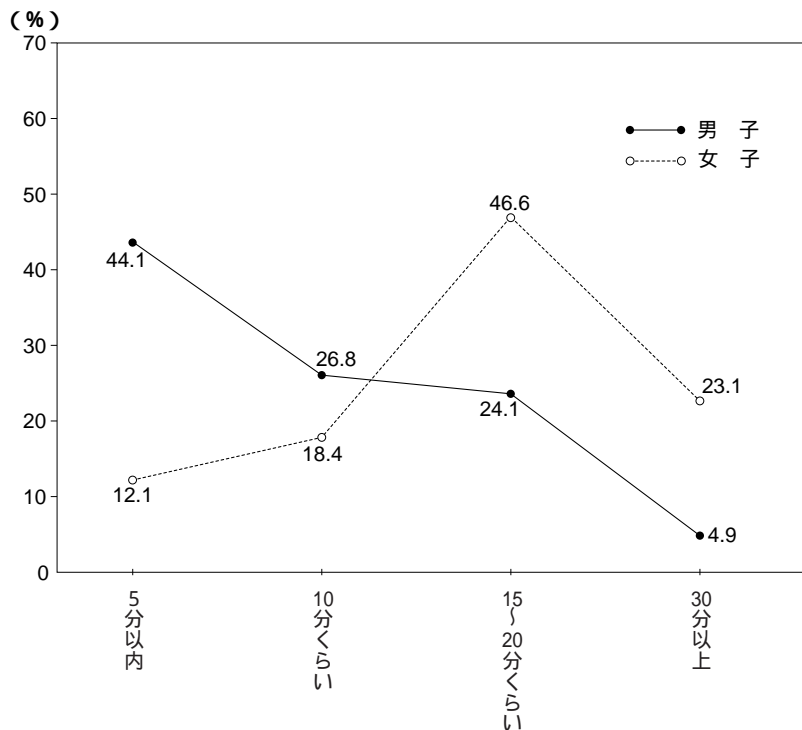


図2 - 2は、学校のある日の生活時間を学年別にまとめたものである。1年生は起床時間、身支度の時間、就寝時間ともに早めできまじめな生活である。高校生活のビギナーとして不慣れであるともいえる。2年生は起床時間は遅く、身支度にもあまり時間をかけな

い。高校生活に慣れを感じる。受験を意識しているであろう3年生の数値と比べれば、2年生の慣れは中だるみの現れともいえる。3年生は就寝時間が遅い。身支度に「15分以上」が66.2%と多い。これは今回調査の3年生の87%が女子であることに起因すると思われる。

図2 - 2 学校のある日の生活時間 × 学年

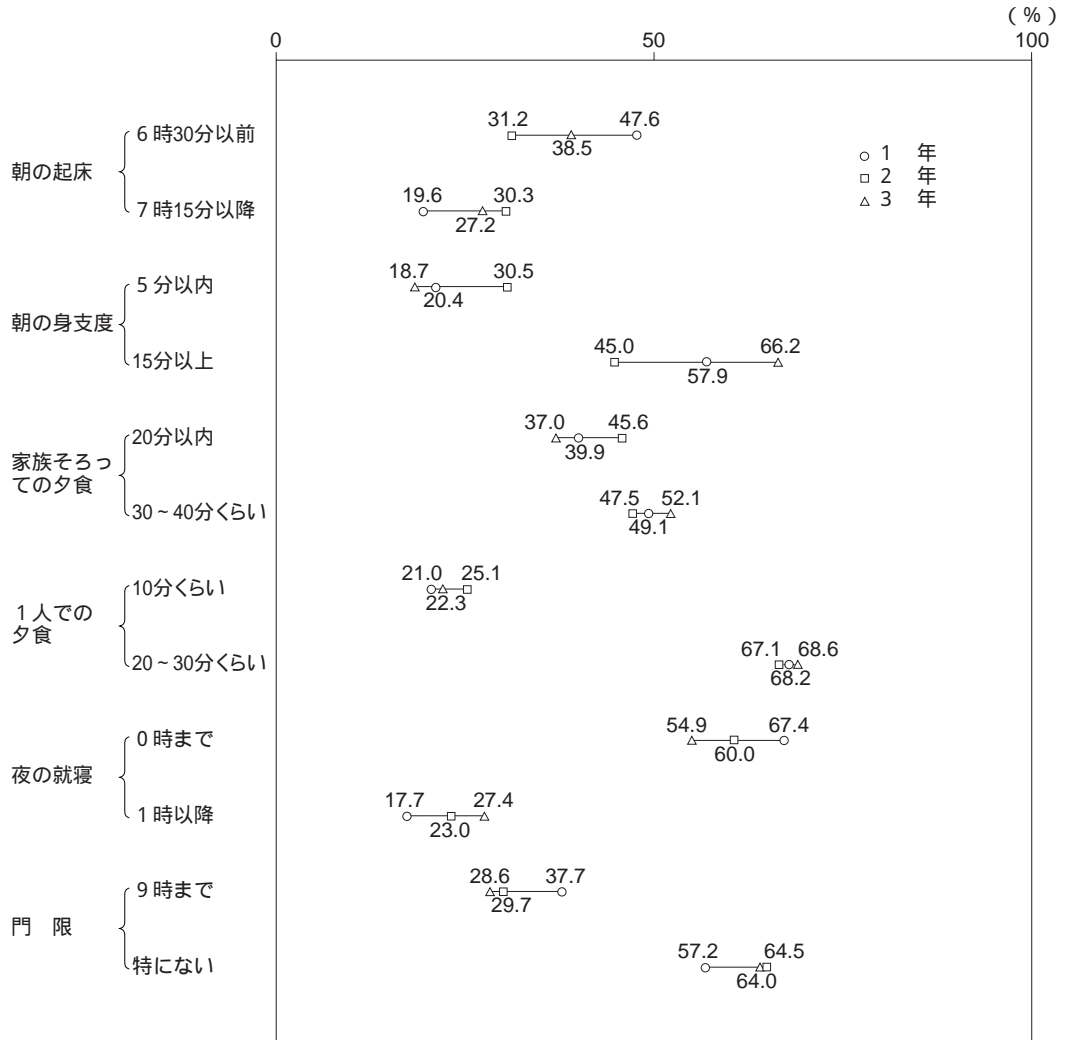


表2 - 2は、学校のある日の生活時間を部活動別にまとめたものである。運動部、文化部ともに熱心層は起床が早く、「6時30分以前」に44%が起床している。運動部熱心層は夜の就寝時間も早めで、「0時まで」には68.7%が寝ている。部活動に今は入っていない層は夜遅く、朝も一番遅い。部活動に入

ったことがない層は身支度の時間をあまり使わない。「5分以内」が39.5%と際だつて多い。夕食にもあまり時間をかけていない。また、門限が「特にない」は74.0%と他の層に比べ極めて多い数字である。

表2 - 2 学校のある日の生活時間 × 部活動

(%)

		全 体	部 活 動					
			運動部 熱心	運動部 非熱心	文化部 熱心	文化部 非熱心	今は入って いない	入ったこと はない
朝の起床	6時30分以前	40.6	44.4	38.6	44.0	37.2	34.6	34.7
	7時15分以降	24.5	22.5	30.3	20.9	23.8	30.8	26.9
朝の身支度	5分以内	23.4	26.2	22.1	22.3	15.0	23.3	39.5
	15分以上	55.3	50.7	57.7	57.5	67.1	56.0	32.6
家族そろつ ての夕食	20分以内	41.2	40.7	47.1	33.7	40.6	44.9	53.9
	30-40分くらい	49.2	49.8	45.4	44.0	40.9	46.1	40.4
1人での 夕食	10分くらい	22.6	21.8	21.9	20.4	22.6	22.9	34.0
	20-30分くらい	68.0	68.3	69.0	71.1	65.9	69.4	55.3
夜の就寝	0時まで	62.6	68.7	63.2	61.6	63.9	51.6	52.9
	1時以降	21.2	13.9	19.3	26.3	21.9	30.9	25.9
門 限	9時まで	33.3	33.9	36.1	35.7	34.9	30.0	25.0
	特にない	60.9	59.7	55.5	60.1	59.9	63.0	74.0

○は最大値 ~は最小値

表2 - 3は学校のある日の生活時間と就寝時間との相関をまとめたものである。就寝時間が「11時まで」の者は起床「6時30分以前」が63.2%、「1時以降」就寝層は起床「7時15分以降」37.1%、身支度「15分以上」は57.2%、

家族との食事時間「30～40分くらい」が51.4%と起床時間だけではなく時間の使い方がゆっくりしている。逆にいえば、身支度や食事などに時間をかけている層は寝るのも遅く、起きるのも遅いといえそうである。

表2 - 3 学校のある日の生活時間 × 就寝時間

(%)

		全 体	就 寝 時 間				
			11時まで	11時30分頃	0 時頃	0時30分頃	1時以降
朝の起床	6 時30分以前	40.6	63.2	44.0	40.0	32.4	25.0
	7 時15分以降	24.5	10.9	17.9	21.0	29.4	37.1
朝の身支度	5 分以内	23.4	26.6	19.5	22.4	20.9	21.5
	15分以上	55.3	53.2	57.0	55.0	53.7	57.2
家族そろっての夕食	20分以内	41.2	43.1	41.5	41.2	43.1	38.0
	30・40分くらい	49.2	49.2	48.5	49.7	46.2	51.4
1人での夕食	10分くらい	22.6	23.8	26.8	20.3	22.6	20.6
	20・30分くらい	68.0	66.5	65.1	71.9	67.1	67.3
門 限	9 時まで	33.3	38.6	28.3	34.4	33.8	31.3
	特にない	60.9	56.8	66.6	59.8	59.9	61.4

○は最大値

表2 - 4は学校のある日の生活時間と成績との相関をみたものである。成績上位層は各項目ともに早め、中位層は時間を多く使う傾向がある。成績下位層は「1時以降」就寝が25.3%と一番多い。表2 - 3と合わせてみる

と、成績上位層は時間をうまく使い、すべきことを済ませ早めに寝ているが、成績下位層はぐずぐずと宵っ張りですべてまで起きている。

表2 - 4 学校のある日の生活時間 × 成績

(%)

		全 体	成 績				
			上の方	中の上	中くらい	中の下	下の方
朝の起床	6時30分以前	40.6	43.1	(44.0)	40.3	37.3	39.7
	7時15分以降	24.5	25.3	22.1	23.7	23.3	(28.2)
朝の身支度	5分以内	23.4	(25.7)	23.0	21.5	23.3	24.2
	15分以上	55.3	54.5	54.7	(57.8)	52.7	56.5
家族そろっての夕食	20分以内	41.2	40.3	41.6	37.9	(45.6)	42.4
	30-40分くらい	49.2	49.7	49.0	(53.0)	45.9	47.1
1人での夕食	10分くらい	22.6	24.0	23.0	17.8	23.7	(25.6)
	20-30分くらい	68.0	60.0	71.0	(74.5)	66.2	63.1
夜の就寝	0時まで	62.6	(65.8)	64.5	63.7	62.1	58.4
	1時以降	21.2	22.4	18.6	19.9	21.0	(25.3)
門 限	9時まで	33.3	31.5	34.4	30.7	(36.1)	33.1
	特にない	60.9	60.5	61.0	(65.2)	56.5	60.7

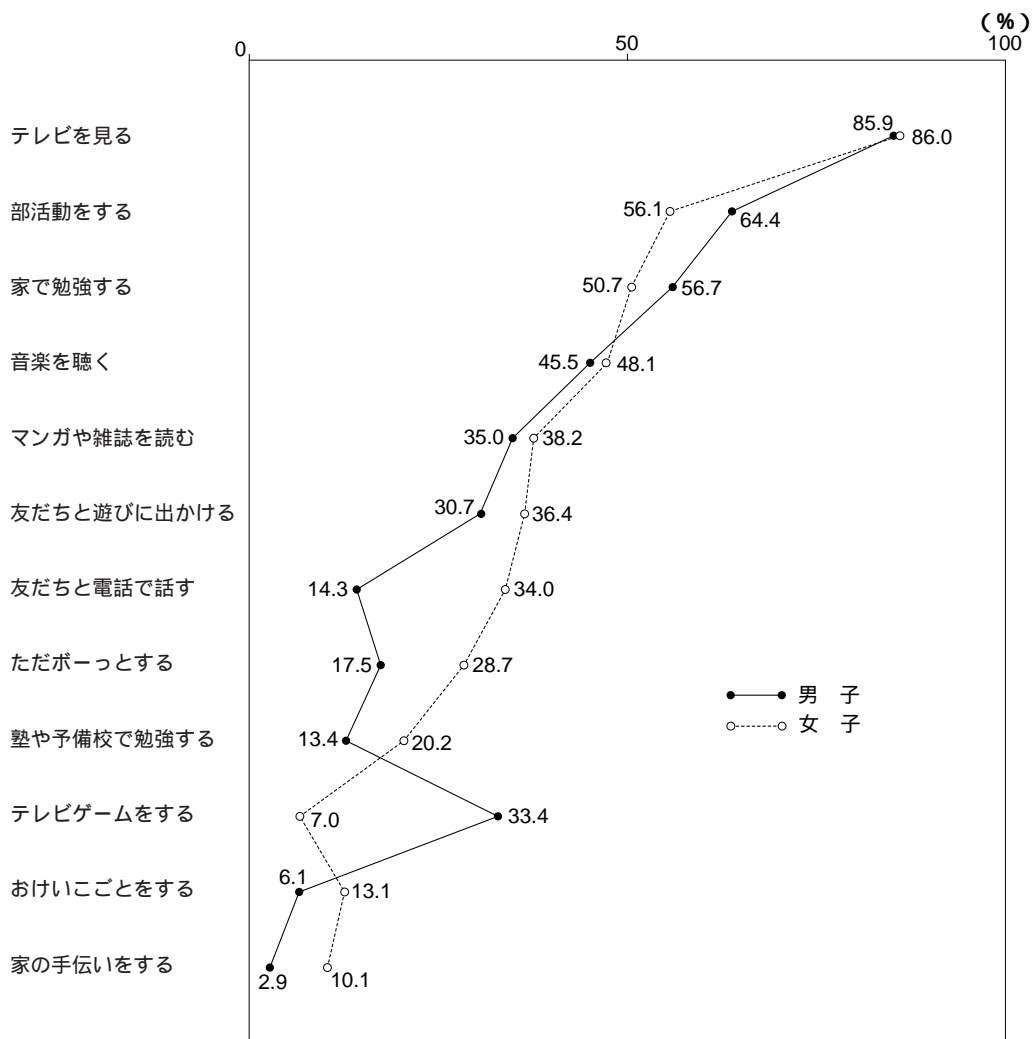
○は最大値

2 平日の放課後していること

高校の部活動や生徒会活動の停滞が指摘されて久しい。放課後学校に残って部活動などの活動をしたり、友人同士でおしゃべりなどをするより、さっさと下校してしまう生徒が増えた。放課後、携帯電話をかけながらいそいそと校舎を出ていく生徒を見かけると、す

で見慣れた風景になってきたといえども何かひっかかるものがある。また、最近の生徒の放課後の行動は、塾や予備校に行くとか、習い事に行くといった昔からのものだけでなく多様化しているといわれる。そこで、次の12項目で現状を調査してみた。

図2 - 3 平日の放課後、1時間以上していること × 性



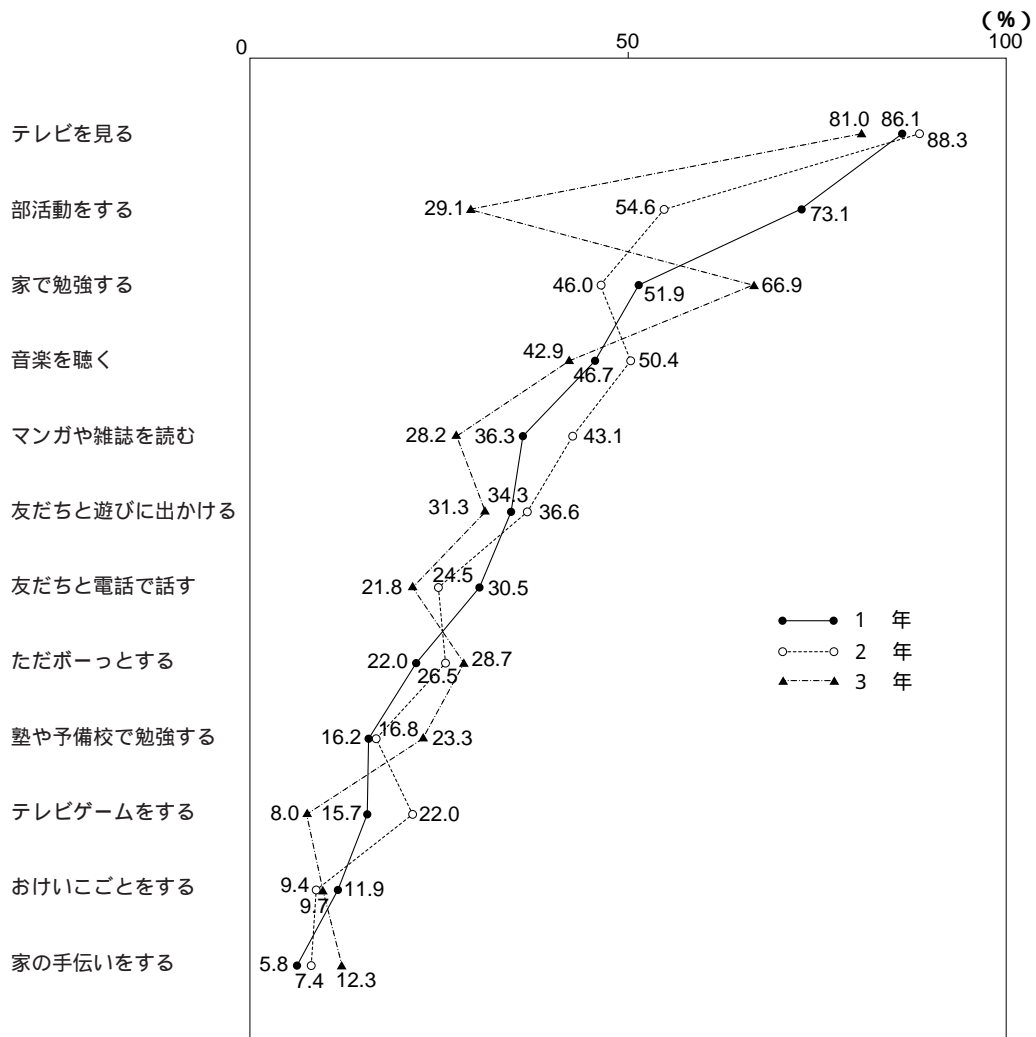
平日の放課後「1時間以上」していることは全体では、「テレビを見る」86.0%、「部活動をする」58.9%、「家で勉強する」52.7%、「音楽を聴く」47.3%、「マンガや雑誌を読む」37.0%、「友だちと遊びに出かける」34.4%、「友だちと電話で話す」26.9%、「ただボーっとする」24.7%、「塾や予備校で勉強する」17.8%、「テレビゲームをする」16.5%、「おけいごとをする」10.6%、「家の手伝いをする」7.4%である。

図2 - 3は、平日の放課後「1時間以上」

していることを性別で比較したものである。大半は男女で大きな差がないが、女子は「友だちと遊びに出かける」「友だちと電話で話す」、さらに「ただボーっとする」で男子より数値が大きい点が目立つ。一方、「テレビゲームをする」は男子が勝る。

図2 - 4は、学年別にまとめたものである。3年生は、「家で勉強する」が66.9%で勉強中心であり、その他のことはあまりしていない。2年生は「音楽を聴く」「マンガや雑誌を読む」が他の学年より多い。1年生は

図2 - 4 平日の放課後、1時間以上していること × 学年



73.1%が「部活動」をしている。

表2 - 5は、平日の放課後「1時間以上」していることを部活動別・成績別にまとめたものである。部活動については、運動部で熱心でない層はよくテレビを見ている。友だちとの電話も多い。文化部熱心層はマンガや雑誌を読んだり、ただボーっとしていることが比較的多い。今は入っていない層は音楽を聴いたり友だちと遊びに出かけることが多い。入ったことがない層は家で勉強をしたり、テレビゲームをすることが比較的多いが、その

他の項目はあまり活発にやっていない。

成績別では、上位層はテレビゲームの他は勉強以外のことをあまりしていない。下位層は友だちと遊びに出かけたり、友だちと電話をしたりなどの勉強以外のことをよくしている。

この12項目だけで生徒の多様な行動を捉えることができたとは思えないが、「塾や予備校」「おけいこごと」が予想より少なかった。また、「友だちと遊びに出かける」「電話で話す」ことも少なかった。多くの生徒が家で1人で時間を過ごしている印象を受ける。

表2 - 5 平日の放課後、1時間以上していること × 部活動・成績

(%)

	全 体	部 活 動						成 績				
		運動部 熱心	運動部 非熱心	文化部 熱心	文化部 非熱心	今は入って いない	入ったこと はない	上の方	中の上	中くらい	中の下	下の方
テレビを見る	86.0	85.6	90.9	80.9	86.6	88.5	87.6	82.4	85.3	85.5	91.2	85.0
部活動をする	58.9	98.8	77.4	77.1	22.2	1.6	1.0	53.7	60.3	56.6	64.8	56.8
家で勉強する	52.7	50.8	48.0	61.0	46.6	53.9	61.5	67.0	62.3	60.0	47.1	34.4
音楽を聴く	47.3	42.1	46.4	47.3	53.3	54.2	39.2	39.6	45.0	47.7	48.9	50.8
マンガや雑誌を読む	37.0	30.0	39.3	44.1	40.4	39.5	38.9	32.6	34.4	35.8	40.0	41.1
友だちと遊びに出かける	34.4	34.5	40.9	27.0	45.2	46.2	29.8	24.2	29.1	31.2	39.0	43.6
友だちと電話で話す	26.9	25.1	36.7	24.1	32.5	29.4	10.6	18.0	17.7	28.3	29.9	33.6
ただボーっとする	24.7	18.0	24.4	36.7	35.5	29.9	20.2	15.5	23.1	23.3	24.9	32.0
塾や予備校で勉強する	17.8	15.7	18.9	19.9	19.7	17.4	16.3	20.5	15.5	18.5	19.0	17.6
テレビゲームをする	16.5	15.1	21.3	13.2	13.3	18.7	32.6	21.5	13.6	15.5	17.5	17.1
おけいごとをする	10.6	10.6	10.5	12.6	13.3	8.1	3.0	9.5	12.4	10.4	9.7	10.9
家の手伝いをする	7.4	3.4	5.8	9.8	12.3	10.5	5.9	7.5	6.2	6.7	6.5	10.5

○ は最大値 ~~~~~ は最小値

3 休日に行っていること

休日に「1時間以上」していることをまとめてみると全体では、「テレビを見る」93.0%、「友だちと遊びに出かける」79.3%、「家で勉強する」70.2%、「自分の趣味をする」68.2%、「ウインドーショッピングをする」45.4%、「ただボーっとする」42.3%、「読書をする」39.7%、「友だちと電話で話す」38.8%、「彼氏・彼女と遊びに出かける」17.6%、「アルバイトをする」16.0%、「コンビニでぶらぶらする」8.0%であった。

70%以上の数字となった上位3項目はおよその見当がつく結果であったが、「自分の趣味をする」が70%を割り込んだこと、「アルバイトをする」や「コンビニでぶらぶらする」が低率であったこと、逆に「ただボーっとする」が42.3%と多かったことが意外であった。

表2-6は、休日に行っていることを性別にまとめたものである。女子で目立つものは「友だちと遊びに出かける」4時間以上66.1%、「ウインドーショッピングをする」1時間以上56.8%、「ただボーっとする」1時間くらい25.3%・2時間くらい11.8%、「友だちと電話で話す」1時間くらい28.9%・2時間くらい14.0%である。男子では、「自分の趣味をする」4時間以上が16.0%いる。男子は女子よりも1人である傾向があり、女子は友だちなどと出かける傾向がみられる。平日の放課

後ではあまり顕著でなかった男女差が、休日の過ごし方でははっきりと出た。

図2-5は、休日に「1時間以上」していることを学年別にまとめたものである。全体的には思ったほどの差異はみられなかった。1年生は「友だちと遊びに出かける」「友だちと電話で話す」ことが多い。学年が上がるにつれて増加するのは「ただボーっとする」時間である。

表2-7は、休日に「1時間以上」していることを部活動別と成績別にまとめたものである。運動部非熱心層は友だちと遊びに出かけたり友だちと電話で話すことが比較的多く、逆に家で勉強をあまりしない。

文化部熱心層はウインドーショッピングや読書を好む。文化部非熱心層はボーっとすることが多い。部活動に入ったことがない層は家で勉強をしたり、自分の趣味をしたりする率が高い。成績別では上位層は家で勉強する率が高く、あまり他のことはしない。中の上位層はボーっとしたり読書をする率が比較的高い。中の下位層ではテレビを一番見ており、自分の趣味をしたり、ボーっとする率も高い。下位層は友だちと遊びに出かけたりウインドーショッピングをしたり、友だちと電話で話す率が高いが、家で勉強したり、読書をすることはあまりしていない。

表2 - 6 休日にしていること × 性

(%)

		ほとんど しない	30分 くらい	1時間 くらい	2時間 くらい	3時間 くらい	4時間 以上
テレビを見る	男子	4.8	2.3	11.4	30.0	24.3	27.3
	女子	4.8	2.2	11.4	27.4	26.7	27.4
友だちと遊びに 出かける	男子	23.2	0.3	3.7	6.8	12.3	53.8
	女子	19.1 ^v	0.3	2.4	3.3	8.7	66.1 [^]
家で勉強する	男子	23.7	6.9	18.0	23.2	13.6	14.5
	女子	21.1	8.3	20.3	25.1	13.3	12.0
自分の趣味をする	男子	17.3	7.0	23.4	22.6	13.8	16.0
	女子	25.4 [^]	10.3	24.9	20.0	9.7	9.6 ^v
ウインドーショッピ ングをする	男子	71.4	4.1	7.7	6.7	5.7	4.4
	女子	40.4 ^v	2.9	9.6	11.5	12.4	23.3 [^]
ただボーっとする	男子	46.0	23.4	16.6	4.7	4.0	5.3
	女子	26.7 ^v	24.4	25.3 [^]	11.8 [^]	6.0	5.8
読書をする	男子	45.7	15.6	20.1	11.7	4.7	2.2
	女子	44.6	15.1	20.5	11.6	5.3	2.9
友だちと電話で話す	男子	62.9	17.6	11.4	5.7	1.1	1.2
	女子	31.5 ^v	19.1	28.9 [^]	14.0 [^]	4.6	1.9
彼氏・彼女と遊びに 出かける	男子	84.0	0.4	0.4	1.0	1.6	12.6
	女子	81.1	0.3	0.9	1.0	1.9	14.6
アルバイトをする	男子	90.9	0.3	0.1	0.9	2.4	5.3
	女子	80.1 ^v	0.1	0.2	0.8	3.3	15.7 [^]
コンビニでぶらぶら する	男子	68.1	21.9	7.2	1.6	0.7	0.5
	女子	66.9	25.9	5.6	1.0	0.5	0.1

図2 - 5 休日に1時間以上していること × 学年

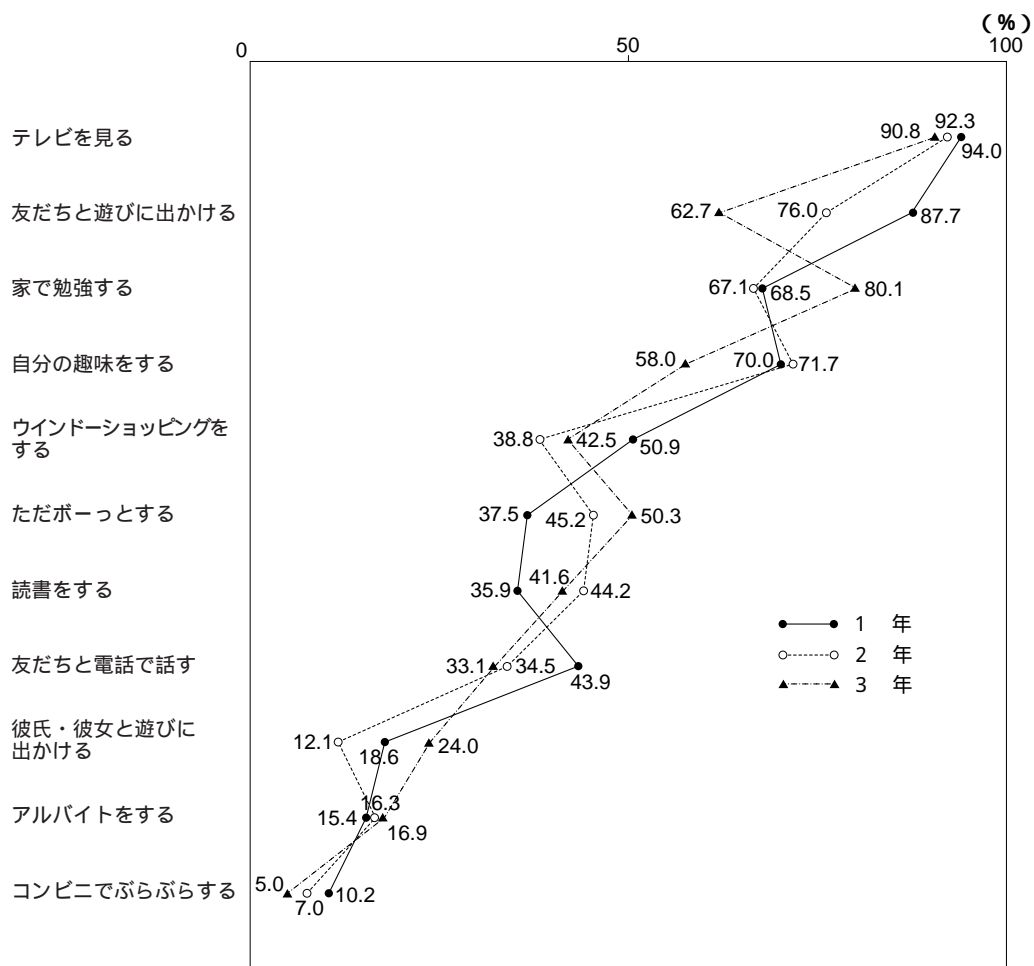


表2 - 7 休日に1時間以上していること × 部活動・成績

(%)

	全 体	部 活 動						成 績				
		運動部 熱心	運動部 非熱心	文化部 熱心	文化部 非熱心	今は入って いない	入ったこと はない	上の方	中の上	中くらい	中の下	下の方
テレビを見る	93.0	94.3	93.6	90.0	92.6	94.1	90.4	89.1	94.8	93.9	95.1	90.4
友だちと遊びに出かける	79.3	84.2	90.3	73.2	79.8	74.4	62.5	71.6	75.9	79.2	81.7	83.4
家で勉強する	70.2	71.1	61.0	75.5	65.7	68.6	77.9	79.5	78.4	75.0	70.1	54.0
自分の趣味をする	68.2	65.6	69.0	75.3	69.3	62.2	76.5	69.5	69.6	65.3	70.9	67.7
ウインドーショッピングをする	45.4	47.6	51.0	51.9	46.4	45.6	20.2	36.5	43.4	43.8	46.1	50.6
ただボーっとする	42.3	38.0	40.7	43.5	50.0	46.5	30.8	35.0	45.1	41.3	45.1	43.3
読書をする	39.7	35.5	39.3	47.2	40.2	39.8	43.2	43.0	44.3	39.4	41.2	33.2
友だちと電話で話す	38.8	40.1	49.3	33.3	43.9	38.2	16.3	27.9	28.3	38.5	41.8	49.1
彼氏・彼女と遊びに出かける	17.6	17.9	20.8	10.7	20.0	21.7	13.4	16.3	12.2	16.6	17.7	23.0
アルバイトをする	16.0	11.4	20.9	11.0	22.1	23.7	9.6	10.5	12.4	16.9	16.4	19.6
コンビニでぶらぶらする	8.0	8.9	14.2	4.2	8.0	9.0	15.7	6.0	6.3	5.7	8.4	13.1

○は最大値 ~は最小値

4 時間に関する意識

ここでは1～3節を踏まえて、日頃、睡眠時間や自由時間、勉強時間は十分とれているか、自分の時間の使い方に満足しているか、さらに自分たちの世代と親たちの世代が高校生であった頃の時間の使い方とを比較したときの時間の長さに関する意識を調査した。

図2-6は、時間が十分とれているかを性別、学年別にまとめたものである。「十分とれている」と「まあとれている」を合わせると、睡眠時間は女子の65.2%がとれていると答えているのに対し、男子は57.0%である。表2-1で女子は早目に就寝し早めに起床するという結果が得られていたが、睡眠時間も男子より多めに確保していそうである。

自由時間に関しては男子の64.7%、女子の62.7%がとれていると答えている。表2-6で「休日に行っていること」としてまとめたように、女子より男子の方がより多く自由時間をとっているが、意識面になるとあまり差がない。

勉強時間に関しては、平日(図2-3)および休日(表2-6)ともに、女子の方がより多く時間を使っている。しかし、男子の20.0%がとれていると答えるのに対して、女子は14.2%にすぎない。特に、女子の53.9%は「あまりとれていない」と評価が低い。

学年別では、1年生が睡眠時間を「十分とれている」と「まあとれている」を合わせると57.8%で、他の学年に比べて少ない。学校のある日の生活時間(図2-2)でみたように、1年生の就寝時間は早いものの起床時間も早いことから、このような意識が生まれるものと思われる。自由時間に関しては、2年生が「とれている」67.9%と肯定的で、他の学年より多い。1年生は部活動中心、3年生は勉強中心の傾向が読み取れているから、その分自由時間が少なくなる。

勉強時間が「十分とれている」という回答は、各学年とも少ない。学年が上がるにつれて「まあとれている」という回答が増える。しかしまた、「あまりとれていない」という意識も増えている。

表2-8は、部活動別、成績別にまとめたものである。睡眠時間が「十分+まあとれている」と肯定的なのは、部活動に入ったことがない層で67.3%と高く、運動部熱心層で59.1%と低い。運動部熱心層は「あまりとれていない」が37.9%と他に比べて高く、ゆっくり寝たい願望があるようだ。成績別では上位層が勉強時間に関し、38.8%と肯定的である。成績下位層は睡眠時間が「あまりとれていない」が38.3%、勉強時間が「まったくとれていない」が53.7%であるが、逆に自由時間が「十分とれている」は22.9%と他の層より多い。

図2-7は、自分の時間の使い方に関する満足度を性別および学年別にまとめたものである。ともに不満度が過半数を占める。女子は56.3%が「やや不満」「とても不満」と答えるのに対し、男子は51.9%である。学年別では3年生の不満層が多く、58.3%である。最も不満が少ないのは2年生の52.3%である。

表2-9は、部活動別と成績別にまとめたものである。運動部非熱心層の不満は59.3%で最も多い。部活動に今は入っていない層は、「どちらでもない」が36.0%と多い。成績別では成績上位層の24.3%が「とても満足」「やや満足」と答えている。下位層は「やや不満」「とても不満」が59.2%で最も多い。

表2-10は、高校生世代と親の世代の時間感覚を高校生の世代が「ぐんと長い」と「やや長い」を合わせたものである。「テレビを見る」「マンガや雑誌を読む」「友だちと電話で話す」などは90%以上が自分たちが長いと

答えている。特に、女子は男子よりも自分たち世代の方が長いと答える項目が多い。部活動別では、部活動に入ったことがない層は勉強時間に関し、唯一自分たちの方が長いと答えている。逆に、友だちと電話をしたり会っている時間に関しては他の層の数値より低い。成績上位層は勉強時間に関しては他の層よりも自分たち世代の評価が高いが、友だちと会っている時間や入浴時間に関しては、やや低い数値である。これらは自分たちがある

程度できていることは自己評価が高いものの、あまりできていないことに関しては低い数字が出ているといえる。女子の入浴時間の数値も同様のことがいえそうである。

家族団らんの時間、睡眠時間、夕食時間に関しては親世代の方が長く、自分たち世代は短いとする結果が出ている。逆にいえば、このような項目では自分たちの生活で不足しているという意識がうかがえる。

図2 - 6 時間は十分とれているか × 性・学年

		十分とれている	まあとれている	あまりとれていない	(%) まったくとれていない
睡眠時間	男子	14.5	42.5	38.1	4.9
	女子	18.5	46.7	31.6	3.2
	1年	15.1	42.7	38.6	3.7
	2年	17.5	49.1	28.8	4.6
	3年	21.4	45.1	30.6	2.9
自由時間	男子	23.8	40.9	28.8	6.5
	女子	15.5	47.2	30.7	6.6
	1年	19.5	42.1	30.9	7.5
	2年	19.8	48.1	27.0	5.0
	3年	13.0	47.1	32.8	7.1
勉強時間	男子	3.4	16.6	45.7	34.3
	女子	1.5	12.7	53.9	31.9
	1年	2.3	12.5	52.5	32.6
	2年	2.4	13.7	47.3	36.5
	3年	1.1	18.7	53.8	26.4

表2 - 8 時間は十分とれているか × 部活動・成績

(%)

		部 活 動						成 績				
		運動部 熱心	運動部 非熱心	文化部 熱心	文化部 非熱心	今は入って いない	入ったこと はない	上の方	中の上	中くらい	中の下	下の方
睡眠時間	十分とれている	14.1	14.8	21.3	18.8	17.7	18.3	19.8	17.7	15.7	13.8	20.1
	まあとれている	45.0	49.7	42.5	43.2	47.1	49.0	46.0	49.1	48.2	48.0	35.6
	あまりとれていない	37.9	29.7	31.5	34.4	31.2	28.8	30.7	30.6	32.3	35.2	38.3
	まったくとれていない	3.0	5.8	4.7	3.7	4.0	3.8	3.5	2.6	3.7	3.1	6.0
自由時間	十分とれている	13.2	20.0	20.2	22.5	21.4	21.2	18.1	15.3	16.1	19.5	22.9
	まあとれている	39.4	42.6	44.9	47.6	51.7	56.7	44.7	46.8	46.8	46.7	40.8
	あまりとれていない	37.8	34.2	28.5	25.1	21.7	20.2	30.7	30.6	32.0	27.7	27.8
	まったくとれていない	9.5	3.2	6.4	4.8	5.2	1.9	6.5	7.3	5.2	6.2	8.5
勉強時間	十分とれている	0.4	1.9	2.2	3.4	3.1	6.7	7.5	1.3	2.2	0.8	1.6
	まあとれている	10.9	11.0	19.6	13.7	14.4	22.1	31.3	21.0	13.9	8.4	5.6
	あまりとれていない	53.5	44.5	55.8	48.1	49.8	41.3	43.8	54.3	60.6	53.1	39.1
	まったくとれていない	35.2	42.6	22.4	34.8	32.7	29.8	17.4	23.4	23.3	37.8	53.7

図2 - 7 自分の時間の使い方に関する満足度 × 性・学年

	(%)				
	とても満足している	やや満足している	どちらでもない	やや不満である	とても不満である
全体	2.4	12.3	30.6	38.3	16.5
男子	3.8	13.9	30.4	35.5	16.4
女子	1.6	11.4	30.7	39.8	16.5
1年	2.7	12.5	29.7	39.2	15.9
2年	2.6	12.8	32.3	37.6	14.7
3年	1.1	10.9	29.8	37.0	21.3

表2 - 9 自分の時間の使い方に関する満足度 × 部活動・成績

	部 活 動						成 績				
	運動部熱心	運動部非熱心	文化部熱心	文化部非熱心	今は入っていない	入ったことはない	上の方	中の上	中くらい	中の下	下の方
	とても満足している	1.4	1.3	3.6	2.6	3.4	2.9	4.0	2.1	2.0	1.8
やや満足している	12.4	12.3	13.0	12.3	11.7	12.6	(20.3)	14.8	12.8	12.5	7.0
どちらでもない	29.7	27.1	26.8	31.6	(36.0)	33.0	29.2	26.7	(33.6)	28.6	31.1
やや不満である	39.5	(44.5)	37.6	39.0	33.2	35.9	36.1	40.9	37.3	38.9	37.8
とても不満である	17.0	14.8	(19.1)	14.5	15.7	15.5	10.4	15.5	14.2	18.2	(21.4)

○は最大値

表 2 - 10 高校生世代と親世代の時間感覚 × 性・学年・部活動・成績

(%)

	性 別		学 年			部 活 動						成 績				
	男子	女子	1年	2年	3年	運動部 熱心	運動部 非熱心	文化部 熱心	文化部 非熱心	今は入っ ていない	入ったこ とはない	上の方	中の上	中くらい	中の下	下の方
テレビを見る時間	93.8	96.7	94.6	96.0	97.9	96.2	90.3	94.4	98.3	96.0	94.2	93.5	97.1	96.5	95.9	94.4
マンガや雑誌を読む時間	90.8	95.5	94.2	92.5	95.2	94.2	92.3	94.7	94.8	92.3	93.3	93.9	95.3	93.3	94.6	92.6
友だちに電話している時間	87.7 <	95.9	92.3	92.3	96.3	93.4	94.2	93.3	92.2	93.2	88.4	91.0	92.2	94.4	93.9	91.9
友だちと家の外で会っている時間	74.8 <	85.3	82.4	79.2	83.9	81.9	82.6	80.8	82.9	82.2	74.1	76.5	79.1	82.8	84.2	82.4
お風呂に入っている時間	60.7 <	83.1	74.0	73.2	81.7	73.6	65.6	80.2	79.7	74.2	69.3	68.5	74.9	76.4	76.1	76.0
自宅で勉強している時間	41.8	42.5	36.7	42.0	57.2	40.2	40.0	45.1	40.0	43.4	51.9	47.3	39.1	43.5	41.4	32.7
本（マンガ以外）を読む時間	41.5	35.4	38.9	34.7	39.0	37.5	36.7	37.2	39.2	35.8	39.8	36.5	35.0	35.7	40.3	40.6
通学にかかる時間	37.3	35.5	40.4	30.8	34.0	37.6	41.2	36.7	31.6	33.9	34.7	39.0	34.1	35.1	38.0	36.1
夕食の時間	26.5	25.8	25.8	24.1	30.4	24.8	23.2	26.6	26.3	26.0	38.5	24.0	23.2	24.6	27.1	30.4
睡眠時間	22.8	19.4	21.8	17.4	23.1	17.6	24.5	21.4	20.9	20.7	29.8	19.5	15.7	21.0	21.4	24.0
家族と団らんする時間	13.5	14.3	14.3	11.7	17.3	12.1	11.6	15.9	16.7	13.6	16.4	14.0	11.7	11.8	16.7	16.9

高校生の世代の方が「ぐんと長い」+「やや長い」割合
 <は5%以上差のあるもの、○は最大値、〰は最小値（注目される数値）

第3章

学校生活と時間

最近、授業や生徒指導の場で、あるいは始業式や全校集会の場で、話に集中できない生徒が増加してきている。また、すぐに「キレる」とか「ムカつく」という言葉が、逸脱行為とあまり縁のない普通の高校生の会話でもよく聞かれるようになった。

これらの背景には、かつては生徒の間にも暗黙の了解のもとにあった、公私の区別をつけるという感覚が希薄化してきたことがあるのではないだろうか。学校生活の中でも、授業中や集会などの公的な場と時間での行動や言動と、昼休みや放課後といった私的な場と時間での行動や言動には、それなりに差をつ

けていた生徒がかつては多かった。ところが最近では、そうした区別や使い分けができない、つまりがまんや自制心の弱い生徒が増加してきたのである。

こうした原因の1つに、生徒の時間感覚や時間意識の変化があるのではないだろうかと考えている。そこで本章では、生徒の公私にわたる時間の長さに対する意識や公的な場での時間の費やし方やがまん度を調査することによって、学校生活の中での生徒の時間感覚や時間意識の差の有無やその背景を探ってみた。

1 学校・友人関係・家庭での時間感覚

最初に、学校や友人関係や家庭でのそれぞれの場での時間を長く感じるか、短く感じるかを尋ねてみた。その結果が図3-1である。学校の中では「苦手な科目の授業を受けているとき」が一番長く感じていることがわかる(85.6%「とても」+「やや」長く感じる割合、以下同じ)。一方で、「昼休み(65.5%)や「好きな科目の授業を受けているとき」(60.2%)

は短く感じている(「とても」+「やや」短く感じる割合、以下同じ)。「ロングホームルーム」や「部活動のとき」は長いとも短いとも感じない生徒が多い(51.4%と46.5%)。授業時間もロングホームルームも昼休みも、時間の長さは同じ50分でありながら、長く感じたり短く感じたりしているのは大変興味深い。昼休みが生徒たちにとっては、学校生活の中で

数少ない私的な場と時間であり、くつろげる時間帯であることがわかる。一方同じ授業時間でも、好きな科目と苦手な科目では逆の反応が出ているのは当然といえば当然だが、好悪や意欲の有無が時間感覚に影響を与えている典型例といえよう。

友人関係の場では、「友だちと遊びに出かけているとき」(77.1%)や、「友だちと電話をしているとき」(58.0%)は短く感じるが、「コンビニでぶらぶらしているとき」は長いとも短いとも感じない(57.3%)生徒が多い。友だちと遊んでいるときや電話をしているときは私的な時間であり、一番楽しい時間帯なのだろう。

家庭の場では「1人で好きなことをしているとき」(74.0%)や「テレビを見ているとき」(62.5%)は短く感じるが、「家で勉強しているとき」(48.5%)は長く感じる生徒が多い。そして、「家で家族そろって食事をしているとき」(77.6%)は長いとも短いとも感じないようだ。家庭の中でも家族団らんよりも、1人で趣味などの好きなことをやっている時間の方が好ましいとみえる。また、「寝ている時間」(76.0%)も多くの生徒が短いと感じている。睡眠時間が十分とれていない生徒が37.7%（「あまり」+「まったく」とれていない割合）という数値から考えると、実態以上に短いと感じている生徒が多くいることを物語っている。

以上のデータからは、くつろげる、楽しい、好ましいといった意欲的に取り組める時間は短く感じ、その反対の時間は長く感じていることが読み取れる。公私の別でながめると、

公的な場と時間（他から制約を受けている場と時間ともいえる）は長く感じ、私的な場と時間は短く感じていることがわかった。そして同じ公的な時間と場でも、「好きな科目の授業を受けているとき」と「苦手な科目の授業を受けているとき」のデータにみられるように、授業時間は同じでありながら、好悪によって時間の長さの感じ方に違いがあることも確認できた。

表3-1は、性別・学年別の結果である。性別では、「苦手な科目の授業を受けているとき」を長く感じる生徒が女子に多い（男子79.3% < 女子89.1%）。また、「友だちと電話をしているとき」を短く感じる生徒が圧倒的に女子に多く（男子46.9% < 女子64.0%）、「テレビゲームをしているとき」を短く感じる生徒が圧倒的に男子に多い（男子69.2% > 女子35.5%）のが特徴的である。これは、女子が友だちとの電話の時間を男子よりも楽しみにしており、男子がテレビゲームをする時間を女子よりも楽しみにしている結果であろう。

学年別では、「ロングホームルーム」を長く感じる生徒が1、2年生に比べて3年生に少ない（1年34.0%、2年33.8%、3年24.7%）ことと、「テレビゲームをしている」時間を短く感じる生徒が1・2年生に比べて3年生に少ない（1年49.9%、2年50.8%、3年36.9%）のが特徴である。受験が身近になり、ロングホームルームでも進路情報などが伝達されるようになるので、関心度が増加した結果であろう。その他の項目では、学年差はあまり認められない。

図3-1 学校・友人関係・家庭での時間感覚

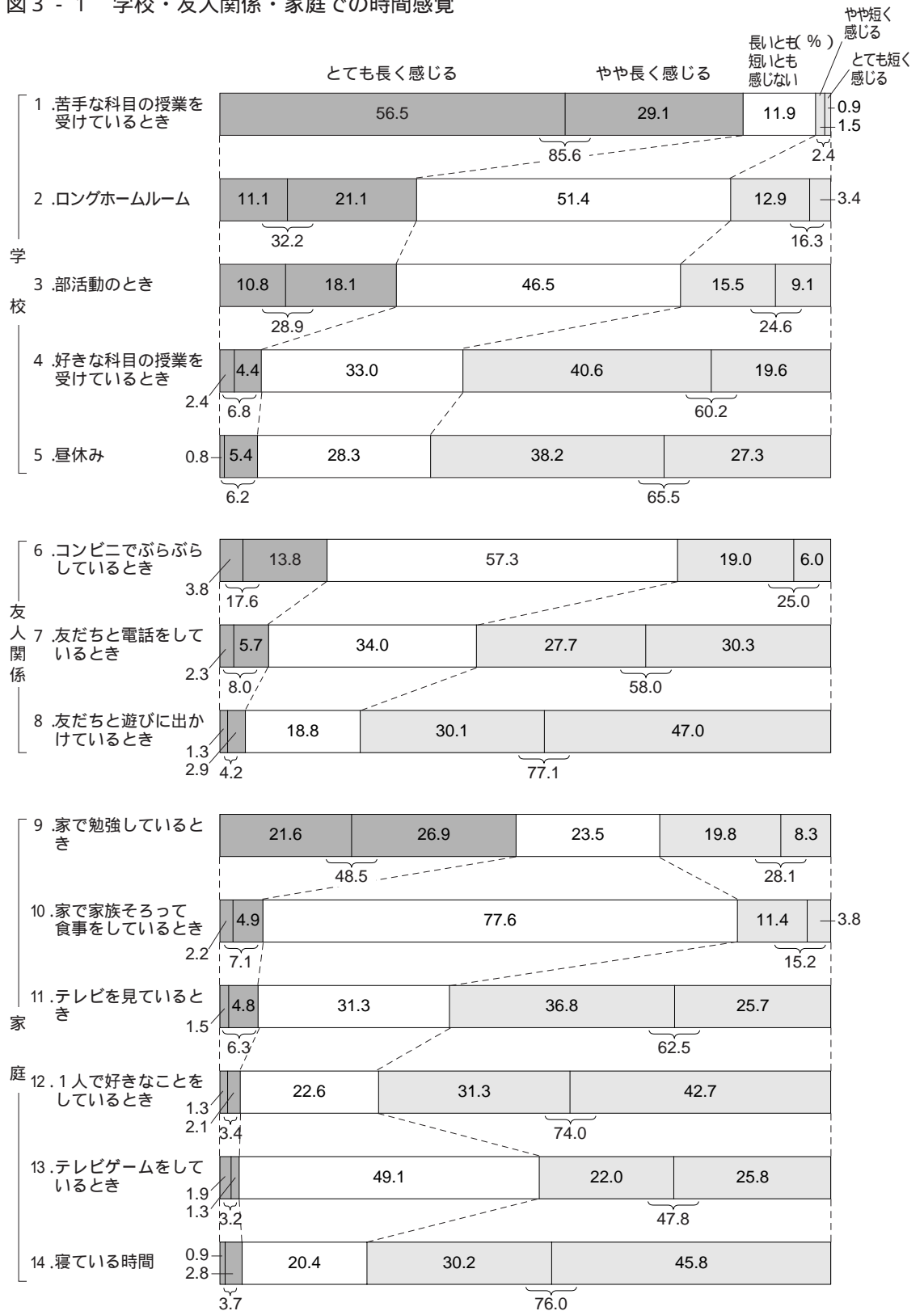
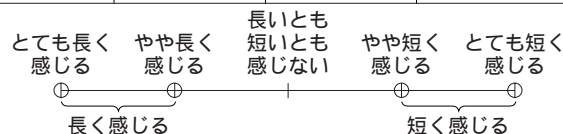


表3 - 1 学校・友人関係・家庭での時間感覚 × 性・学年

(%)

		性 別				学 年					
		男 子		女 子		1 年		2 年		3 年	
		長く感じる	短く感じる	長く感じる	短く感じる	長く感じる	短く感じる	長く感じる	短く感じる	長く感じる	短く感じる
学 校	1. 苦手な科目の授業を受けているとき	79.3	4.4	89.1	1.3	86.4	3.0	85.0	2.3	84.7	1.1
	2. ロングホームルーム	39.5	16.1	28.2	16.7	34.0	16.5	33.8	16.4	24.7	15.9
	3. 部活動のとき	24.9	28.9	31.2	22.2	32.4	25.7	24.3	23.2	27.7	24.2
	4. 好きな科目の授業を受けているとき	9.6	54.6	5.3	63.2	7.5	58.3	6.7	61.7	5.3	62.3
	5. 昼休み	7.9	63.6	5.4	66.4	7.4	66.5	5.4	66.4	4.8	60.9
友 人 関 係	6. コンビニでぶらぶらしているとき	19.2	25.3	16.9	25.0	16.9	27.7	18.8	23.8	17.8	20.7
	7. 友だちと電話をしているとき	9.5	46.9	7.1	64.0	7.8	61.8	8.0	51.4	8.1	59.6
	8. 友だちと遊びに出かけているとき	3.9	77.4	4.3	76.8	3.6	79.8	4.1	75.9	5.8	71.8
家 庭	9. 家で勉強しているとき	51.0	27.2	47.1	28.5	49.9	28.1	50.4	26.3	41.4	31.2
	10. 家で家族そろって食事をしているとき	9.0	14.6	6.1	15.6	8.4	15.3	5.9	14.9	6.1	15.5
	11. テレビを見ているとき	7.2	62.7	5.8	62.4	6.3	64.9	6.4	58.7	5.8	62.8
	12. 1人で好きなことをしているとき	4.1	76.9	3.1	72.2	3.4	74.2	3.3	74.0	3.7	73.4
	13. テレビゲームをしているとき	3.6	69.2	2.9	35.5	3.0	49.9	2.6	50.8	4.6	36.9
	14. 寝ている時間	5.4	74.8	2.9	76.5	3.6	76.4	3.9	76.4	3.7	73.6



2 学校での時間意識

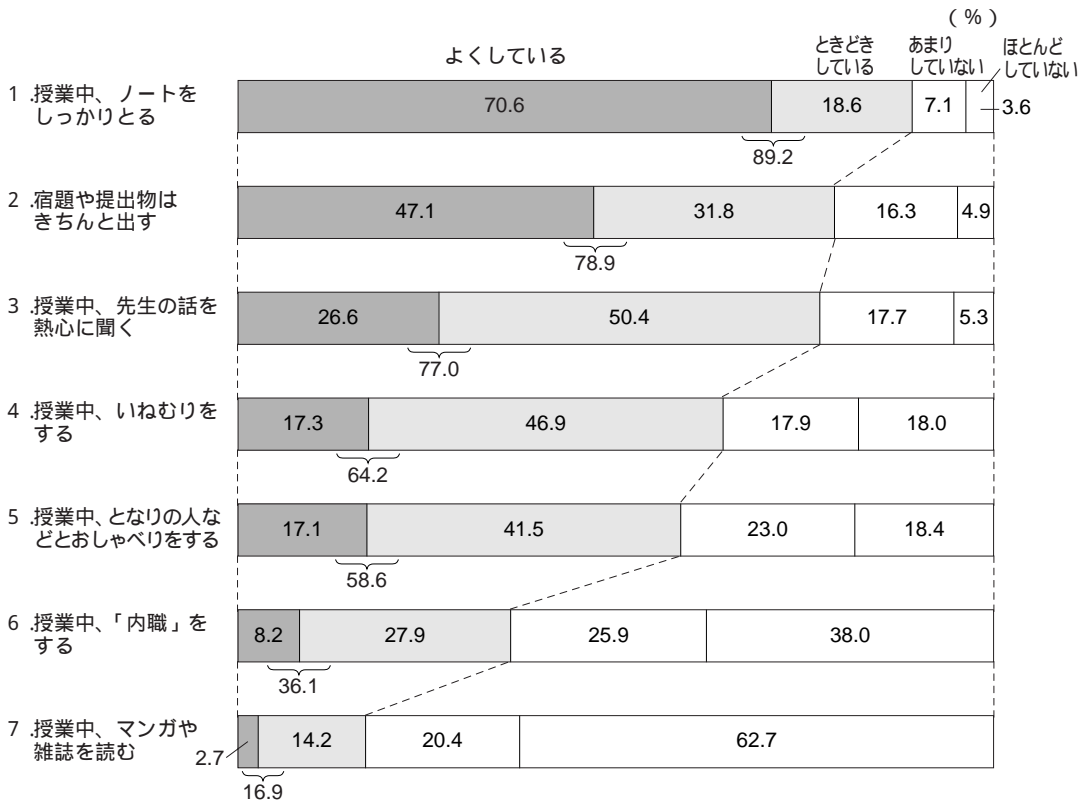
本節では、学校生活の中でも特に公的な場である授業中の時間の費やし方と、学校現場の中でよくみられる場面でのがまん度を通して生徒たちの時間意識の一端を調べてみた。

図3-2は、授業中に見受けられる態度や行動をどれくらいしているかを尋ねた結果である。「授業中、ノートをしっかり取る」生徒は、「ときどき」している者も含める(以下同じ)と9割(89.2%)に達している。「宿題や提出物はきちんと出す」(78.9%)「授業中、先生の話に熱心に聞く」(77.0%)生徒も8割いる。授業に意欲的に参加している生徒が多いといえる。ただし、「授業中、『内職』をする」

(36.1%)「授業中、マンガや雑誌を読む」(16.9%)といった授業を受けることを消極的に拒否する生徒は確かに多くないが、「授業中、いねむりをする」(64.2%)「授業中、となりの人などとおしゃべりをする」(58.6%)といった集中力の欠如を示す生徒が6割もいることも、このデータからわかる。

なお、授業中の態度・行動の量に注目すると、「授業中、ノートをしっかり取る」ことを「よくしている」生徒は7割(70.6%)に及んでおり、「ときどきしている」生徒は2割弱にすぎない。多くの生徒は、毎回ノートをしっかり取るのは当たり前と思って行動してい

図3-2 授業中の態度・行動 ノートはしっかりとっている



ることが読み取れる。ところが「授業中、先生の話熱心に聞く」生徒となると、「よくしている」者(26.6%)に対して「ときどきしている」者は(50.4%)と2倍近くを占めている。生徒の半数は、先生の話熱心に聞くのは毎回ではなくときどきなのである。また、授業中のいねむりや、となりの席の生徒とおしゃべりも、「よくしている」者は2割弱おり、4割強の者は毎回ではなくともときどきしているのである。

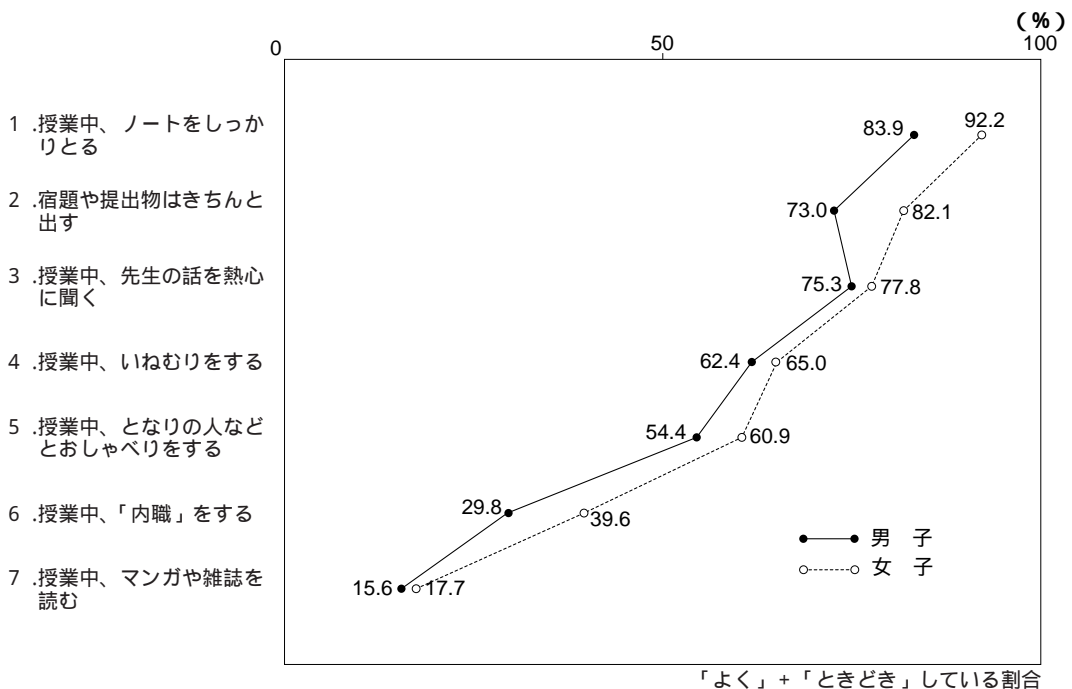
ところで教師が考えている望ましい授業中の過ごし方(講義形式・問題演習の授業などの場合)は、内職、マンガや雑誌を読むといった行動は論外として、いねむりやとなりの席の生徒とおしゃべり(もちろん授業と関連のない)といった集中力を欠かさずことなく、先生の話熱心に聞きながらノート

しっかりとる(板書事項だけでなく、先生の話の要点も書き留める)といったところであろうか。しかし今回のデータから読み取れるのは、板書事項はしっかりとノートするが、先生の話熱心に聞きながら要点もノートするといった生徒はそう多くはない。そして時に内職することもあるし、ときどきは集中力が途切れていねむりやとなりの席の人とおしゃべりをするということもあるといった状況であろう。授業に意欲的に参加している生徒が多いことは確かであるが、質に注目すると、もっと改善してほしいと思うのは教師側の望みすぎであろうか。

図3-3は、性別で比較した結果である。

「授業中、ノートをしっかりとり」(男子83.9% < 女子92.2%)、「宿題や提出物はきちんと出す」(男子73.0% < 女子82.1%)、「授業中、先生の話熱心に聞く」(男子75.3% < 女子77.8%)、「授業中、いねむりをする」(男子62.4% < 女子65.0%)、「授業中、となりの人などとおしゃべりをする」(男子54.4% < 女子60.9%)、「授業中、「内職」をする」(男子29.8% < 女子39.6%)、「授業中、マンガや雑誌を読む」(男子15.6% < 女子17.7%)

図3-3 授業中の態度・行動 × 性



の授業への意欲という点では、女子の方が1割近くも高いことがわかる。ただし、「授業中、となりの人などおしゃべりをする(男子54.4% < 女子60.9%)」といった集中力の欠如や、「授業中、『内職』をする(男子29.8% < 女子39.6%)」などの、授業を消極的に拒否する態度の生徒も女子の方が多い。女子の中に授業に参加する形はとるが、集中力を欠いた行動をとる生徒が男子よりは若干多い傾向があることが、データの上でも示されたといえよう。

学年別に比較したものが表3 - 2である。

「授業中、ノートをしっかりとり」「宿題や提出物はきちんと出す」「授業中、先生の話熱心に聞く」といった授業意欲は、3年生が最も高い。受験が目前に迫っている学年としては、当然の結果といえよう。「授業中、

いねむりをする」「授業中、となりの人などおしゃべりをする」といった集中力の欠如は、学年進行とともに増加していることがわかる。学年が進行するにしたがって、高校の授業にも慣れるとともに緊張感も緩み、集中力が欠如してくることと、受験科目以外の授業を手抜きする傾向が見受けられることの反映といえる。

「授業中、『内職』をする」「授業中、マンガや雑誌を読む」といった授業への消極的拒否の態度・行動は、2年生が最も多い。2年生は授業意欲も一番低いので、授業時間の費やし方としては最もよくないパターンである。一般に2年生になると、学校生活に慣れるとともに、部活動などに熱が入るあまり学業がおろそかになり、学年全体のレベルもダウンするといわれているが、このデータはそ

表3 - 2 授業中の態度・行動 × 学年

(%)

	1 年		2 年		3 年
1. 授業中、ノートをしっかりとり	91.5	>	83.6	<	93.2
2. 宿題や提出物はきちんと出す	77.2		77.1	<	86.0
3. 授業中、先生の話熱心に聞く	78.1	>	71.4	<	83.7
4. 授業中、いねむりをする	59.5	<	68.0		69.6
5. 授業中、となりの人などおしゃべりをする	56.0		59.9		63.1
6. 授業中、『内職』をする	27.0	<	45.0		44.2
7. 授業中、マンガや雑誌を読む	14.4	<	21.2	>	15.8

「よく」+「ときどき」している割合
<は5%以上差のあるもの

うした指摘が正鵠を得ていることを示すものといえよう。

次に、学校生活の中で特に強制的に拘束される場面での生徒たちの時間意識の差異を探ってみた。図3-4は、延長授業・お説教・学校行事でのあいさつといった場面で、「何分くらいならがまんして聞いていただけますか」と問うた結果である。どの項目もできれば早く終わってほしいと思うものである。

「終了ベル後の延長授業」については、2割(21.4%)の生徒が「1分以内」、3割(29.0%)の生徒が「2~3分くらい」、同じく3割(31.3%)の生徒が「4~5分くらい」、2割(18.3%)の生徒が「6分以上」がまんでできると答えている。約半数の生徒(50.4%)は「2~3分以内」ががまんの限度だと思っている。休み時間は大方の学校が10分であり、生徒も教室移動や次の授業の準備などに利用しているので、長時間の拘束は酷であり、「2~3分以内」というのは妥当な意見と思われる。むしろ「6分以上」がまんでできる者が2割近くいるというのは意外であった。延長授業は他の項目と違って日常的に行われていることなので、延長授業に対するがまん度はかなり強いとみることもできる。これは、調査対象校の生徒の志望進路(短大・4年制大学志望が75.8%)とも関連しているといえよう。

次いで、時として行われる教育的指導の一環としての「お説教」についての反応をみてみよう。家庭と学校に分けたが、「親のお説教」と「担任の先生のお説教」と「部活動の先輩のお説教」の3つは、「2~3分以内」が4割強、「4~5分くらい」が2割強、「6分以上」が3割と、ほぼ同様の傾向を示して

いる。どのくらいがまんして聞いていられるかという時間意識を、その出来事に対する生徒の軽重感の差を意味すると解釈するならば、親とクラス担任と部活動の先輩の「お説教」は、同じ程度の重さと感じていることになる。ということは、相対的に部活動の先輩の言動は、生徒たちにとってはかなり重い意味を持っているといえよう。親とクラス担任と部活動の先輩に比して「部活動の顧問の先生のお説教」は、「2~3分以内」が4割、「4~5分くらい」が2割強、「6分以上」が3割強と、明らかに長時間がまんでできる割合が高いことがわかる。生徒たちとのかかわりの密度の差ががまん度に反映していることが、ここからは読み取れる。クラス担任の注意よりも部活動の顧問の先生の注意の方をよく聞くと一般的にいわれているのは、このデータからも納得できよう。

最後に、学校行事での校長先生や来賓のあいさつについてながめてみよう。「入学式などの来賓のあいさつ」は、「2~3分以内」が4割弱、「4~5分くらい」が3割強、「6分以上」が3割となっている。特に、「1分以内」しかがまんできないという生徒は15.3%と少なく、学校行事では「お説教」よりもがまん度を強く持つべきだと自制している生徒が多くいることを示す数値といえよう。特に「始業式などの校長先生のあいさつ」は、「2~3分以内」は2割強、「4~5分くらい」は3割、「6分以上」は4割強と、最もがまん度が高いことがわかる。教師側から見ると、生徒は学校行事でも話に集中できなくなっていると思われるのだが、生徒の方は学校行事ではそれなりにがまん度を高めているのだという意識がここからは読み取れる。

図3 - 4 がまんして聞いていられる時間

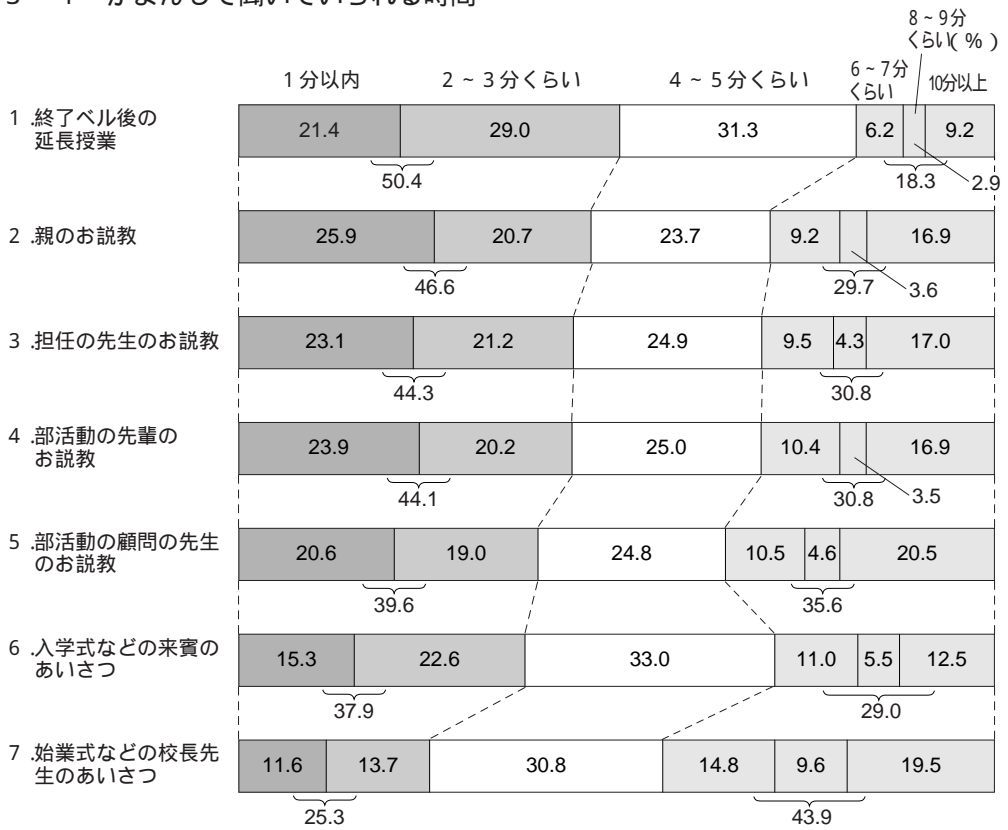


図3 - 5は、性別によるクロス集計の結果である。「1分以内」しかがまんできないという層は男子に圧倒的に多く、「部活動の顧問の先生のお説教」と「始業式などの校長先生のあいさつ」を除く5項目で10%以上の差を示している。「2～3分くらい」を加えても男子のがまん度の方が低い。つまり、がまん度の弱い生徒は男子の方が女子に比べると多いことがわかる。ただし、「10分以上」もがまんして聞いていられるというがまん度の一番強い層になると、男子の方が多くなるのも事実である。

学年別の差を示したのが図3 - 6である。「親のお説教」を除くと、「2～3分以内(「1

分以内」+「2～3分くらい」の割合)」しかがまんできない層は2年生が一番多く、「6分以上」がまんできる層は2年生が一番少ない。つまり、2年生のがまん度が弱いことがよくわかる。前述した授業時間の費やし方の悪さとも関連しているのかもしれない。一方3年生の場合は、「1分以内」しかがまんできないという一番がまん度の弱い層は、「終了ベル後の延長授業」(12.9%)、「入学式などの来賓のあいさつ」(10.3%)、「始業式などの校長先生のあいさつ」(9.5%)では1割前後にすぎない。3年生になると公私の区別をそれなりにできるようにする者が増加し、自制する者が出てきた結果といえよう。

図3 - 5 がまんして聞いていられる時間 × 性

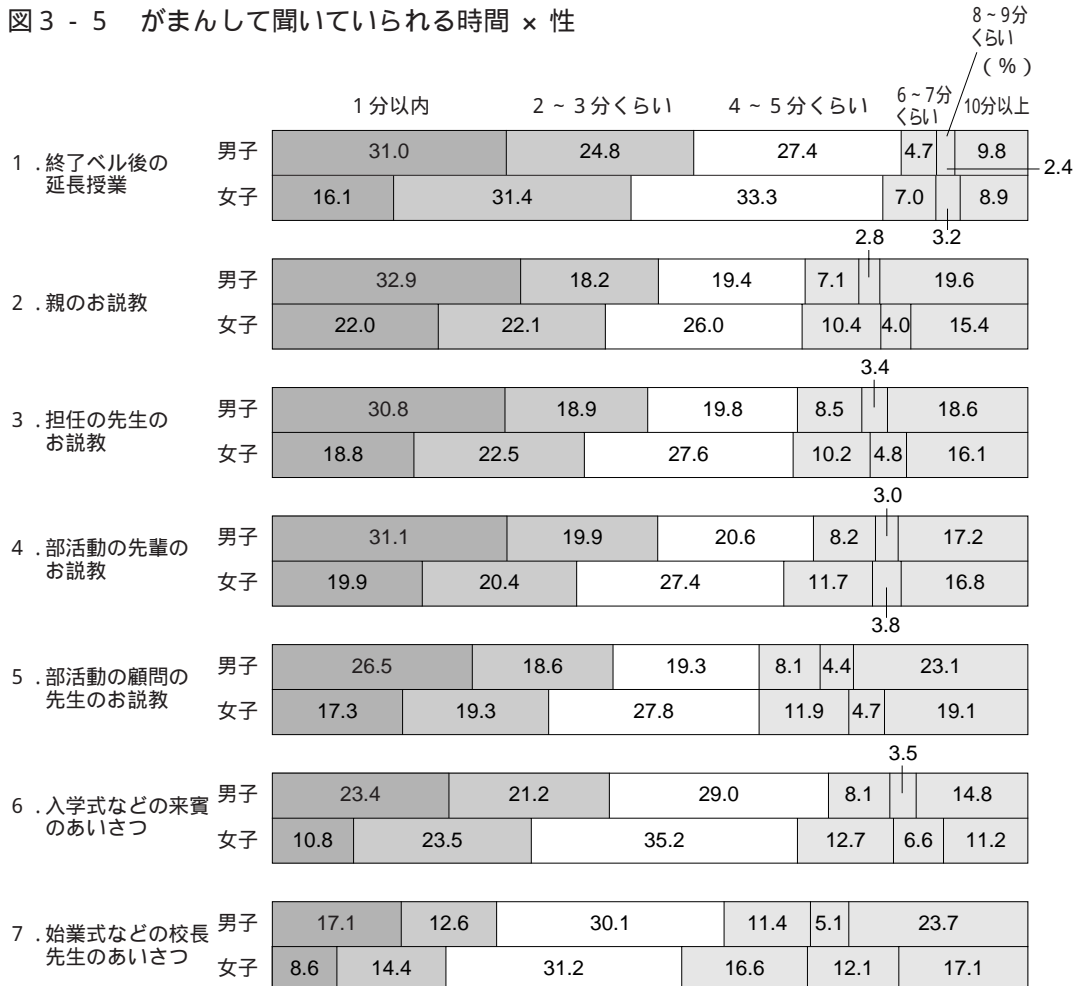
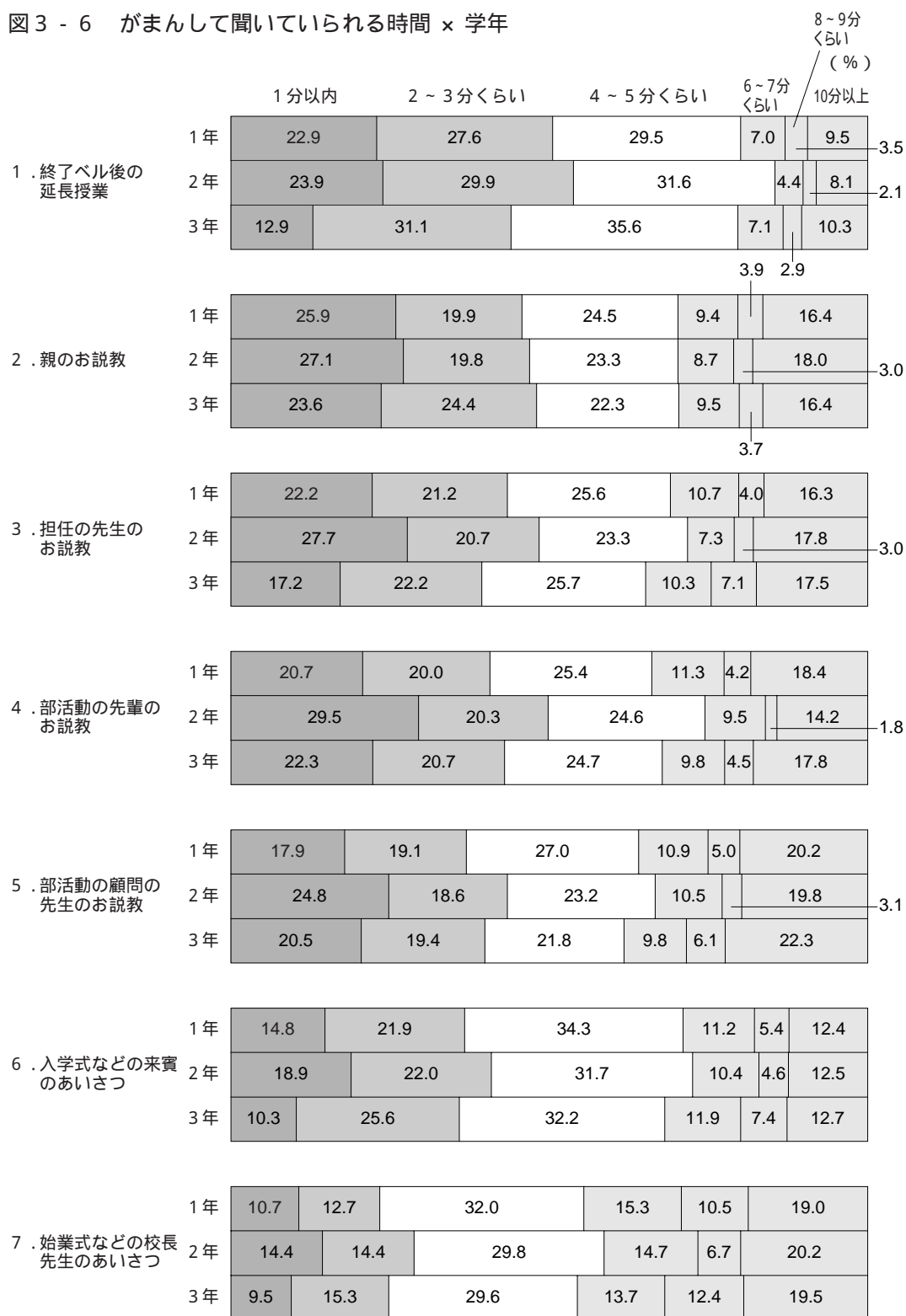


図3-6 がまんして聞いている時間 × 学年



3 がまん度の差と学校生活

本節では、学校生活での時間感覚の差異や授業中の態度・行動とがまん度の強弱を比較することによって、学校生活の各場面におけるがまん強い生徒像とがまんできない生徒像を浮かび上がらせたいと思う。がまん度の差も生徒の時間感覚と密接に結びついていると推量できるからである。

まず表3-3をみてみたい。この表は、学校生活の各場面における時間感覚と、がまんして聞いていられる時間をクロスした集計結果である。がまん度は、学校生活の中で最もよくみかける延長授業と、学校行事という一番公的な場で一番公的な存在である校長先生のあいさつと、私的な場面といえる親のお説教の3つを比較対象とした。また、がまんして聞いていられる時間が「1分以内」の者をがまんできない層、「2～3分くらい」の者をがまん度のやや弱い層、「4～5分くらい」の者をがまん度のやや高い層、「6分以上」の者をがまん強い層と規定してみた。

この表からは、「ロングホームルーム」を長く感じる生徒の割合は、延長授業でも校長先生のあいさつでも親のお説教のどの場面でも、がまんして聞いていられる時間に反比例して減少していることがわかる。特に延長授業の場面で見ると、「1分以内」(45.3%)と「2～3分くらい」(32.7%)の間には10%以上の差がある。この傾向は、「部活動のとき」を長く感じる生徒の割合にもほぼ認められる。また、私的な場と時間である「昼休み」を短く感じる生徒の割合は、反比例して減少している。

一方、「好きな科目の授業を受けているとき」を短く感じる生徒の割合は、どの場面で

もがまんして聞いていられる時間に正比例して増加している。そして「1分以内」しかがまんできない層と「6分以上」もがまんできる層との間には10%以上の顕著な差が認められる。ただし、「苦手な科目の授業を受けているとき」には明確な差はない。がまん強いが否かよりも成績の方の要素が大きく占めていると思われる。

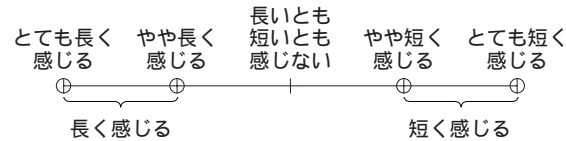
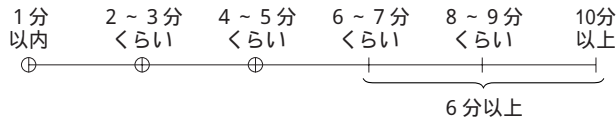
なお「部活動のとき」については、「6分以上」がまんできる層は「長く感じる」よりも「短く感じる」割合がやや多い。部活動は運動系のみならず文化系でも気楽で楽しいばかりではなく、結構厳しく長い練習時間を要するものが多い。部活動を継続する上ではがまん強さは重要な要素といえる。したがってがまん強い生徒にとっては、がまんできない生徒よりも活動時間をそれほど長いとも感じないのであろう。

以上のことから、次のようなことがいえるのではないだろうか。がまん強い生徒は、好きな科目の授業を受けている時間は一番短く感じ、苦手な科目の授業時間でもがまんできない層と比較すると、それほど長く感じていない。この傾向はロングホームルームや部活動といった勉強以外の学校生活の中での時間についてもいえる。一方、がまんできない生徒は、好きな科目の授業を受けている時間も短く感じる者が一番少なく、授業時間ではないロングホームルームや部活動の時間も長く感じている。そして、学校内での数少ない私的な場と時間の1つである昼休みを一番短く感じている。これは昼休みが唯一の息抜きの時間であり、くつろげる時間だと考えているためではないだろうか。

表3 - 3 学校での時間感覚 × がまんして聞いていられる時間

(%)

		終了ベル後の延長授業				始業式などの校長先生のあいさつ				親のお説教			
		1分以内	2～3分 くらい	4～5分 くらい	6分以上	1分以内	2～3分 くらい	4～5分 くらい	6分以上	1分以内	2～3分 くらい	4～5分 くらい	6分以上
1. 苦手な科目の授業を受けているとき	長く感じる	89.3	90.7	86.1	72.7	82.0	89.8	90.1	82.2	86.5	88.4	89.8	79.9
	短く感じる	2.6	2.1	1.6	4.1	5.9	1.8	1.4	2.4	2.7	1.2	1.5	3.8
2. ロングホームルーム	長く感じる	45.3	>> 32.7	> 28.7	> 22.3	45.3	> 41.4	> 34.3	> 24.4	39.2	> 33.7	> 30.0	> 26.9
	短く感じる	14.3	16.2	15.1	21.0	15.5	14.9	14.0	18.7	17.9	11.1	15.2	19.9
3. 部活動のとき	長く感じる	32.0	> 29.9	> 27.2	> 26.8	33.4	28.3	31.2	26.4	31.4	31.8	30.2	23.7
	短く感じる	25.9	21.7	24.6	27.2	27.1	24.5	23.0	25.1	25.2	25.2	20.9	26.8
4. 好きな科目の授業を受けているとき	長く感じる	13.5	7.9	3.0	3.6	15.8	5.8	6.7	4.8	12.6	3.9	5.9	4.5
	短く感じる	51.0	< 59.3	< 64.5	< 65.1	52.2	< 57.2	< 60.2	< 63.3	55.4	< 59.1	< 61.1	< 64.6
5. 昼休み	長く感じる	4.2	7.2	6.3	7.1	5.1	6.5	3.9	8.2	4.8	4.3	8.4	7.2
	短く感じる	73.6	> 67.3	> 62.6	> 57.2	69.2	67.3	67.5	62.3	70.2	66.9	61.7	63.1



<<は10%以上の差
○は最大値
〰は最小値

次に、授業中の態度・行動とがまんして聞いている時間をクロス集計した表3 - 4をみてみよう。「授業中、ノートをしっかりとり」「宿題や提出物はきちんと出す」「授業中、先生の話熱心に聞く」といった授業への参加意欲を問うた項目では、「始業式などの校長先生のあいさつ」の場面のがまん度でみると、「している」割合は3項目ともながまんして聞いている時間に正比例して増加していることがわかる。「よくしている」割合で比べても、ほぼ同様の傾向が認められる。特に「1分以内」しかがまんできない層は、「授業中、ノートをしっかりとり」と「授業中、先生の話熱心に聞く」の2項目では次の「2～3分くらい」のがまん度のやや弱い層との間にそれぞれ11.3%、12.0%と10%以上の開きがある。また、他の場面でのがまん度の比較でも、「1分以内」しかがまんできない層は最も低い数値であることがわかる。

「授業中、いねむりをする」「授業中、となりの人などおしゃべりをする」といった授業への集中力の欠如を示す項目では、どの場面のがまん度もがまんして聞いている時間に反比例して減少傾向にあることがわか

る。特に「1分以内」しかがまんできない層の集中力の欠如が顕著で、「よくしている」者が3割強もいる。これに対して、「6分以上」がまんできる層の集中力の欠如は低いといえる。

「授業中、『内職』をする」「授業中、マンガや雑誌を読む」といった授業への消極的拒否の態度を示す項目では、「親のお説教」の場面を除く学校内での公的な場面でのがまん度で比較すると、明確にがまんして聞いている時間に反比例して減少していることがわかる。ここでも「1分以内」しかがまんできない層の拒否度は一番強く、「6分以上」のがまん強い層の拒否度が一番弱いことが読み取れる。

以上のことから授業中の態度・行動との関係では、がまん強い生徒は授業への参加意欲が高く、授業中の集中力の欠如も少なく、消極的拒否の態度をあまりとらないといえる。これに対してがまんできない生徒は、授業への参加意欲が低く、授業への集中力に乏しく、消極的拒否の態度を時々示しているといえよう。

表3 - 4 授業中の態度・行動 × がまんして聞いていられる時間

(%)

	終了ベル後の延長授業				始業式などの校長先生のあいさつ				親のお説教			
	1分以内	2～3分 くらい	4～5分 くらい	6分以上	1分以内	2～3分 くらい	4～5分 くらい	6分以上	1分以内	2～3分 くらい	4～5分 くらい	6分以上
1. 授業中、ノートをしっかり取る	81.1 <u>(57.1)</u>	< 89.2 < <u>93.1</u> >	> 92.1	<u>77.8</u> <u>(56.0)</u>	<< 89.1 < 89.7 < <u>92.0</u>	> 89.4	<u>85.2</u> <u>(63.3)</u>	< 91.4 < <u>91.8</u> >	> 89.4	<u>73.6</u> <u>(41.3)</u>	< <u>82.0</u> >	> 81.9 > 78.6
2. 宿題や提出物はきちんと出す	70.6 <u>(38.2)</u>	< 77.9 < <u>83.8</u> >	> 81.2	<u>70.9</u> <u>(38.0)</u>	< 75.4 < 80.3 < <u>81.0</u>	> 81.0	<u>73.6</u> <u>(41.3)</u>	< <u>82.0</u> >	> 81.9 > 78.6	<u>70.6</u> <u>(38.2)</u>	< 77.9 < <u>83.8</u> >	> 81.2
3. 授業中、先生の話をも熱心に聞く	63.2 <u>(18.9)</u>	<< 76.7 < <u>83.9</u> >	> 81.6	<u>59.8</u> <u>(19.2)</u>	<< 71.8 < 77.3 < <u>82.8</u>	> 82.8	<u>67.3</u> <u>(20.2)</u>	<< 79.8 < 80.2 < <u>80.7</u>	> 80.7	<u>63.2</u> <u>(18.9)</u>	<< 76.7 < <u>83.9</u> >	> 81.6
4. 授業中、いねむりをする	<u>71.6</u> <u>(30.3)</u>	> 66.7 > 60.7 > <u>57.6</u>	> 57.6	<u>70.1</u> <u>(35.5)</u>	< <u>71.8</u> >	> 64.5 > 60.1	<u>68.8</u> <u>(24.0)</u>	> 64.1 > 63.9 > 60.3	> 60.3	<u>71.6</u> <u>(30.3)</u>	> 66.7 > 60.7 > <u>57.6</u>	> 57.6
5. 授業中、となりの人などとおしゃべりをする	<u>66.2</u> <u>(28.2)</u>	> 60.3 > 57.2 > <u>49.1</u>	> 49.1	<u>69.2</u> <u>(35.0)</u>	> 67.0 > 62.1 >> <u>50.8</u>	> 50.8	<u>64.2</u> <u>(23.8)</u>	> 56.2 < 60.7 > 53.4	> 53.4	<u>66.2</u> <u>(28.2)</u>	> 60.3 > 57.2 > <u>49.1</u>	> 49.1
6. 授業中、「内職」をする	<u>45.1</u> <u>(14.7)</u>	> 38.3 > 32.7 > <u>28.1</u>	> 28.1	<u>47.8</u> <u>(18.5)</u>	> 45.3 >> 34.8 > 31.1	> 31.1	<u>42.7</u> <u>(13.1)</u>	> 36.4 > 31.6 < 33.6	< 33.6	<u>45.1</u> <u>(14.7)</u>	> 38.3 > 32.7 > <u>28.1</u>	> 28.1
7. 授業中、マンガや雑誌を読む	<u>25.4</u> <u>(6.1)</u>	> 17.0 > 14.0 > <u>11.7</u>	> 11.7	<u>27.3</u> <u>(9.8)</u>	> 23.5 > 16.7 > 12.2	> 12.2	<u>21.7</u> <u>(4.8)</u>	> 15.9 > 12.8 < 16.2	< 16.2	<u>25.4</u> <u>(6.1)</u>	> 17.0 > 14.0 > <u>11.7</u>	> 11.7

1分以内 2～3分くらい 4～5分くらい 6～7分くらい 8～9分くらい 10分以上

⊕ ⊕ ⊕ ⊕ ⊕ ⊕

6分以上

「よく」+「ときどき」している割合
()内は「よくしている」割合
<<は10%以上の差

○は最大値
〰は最小値

最後に、生徒たちの属性との関連を検討してみた。表3 - 5は、部活動とクラスでの成績と卒業後の進路の3要素とのクロスを試みた結果である。

部活動歴に注目すると、「1分以内」しかがまんできない層は、部活動に「入ったことはない」生徒に多いことがわかる。「2～3分くらい」のがまん度のやや弱い層まで含めても同様である。次いで「以前入っていたが、現在はやめてしまった」生徒や「運動部に入っているが、あまり熱心に活動していない」生徒が続いている。これに対して「6分以上」のがまん強い層は、「文化部に入って熱心に活動している」生徒に多いことがわかる。次いで「運動部に入って熱心に活動している」生徒が続く。

つまり、当然といえば当然だが、部活動に入って熱心に活動している者はがまん強く、高校に入ってから部活動歴のない者や、今は入っていない者はがまんできない生徒であることを、このデータは如実に示しているといえよう。

クラスでの成績に注目すると、「1分以内」しかがまんできない層は、「下の方」の生徒に多いことがわかる。「2～3分くらい」のがまん度のやや弱い層まで含めても同一である。ただし「1分以内」しかがまんできない層は「下の方」の生徒に次ぐのが、「上の方」の生徒であることも注目すべきであろう。一方「6分以上」のがまん強い層は、「中の上」と「上の方」の生徒である。がまん度と成績

とは必ずしも正比例しているわけではないが、がまん強い層は「中の上」以上の生徒に多く、がまんできない層は「下の方」の生徒に多いことは、ここから確認できる。

卒業後の進路に注目すると、がまん度の弱い層に「就職」志望や「まだ決めていない」生徒が多く、「難しい4年制大学」志望の生徒にがまん強い層が多いことが読み取れる。

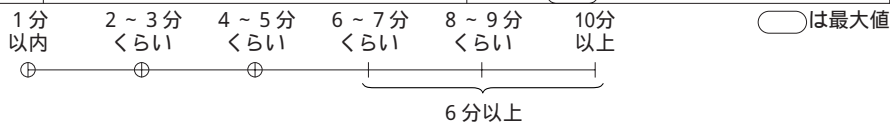
3つの表からがまん強い生徒像とがまんできない生徒像を描くと、次のような結果となる。がまん強い生徒は、学校内での生活時間をそれほど長いとは感じずに行動している。その背景には、授業や部活動などに意欲的に取り組んでいることが挙げられる。その結果は、成績や志望進路にも反映し、成績では中の上以上で、難関大学志望者が多いのである。一方、がまんできない生徒は、昼休み以外はロングホームルームや部活動や好きな科目の授業でも長く感じている。この背景には、授業や部活動への参加意欲の低さがあると思われる。その結果ともいえるが、成績では「下の方」で、進路別では「就職」志望者と「まだ決めていない」者が多い。

ただし、今回のデータは学校生活の場に限定したものである。学校内ではがまん度の弱い生徒が、校外のアルバイトなどでは見えないほどの勤勉ぶりやがまん強さをみせている姿にお目にかかることもある。その落差の背景も別途調査する必要があると痛感している。

表3 - 5 部活動・成績・卒業後の進路 × がまんして聞いていられる時間

(%)

		終了ベル後の延長授業				始業式などの校長先生のあいさつ				親のお説教			
		1分以内	2～3分 くらい	4～5分 くらい	6分以上	1分以内	2～3分 くらい	4～5分 くらい	6分以上	1分以内	2～3分 くらい	4～5分 くらい	6分以上
部 活 動	運動部熱心	22.0	27.4	32.2	18.3	9.8	11.8	31.4	46.9	22.9	22.9	24.4	29.8
		49.4				21.6				45.8			
	運動部非熱心	21.9	32.3	31.0	14.8	12.9	16.1	33.5	37.4	27.1	21.3	26.5	25.2
		54.2				29.0				48.4			
	文化部熱心	14.8	28.1	33.1	(24.0)	9.1	12.5	29.6	(48.8)	22.4	22.4	21.1	(34.1)
		42.9				21.6				44.8			
文化部非熱心	22.5	30.2	30.2	17.1	11.1	16.0	33.7	39.1	31.1	14.5	26.2	28.2	
	52.7				27.1				45.6				
今は入っていない	23.0	30.1	29.4	17.5	15.0	17.4	26.0	41.6	28.7	20.4	21.9	29.0	
	53.1				(32.4)				49.1				
入ったことはない	(29.8)	30.8	26.9	12.5	(21.2)	9.6	29.8	39.4	(31.7)	20.2	17.3	30.8	
	(60.6)				30.8				(51.9)				
成 績	上の方	25.4	17.9	32.3	(24.4)	15.9	10.0	28.9	45.3	26.5	20.0	22.0	31.5
		43.3				25.9				46.5			
	中の上	20.3	24.5	32.0	23.2	9.1	10.9	29.3	(50.8)	22.3	17.9	26.4	(33.4)
		44.8				20.0				40.2			
	中くらい	16.6	33.8	34.4	15.2	9.8	14.6	31.8	43.8	22.2	23.0	25.7	29.1
	50.4				24.4				45.2				
中の下	18.4	31.6	31.4	18.6	8.7	13.8	33.5	44.0	26.5	22.2	23.2	28.1	
	50.0				22.5				48.7				
下の方	(28.0)	30.9	26.9	14.1	(16.1)	15.7	30.5	37.7	(32.0)	18.6	20.1	29.3	
	(58.9)				(31.8)				(50.6)				
卒 業 後 の 進 路	就職	20.8	37.7	32.1	9.4	(18.9)	17.0	34.0	30.2	(32.1)	13.2	32.1	22.6
		(58.5)				(35.9)				45.3			
	専修・専門学校	21.4	35.7	29.0	13.9	12.7	15.3	34.7	37.3	25.6	22.7	25.6	26.1
		57.1				28.0				48.3			
	短期大学	9.0	31.1	42.6	17.2	4.1	14.8	36.1	45.1	23.8	19.7	32.8	23.8
		40.1				18.9				43.5			
まあまあの4年制大学	21.0	28.5	32.8	17.7	10.6	13.9	30.8	44.6	25.7	21.0	22.7	30.5	
	49.5				24.5				46.7				
難しい4年制大学	23.8	25.6	27.5	(23.1)	14.7	11.5	26.5	(47.2)	26.3	19.2	18.0	(36.5)	
	49.4				26.2				45.5				
まだ決めていない	(25.9)	28.0	28.0	18.1	11.4	14.5	32.1	42.0	25.9	22.8	30.6	20.7	
	53.9				25.9				(48.7)				



第4章 ||||

マジでキレル何秒前？

時間感覚からみる高校生の耐性

1 本章の課題と分析枠組み

しばらく前に「MK5」という言葉が高校生や中学生の間で用いられたことがある。翻訳すれば「マジでキレル5秒前」ということだそうだが、この言葉には、今日の中高生の耐性がどのようなものであるかが含みこまれているといえよう。

「キレル」「ムカつく」に代表されるように、今日の中高生は、以前の中高生に比べて耐性が低くなっているとおとなには捉えられている。しかも、「ふつうの子が突然キレた」というような表現が使われるように、それらは例えば反学校的な態度をとる生徒に特有の現象ではなく、ほとんどの生徒に共通して耐性が低くなってきていると考えられている。

しかし、実際に私たちがふだん目にするのは、ややデフォルメして述べれば、「どこかの学校でどのような事件が起きた。事件を起こした生徒はふだん目立たないおとなしい子だったのに、突然キレた。最近の中高生はすぐキレたりムカついたりする」という感じで、いくつかの事件を事例に、中高生一般を語ってしまうマスコミの記述だけである。

では、本当に今日の高校生の耐性は低いのだろうか。低いとしたら、それはどのような理由によるのだろうか。本章では、第1章の「調査の意図」で言及した通り、耐性の一側面には「時間」の主観的な感じ方があるという考え方を前提にして、高校生の「主観的な時間の費やし方」と「時間の費やし方を通してみた耐性の様子」について検討していく。実際の分析にあたっては、以前の高中生との比較ができるわけではないので、以下に挙げる質問項目を使いながら、まず全体の回答傾向を示し、さらに生徒の属性や特性を用いて、どのような高校生がどのように主観的な時間を費やしているのか、また「時間」に関する耐性が高いのか低いのかを考察していく。

「主観的な時間の費やし方」については、後掲の調査票のQ17を用いて検討する。Q17は、何か物事に取り組む際に、急いだり、すれすれになったり、ちょっとした時間を惜しんだり、反対についついずるずる時間を無駄遣いしたりという様子を尋ねたものである。

「時間の費やし方を通して見た耐性の様子」については、Q18とQ20を用いて検討する。Q18とQ20は、何か物事をしている際にどのくらい待っているとイライラし始めるか、人を待つ際にどういう関係の人をどのくらい待っているとイライラし始めるかを尋ねたものである。

生徒の属性や特性としては、「性別」「地域別」「授業中の態度」「家庭のしつけ」「計画性」「欲望満足延期性」の6つを用いる。

「授業中の態度」の分析はすでに第3章で行われているので詳細は示さないが、本章では、Q24のうち、「3．授業中、先生の話に熱心に聞く」と「7．宿題や提出物はきちんと出す」の2つを用いる。これらは、「時間」の2つの側面、つまり「ある時刻」を守ることと、「何分かの時間」にするよう期待されていることに応えることに対応している。分析にあたっては、2つの質問への回答を合成したうえで、学校で求められている「時間の費やし方」に肯定的な態度の生徒と否定的な態度の生徒とに分類して用いる。

「家庭のしつけ」の分析は第5章で行われるので、これも詳細は示さないが、本章ではQ15のうち、「3．夕食を食べ始める時間」と「5．友だちと長時間電話をする」の2つを用いる。これらは、「ある時刻」を守ることと、「何分かの時間」には望ましい費やし方があるということを家庭でしつけられているかどうかということに対応している。分析にあたっては、2つの質問への回答を合成したうえで、家庭での「時間」に関するしつけが厳しかったかそうでなかったかの2つに分類して用いる。

「計画性」については、本章の4節で詳細な分析をする予定であるが、先に多少の説明をしておこう。Q16は主として、「時間の費やし方」について、計画的に使っているかどうかを尋ねたものである。個々の質問項目への回答の分布については後掲の巻末集計表を参照していただきたいが、全体の傾向としては、試験前や長期休暇中の計画を立てるかど

うかという質問には、2割強が肯定しているにとどまっているし、提出直前にならないと宿題を始めなかったり(74.3%)、テレビをだらだら見続けてしまったり(74.0%)と、どちらかという、締め切りから逆算してぎりぎりこなしている様子がうかがえる。

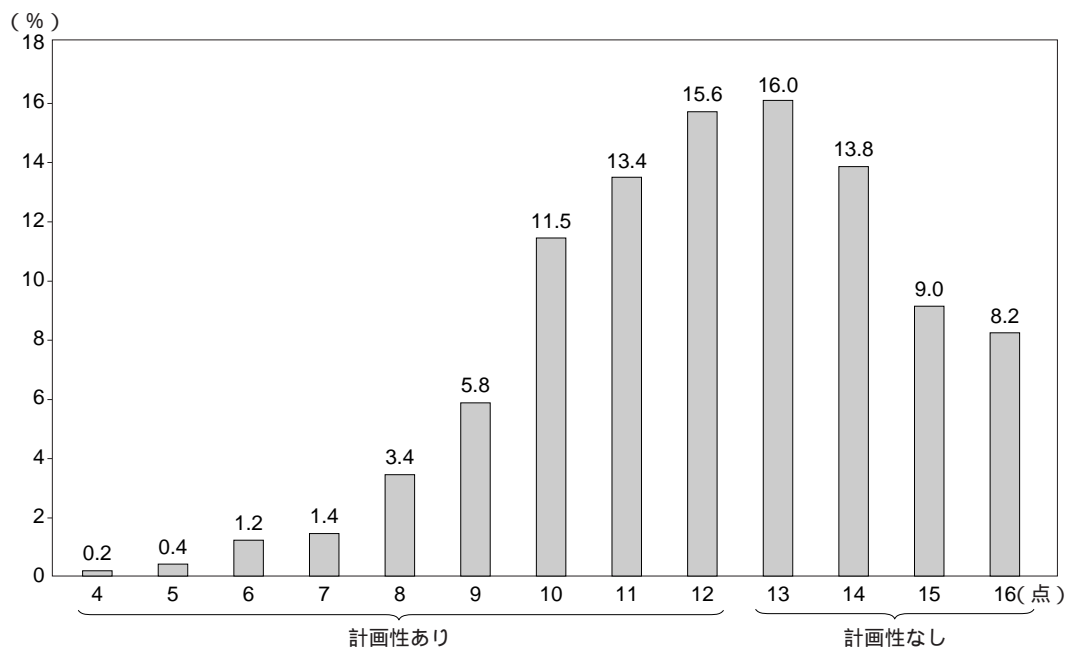
分析にあたっては、Q16のうち、「4．試験前に、科目ごとの勉強時間のスケジュールを作る」「5．締め切り直前になって宿題をやり始める」「6．テレビを見始めると、ついいつまでも見続ける」「7．夏休みなどの長期の休みを、計画を立てて過ごす」の4項目を構成要素とする「計画性」変数をつくった。4と7に肯定的に回答した場合は計画性があり、5と6に肯定的に回答した場合は計画性のない「時間の費やし方」をしていると考えられるので、計画性の有無の方向性がそろうように、各質問項目の指標の数字を入れ替えたうえで足しあわせた。その結果をまとめたのが図4-1である。点数が低いほど計画性があり、高いほど計画性がないことになる。分析にあたってはサンプルがほぼ半々に分かれるように、4点から12点までを「計画性あり」、13点から16点までを「計画性なし」の2つに分類して用いる。

「欲望満足延期性」の分析は第5章で行われるので、その概念などの詳細の説明は省略するが、Q25のA)で「1．将来よい生活をしたたり楽しんだりできるように、今はがまんしてもよい」と回答した生徒は欲望満足延期型、「2．将来どうなるかわからないのだから、今を楽しむ方がよい」と回答した生徒は欲望満足即時型として分類して分析に用いる。

では次節以降、本節で設定した課題について上記の質問項目の分析を通して検討していこう。

1) 中学生の耐性については、『モノグラフ・中学生の世界 vol.61 キレル・ムカつく』で特集されているので、ご参照いただきたい。

図4 - 1 「計画性」の有無



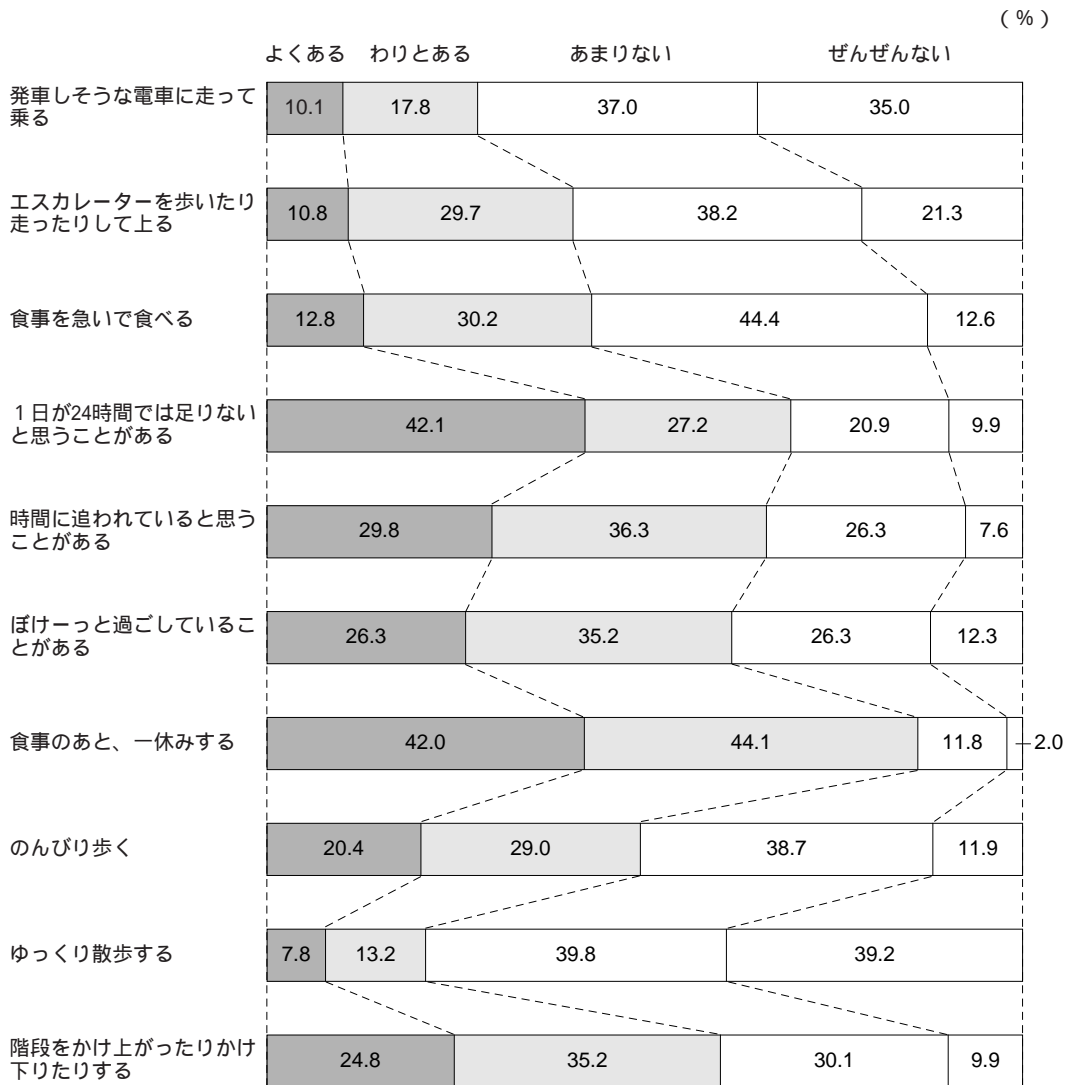
2 主観的な時間の費やし方

本節では、高校生の「主観的な時間の費やし方」について検討していく。

図4 - 2は、「主観的な時間の費やし方」について尋ねたQ17の回答を帯グラフにまとめたものである。質問をつくったときの意図としては、ちょっとした時間を惜しんで急いで物事に取り組む方がゆっくり取り組む方よ

りも多いのではないかと思い、高校生のそういった「主観的な時間の費やし方」を明らかにしたかったのだが、全体的には予想に反した結果になった。全体から読み取れる高校生の「主観的な時間の費やし方」は、「時間に追われていると感じているのに、時間を惜しいと思ってせかせかしすぎることなく、つい

図4 - 2 主観的な時間の費やし方



ついボーっと無駄に時間を費やしている」というところだろうか。

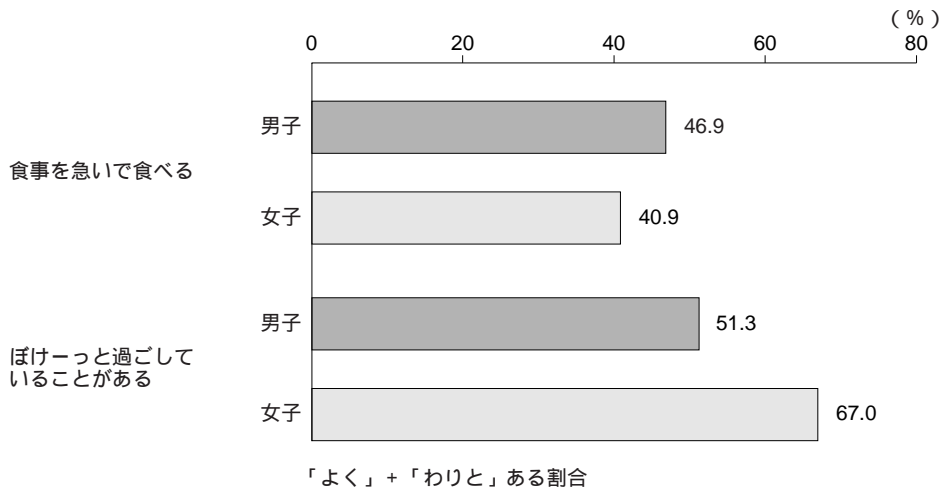
多少細かくみていこう。「1日が24時間では足りないと思うことがある」に肯定的な回答が69.3%、「時間に追われていると思うことがある」に肯定的な回答が66.1%となっており、3人に2人が日々の生活の中で時間が足りないと感じている。

急いでしまうケースとして、「発車しそうな電車で走って乗る」「エスカレーターを歩いたり走ったりして上る」「食事を急いで食べる」「階段をかけ上がったたりかけ下りたり

する」の4ケースを尋ねたところ、「階段をかけ上がったりかけ下りたりする」は半数以上が肯定的に回答したが、他の3つは3、4割にとどまっている。

ゆっくりするケースとして、「ぼけーっと過ごしていることがある」「食事のあと、一休みする」「のんびり歩く」「ゆっくり散歩する」の4ケースを尋ねたところ、「ゆっくり散歩する」は2割ほどにすぎないが、他の3つはほぼ半数から9割近くが肯定的な回答だった。

図4 - 3 主観的な時間の費やし方 × 性



次に、高校生の属性・特別に「主観的な時間の費やし方」について検討していこう。

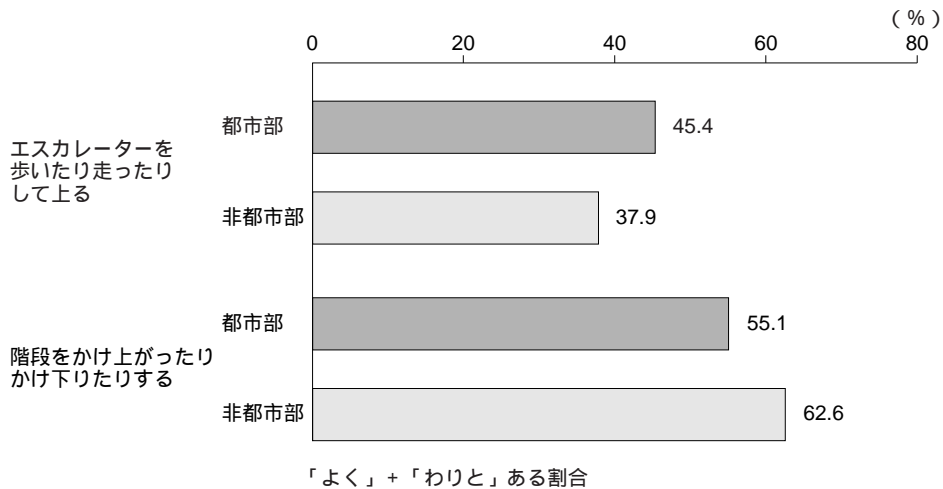
①性別（図4 - 3）

男女で「主観的な時間の費やし方」に差がみられたのは、「食事を急いで食べる」「ぼけーっと過ごしていることがある」「食事のあと、一休みする」「のんびり歩く」だった。男子の方が「食事を急いで食べる」割合が高く、女子の方がずるずると時間を費やしている割合が高いことから、男子はちょっとした時間を惜しみ、女子はゆっくり時間を使うという傾向があるといえよう。

②地域別（図4 - 4）

地域別で「主観的な時間の費やし方」に差がみられたのは、「発車しそうな電車に走って乗る」「エスカレーターを歩いたり走ったりして上る」「階段を駆け上がったたりかけ下りたりする」だった。質問項目をつくっている段階では、都市部の方が非都市部よりも移動のためにかける時間を惜しむ傾向があるのではないかと予想していたが、「電車」と「エスカレーター」では予想どおり都市部の方が、「階段」では予想に反して非都市部の方が肯定的な回答が多かった。

図4 - 4 主観的な時間の費やし方 × 地域



③授業中の態度 (図4 - 5)

授業中の態度別で「主観的な時間の費やし方」に差がみられたのは、「発車しそうな電車で走って乗る」「食事を急いで食べる」「ぼけーっと過ごしていることがある」「のんびり歩く」「ゆっくり散歩する」と、最も多くの項目で差がみられた。「時間」に関する授業中の態度が悪い生徒、つまり学校で求められている「時間の費やし方」にルーズな生徒の方が、ちょっとした時間を惜しむ行動をとる一方で、ついついずると無駄な時間を

費やしている様子が見えよう。

④家庭のしつけ

家庭での「時間」に関するしつけの厳しさの違いによる差はまったくみられなかった。

⑤計画性 (図4 - 6)

計画性の有無で「主観的な時間の費やし方」に差がみられたのは、「発車しそうな電車で走って乗る」「食事を急いで食べる」「ぼけーっと過ごしていることがある」「ゆっくり散歩する」だった。計画性がない高校生の方が、ちょっとした時間を惜しむ行動をとる一方

図4 - 5 主観的な時間の費やし方 × 授業中の態度

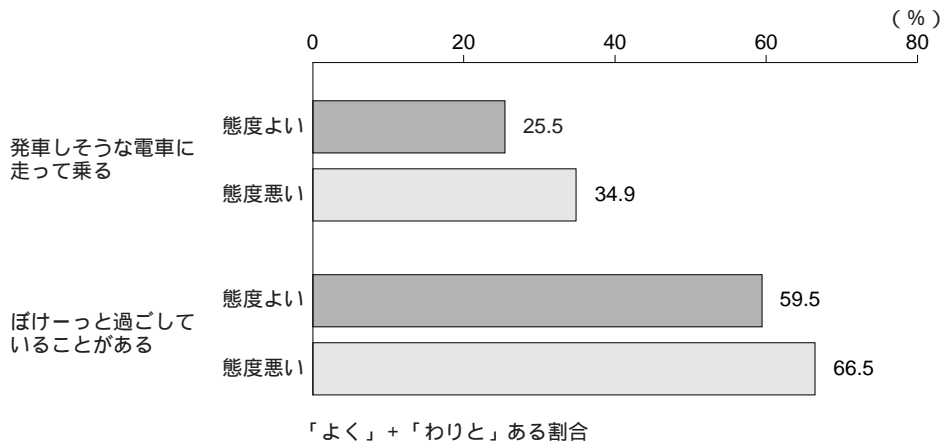
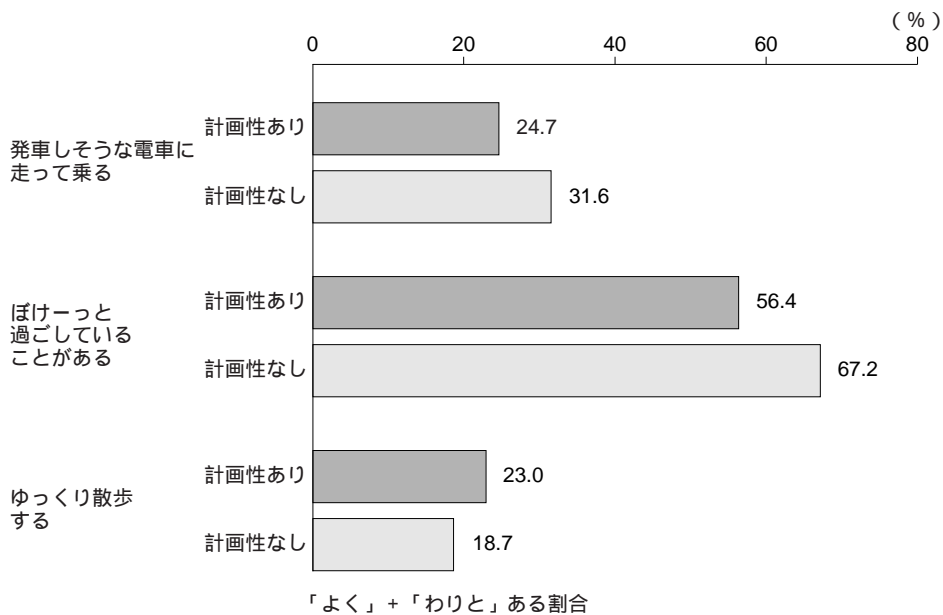


図4 - 6 主観的な時間の費やし方 × 計画性



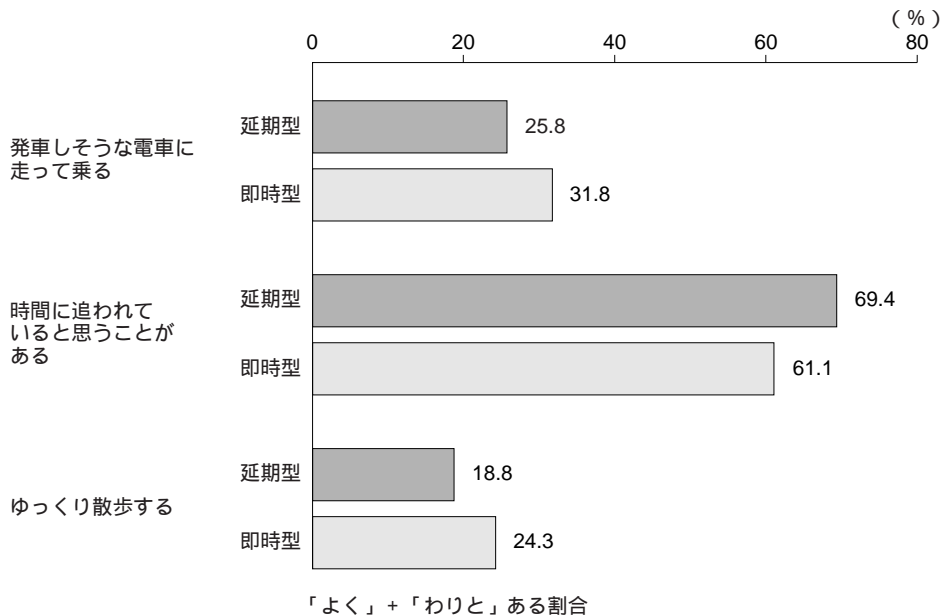
で、ついついずるずると無駄な時間を費やしている様子が見えてくる。「散歩」については、計画性がある高校生の方が肯定的な回答が多かったが、それはゆとりをもった時間の費やし方ができているということのあらわれであろうか。

⑥ 欲望満足延期性 (図4 - 7)

欲望満足延期性の延期型・即時型別で「主観的な時間の費やし方」に差がみられたのは、「発車しそうな電車で走って乗る」「食事を急いで食べる」「時間に追われていると思うこ

とがある」「ゆっくり散歩する」だった。一見すると、即時型の方がちょっとした時間を惜しんでいるかのように見えるが、延期型の方が時間に追われていると感じていたり、即時型の方がゆっくり散歩をしていたり、というところから考えると、即時型の高校生は自分のしたいことをするうえで無駄だと感じる時間は惜しむが、大事だと感じる時間はしっかりとり、というように、確かに即時型らしい行動をとっているともみることができるのではないだろうか。

図4 - 7 主観的な時間の費やし方 × 欲望満足延期性



3 時間の費やし方を通して見た耐性の様子

本節では、高校生の「時間に関する耐性」について検討していく。

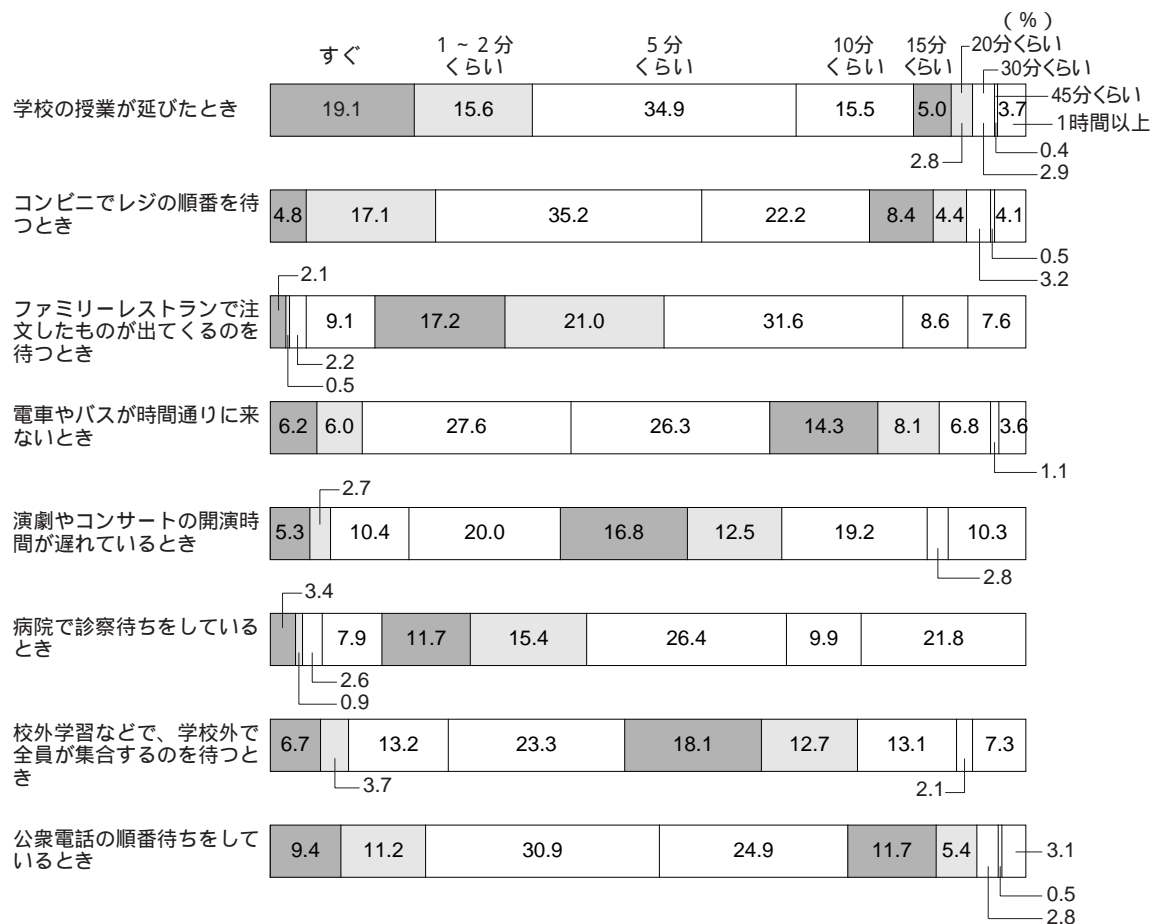
まず、図4 - 8は、「時間に関する耐性」を対物の待ち時間について尋ねたQ18の回答を帯グラフにまとめたものである。

イライラし始めるのが早い順にみていこう。「学校の授業が延びたとき」「コンビニでレジの順番を待つとき」「公衆電話の順番待ちをしているとき」は、「すぐ」から「1～2分くらい」で2、3割が、「5分以内」で半数以上がイライラし始めている。授業は、

チャイムと同時に始まって終わるというのが教師 - 生徒間の暗黙の了解だろうし、コンビニでは、「待たせない - 待たない」が店 - 客間の了解事項ということのあらわれだろう。公衆電話は、そこで長電話をするはずもないから待ってはみるものの、たかだか電話をするくらいのことで、いつ順番がくるかもわからずに待つことほど無駄な時間はないといったところであろうか。

そのあとに、「電車やバスが時間通りに来ないとき」「校外学習などで、学校外で全員

図4 - 8 時間の費やし方を通して見た耐性の様子（対物の待ち時間）



が集合するのを待つとき」「演劇やコンサートの開演時間が遅れているとき」と続いている。これらはいずれも「ある時刻」が定められているものであるが、経験的に多少の誤差があることが了解されているのが、「1～2分くらい」までにイライラし始めるのは1割程度にすぎない。これらのケースは、定刻をすぎても5分から15分くらい待つのは許容範囲といった感じのようだ。

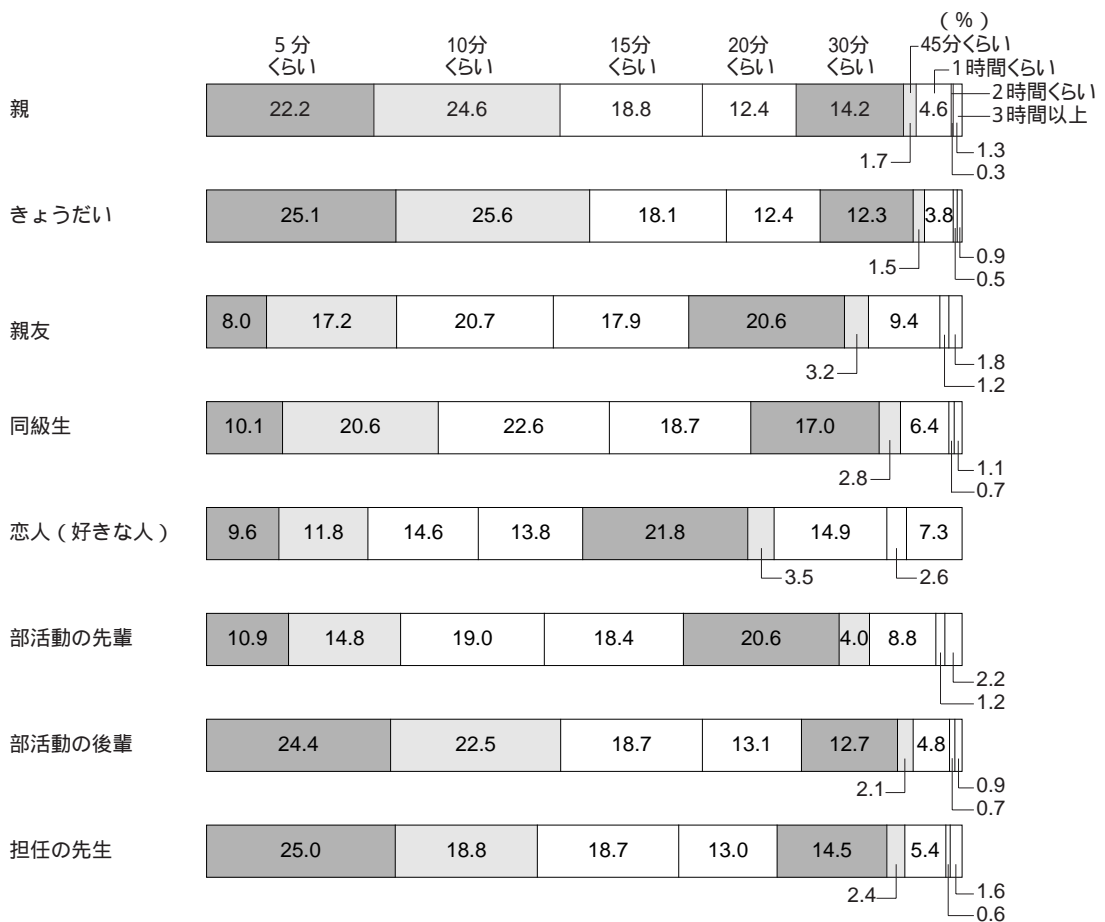
最後は「ファミリーレストランで注文したものが出てくるのを待つとき」「病院で診察待ちをしているとき」となっている。これらはいずれも手続きをとってからしばらく待たされることが前提になっているものであるから、10分程度待つのは当然で、20分から30分くらいしてようやくイライラし始めるよう

である。

次に、図4 - 9は、「時間に関する耐性」を対人の待ち時間について尋ねたQ20の回答を帯グラフにまとめたものである。

先ほどと同様にイライラし始めるのが早い順にみていこう。「きょうだい」「部活動の後輩」「親」「担任の先生」が、待ち合わせで待たされていてイライラし始めるのが早い相手である。いずれも2割強が待ち合わせの「ある時刻」をすぎても5分くらいで、また2割前後が10分くらいで、2割弱が15分くらいでイライラし始めており、イライラし始める平均時間はおよそ20分弱というところだろう。家族と担任の先生や部活動の後輩では、社会的な関係の持ち方が違うので、この数字自体は偶然のものであるとは思う。しかし次に続

図4 - 9 時間の費やし方を通してみた耐性の様子（対人の待ち時間）



く、「同級生」「親友」「部活動の先輩」「恋人(好きな人)」と比べるとイライラし始めるまでの平均時間がおよそ5分以上短く、グラフからも見てとれるように、はっきり差がついていることは注目できる。部活動の先輩には逆らえないということだろうが、その他の友人関係はなんらかの社会的な関係というつながりを超えたインフォーマルな人間関係であり、これらの人間関係の間の「時間」の規範は、一定の社会的な関係を持った人間関係の場合の規範に比べるとかなり緩いといえよう。

これらを総合してみると、物理的・客観的には同じ「何かをするために待つ何分かの時間」「誰かを待つための何分かの時間」でも、それが「ある時刻」を前提にしているものなのか、「ある時刻」になるまで多少時間がかかることを前提にしているものなのか、「あ

る時刻」が経験的にどの程度守られてきているものなのか、また、いったい何をするをを媒介にした二者関係なのか、待つ相手とはいったいどういう社会的関係にあるのかによって、「時間」の規範には違いがあることがわかる。そのため、「何かをするために待つ何分かの時間」「誰かを待つための何分かの時間」の「時間感覚」も、何を/誰を待つかによって違っており、耐性にも違いがあると考えられる。

では、高校生の属性・特性別に「時間の費やし方を通してみた耐性の様子」について検討していこう。ここでは、属性・特性別に、イライラし始めるまでの平均時間を比較していく。なお、Q18については「すぐ」を0.5分に、「1～2分くらい」を15分に、「1時間

表4 - 1 時間に関する耐性の平均時間

(分)

	平均時間		平均時間
学校の授業が延びたとき	8.2	親	19.3
コンビニでレジの順番を待つとき	10.1	きょうだい	17.7
ファミリーレストランで注文したものが出てくるのを待つとき	25.7	親友	26.8
電車やバスが時間通りに来ないとき	12.6	同級生	22.7
演劇やコンサートの開演時間が遅れているとき	20.8	恋人(好きな人)	40.0
病院で診察待ちをしているとき	31.3	部活動の先輩	27.3
校外学習などで、学校外で全員が集合するのを待つとき	17.5	部活動の後輩	19.0
公衆電話の順番待ちをしているとき	10.0	担任の先生	20.9

以上」を60分に、Q20については「3時間以上」を180分に、それぞれ置き換えて、分単位で平均時間を割り出した。その質問項目ごとの結果が表4-1である。以下では、各属性・特性ごとに、平均時間に差がみられた項目だけを表にまとめて提示する。

①性別(表4-2)

Q18の対物の耐性では、ほとんどの項目で2、3分ほどの男女差がみられた。しかし、差のあらわれ方はまちまちで、「学校の授業が延びたとき」と、「公衆電話の順番待ちをしているとき」が、男子の方が平均時間が長く、他は女子の方が長い。待っている間に他のことをしたり、一緒に待つ人がいたりするような場面では、Q17の分析でみたように女

子の方がゆっくり時間を費やす傾向がある分、耐性があるということかもしれない。

Q20の対人の耐性では「恋人(好きな人)」と「部活動の後輩」だけ男女差がみられた。男子は女子よりも「恋人(好きな人)」を待つ時間の耐性が高いが、これは本シリーズ『vol 56 高校生の他者感覚』でも、男子の方が女子よりも恋人と親密な関係を持つ傾向があることが明らかにされており、それと同様の結果といえる。男子の方が「部活動の後輩」に厳しいのは、男女差というよりも、男子の方が運動部に入っている割合が高く、上下関係の厳しさが反映されているものと推測できる。なお、統計的に差があるとはみなされないほどではあるが、「部活動の先輩」に対しても男子の方が厳しい結果になっている。

表4-2 時間に関する耐性 × 性

(分)

		平均時間
学校の授業が延びたとき	男子	9.0
	女子	7.8
ファミリーレストランで注文したものが出てくるのを待つとき	男子	24.4
	女子	26.5
演劇やコンサートの開演時間が遅れているとき	男子	19.7
	女子	21.4
病院で診察待ちをしているとき	男子	29.4
	女子	32.3
校外学習などで、学校外で全員が集合するのを待つとき	男子	16.7
	女子	18.0
公衆電話の順番待ちをしているとき	男子	10.7
	女子	9.6
恋人(好きな人)	男子	44.6
	女子	37.3
部活動の後輩	男子	17.1
	女子	20.0

②地域別（表4 - 3）

対物の耐性では、「ファミリーレストランで注文したものが出てくるのを待つとき」と「電車やバスが時間通りに来ないとき」で地域差がみられた。いずれも非都市部の方が2、3分ほど平均時間が長い。これは一般に非都市部の方がゆっくり「時間」が流れているように感じられるという、地域差の特徴を如実に表しているといえよう。

対人の耐性では、「親友」と「恋人（好きな人）」で地域差がみられ、都市部の方が耐性が高い。インフォーマルな人間関係にあって、親友と恋人は特に重要な他者であるが、その重要度の捉えられ方には地域差があるということだろうか。

授業中の態度（表4 - 4）

「主観的な時間の費やし方」では、多くの項目で相関がみられた「授業中の態度」だが、「時間に関する耐性」に関しては、「学校の授業が延びたとき」の1項目でしか差がみられ

なかった。これは、学校では「時間の費やし方」は学んでも、「時間」の規範については学んではいない、つまり、授業中にちゃんと教師の話を聞いていようといまいと、提出物を締め切りまでに出そうと出すまいと、結局はなんとなってしまう（教師がなんとかしてくれてしまっている）ために、「時間に関する耐性」には授業中の態度は影響を持っていないということなのだろうか。

④家庭のしつけ（表4 - 5）

家庭での「時間」に関するしつけの厳しさの違いによる差がみられたのは、対物の耐性では、「学校の授業が延びたとき」「電車やバスが時間通りに来ないとき」、対人の耐性では「担任の先生」だけだった。具体的には、しつけが厳しい方が、授業の延長や教師の遅刻に対する耐性が高く、電車・バスの遅れに対する耐性が低いという結果になっている。家庭でのしつけが、生徒の学校への構えになんらかの影響を与えているということはいえそうだ。

表4 - 3 時間に関する耐性 × 地域

(分)

		平均時間
ファミリーレストランで注文したものが出てくるのを待つとき	都市部	23.7
	非都市部	26.9
電車やバスが時間通りに来ないとき	都市部	11.1
	非都市部	13.4
親友	都市部	29.0
	非都市部	25.6
恋人（好きな人）	都市部	44.2
	非都市部	37.7

表4 - 4 時間に関する耐性 × 授業中の態度

(分)

		平均時間
学校の授業が延びたとき	態度よい	8.6
	態度悪い	7.3

⑤計画性（表4 - 6）

計画性の有無では、「時間に関する耐性」のほとんどの項目で、計画性のある方がない方よりも耐性が高いという結果がみられた。計画性のある方が、「主観的な時間の費やし方」では無駄な時間の使い方をしていなかった

たが、「時間に関する耐性」では待つことに対して多少長く待つことを厭わないという関係は非常に興味深い結果といえよう。そこで計画性については、節を改めてもう少し詳しく検討することにしたい。

表4 - 5 時間に関する耐性 × 家庭のしつけ

(分)

		平均時間
学校の授業が延びたとき	自由	7.8
	厳しい	8.7
電車やバスが時間通りに来ないとき	自由	13.0
	厳しい	12.1
担任の先生	自由	20.0
	厳しい	22.1

表4 - 6 時間に関する耐性 × 計画性

(分)

		平均時間			平均時間
学校の授業が延びたとき	計画性あり	9.1	親	計画性あり	21.3
	計画性なし	7.2		計画性なし	17.1
コンビニでレジの順番を待つとき	計画性あり	10.6	きょうだい	計画性あり	19.0
	計画性なし	9.5		計画性なし	16.2
ファミリーレストランで注文したものが出てくるのを待つとき	計画性あり	26.6	親友	計画性あり	28.6
	計画性なし	24.8		計画性なし	24.8
電車やバスが時間通りに来ないとき	計画性あり	13.3	同級生	計画性あり	24.3
	計画性なし	11.8		計画性なし	21.0
演劇やコンサートの開演時間が遅れているとき	計画性あり	22.2	恋人（好きな人）	計画性あり	42.2
	計画性なし	19.2		計画性なし	37.5
病院で診察待ちをしているとき	計画性あり	32.6	部活動の先輩	計画性あり	28.8
	計画性なし	29.8		計画性なし	25.6
			部活動の後輩	計画性あり	20.4
				計画性なし	17.4
			担任の先生	計画性あり	23.0
				計画性なし	18.5

⑥欲望満足延期性（表4 - 7）

欲望満足延期性の延期型・即時型別で「時間に関する耐性」に差がみられたのは6項目ほどあり、いずれも延期型の方が耐性が高い。これらの項目は、学校や病院といった場所、目上の人に対する人間関係などで、「時間」に関する構えというより道徳的な面があらわ

れているようにみえる。即時型の「学校の授業が延びたとき」のイライラし始めるまでの時間は、これまで検討してきた諸属性・特性の中で最も短く、欲望満足延期性と学校の業績主義とが深くかかわりあっているということが読み取れる。

表4 - 7 時間に関する耐性 × 欲望満足延期性

(分)

		平均時間
学校の授業が延びたとき	延期型	9.1
	即時型	6.8
病院で診察待ちをしているとき	延期型	32.0
	即時型	30.1
親	延期型	20.0
	即時型	18.2
きょうだい	延期型	18.5
	即時型	16.4
部活動の先輩	延期型	28.2
	即時型	25.8
担任の先生	延期型	21.8
	即時型	19.4

4 「計画性」の背景 - まとめに代えて -

前節までの分析を通して、高校生の「主観的な時間の費やし方」や「時間に関する耐性」を左右する要因として、さまざまな属性や特性のうち、「授業中の態度」と「計画性」が重要であることが明らかになった。「授業中の態度」についてはすでに第3章で分析・考察されているので、本節では「計画性」に焦点を絞って、どういう高校生に計画性があるのか、ということを検討していきたい。具体的には、高校生のさまざまな属性・特性の違いと計画性の有無との関連を一つ一つみていくことにする。

性別（図4 - 10）では、男子よりも女子の

方が10ポイント以上計画性がある生徒の割合が高い。この差の背景について本稿のデータからこれ以上深い議論を組み立てることはできないが、ジェンダーの問題として重要な課題といえよう。

学年別（図4 - 11）では、1、2年生の間にはほとんど差がないが、3年生になると、1、2年生よりも13、4ポイントも計画性が高くなっている。3年生になって、卒業後の進路を考えるようになり、多くの高校生が受験勉強をするうえで計画的になるのは、当然といえば当然のことだろう。

図4 - 10 「計画性あり」の割合 × 性

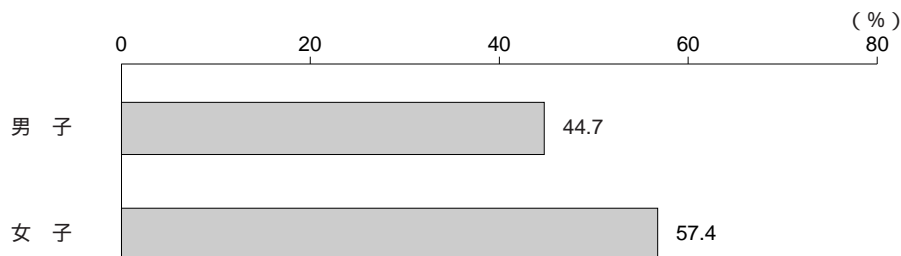
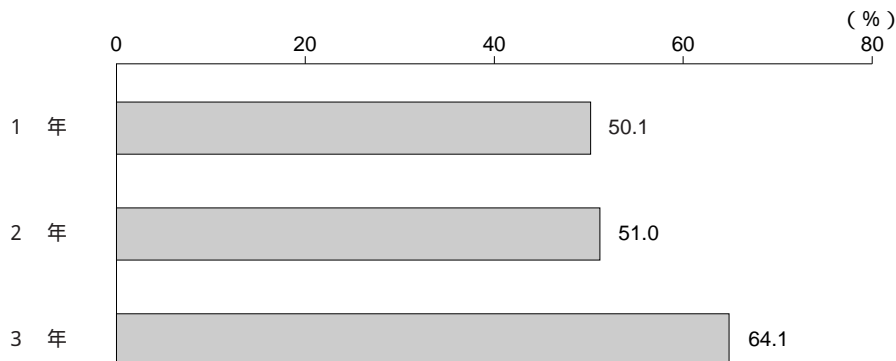


図4 - 11 「計画性あり」の割合 × 学年



部活動加入状況別（図4 - 12）では、見た目大きな差はみられない。しかし、加入者の間でみると、熱心に活動している生徒の方がそうでない生徒より計画性がある割合が数ポイント高い。それどころか、非熱心層は部活動未経験者よりも計画性がある割合がわずかながら低いのは注目に値する。なんとなく何かをする「何分かの時間」を過ごしてしまふのが計画性がないこととつながっているのかもしれない。

成績別（図4 - 13）では、成績が高いほど計画性がある割合も高くなっている。成績が「上の方」の生徒と「下の方」の生徒とでは、25.3ポイントの差が開いている。

進路志望別（図4 - 14）では、「短大」志望者が最も計画性が高く、次いで「難しい4年制大学」、少し差が開いて、「まあまあの4年制大学」「就職」「専修・専門学校」と続いている。この背景には男女差の影響が含まれていると思われる。

図4 - 12 「計画性あり」の割合 × 部活動

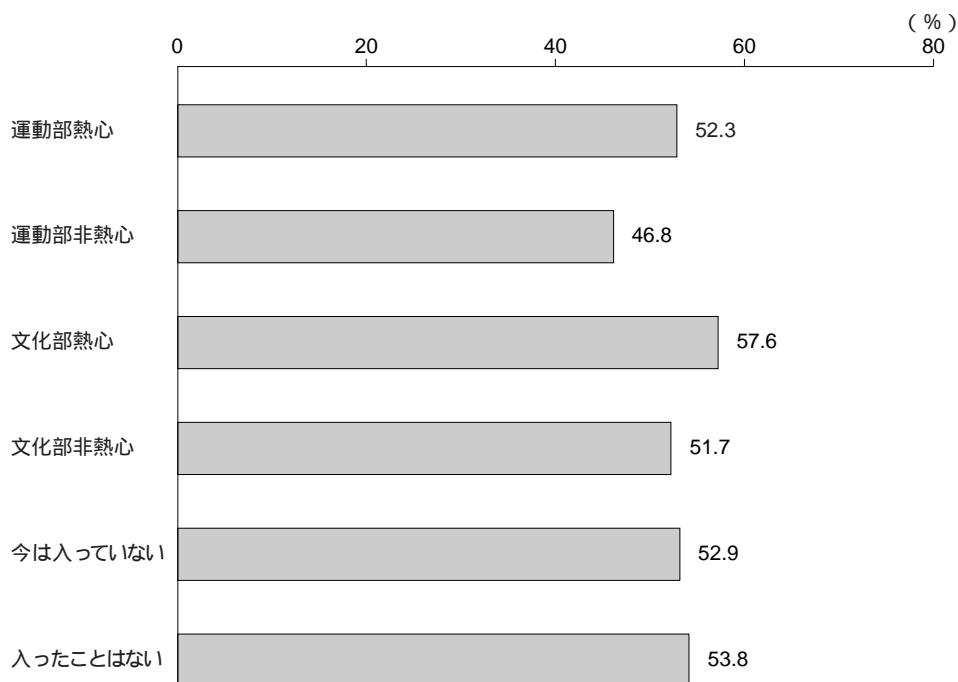


図4 - 13 「計画性あり」の割合 × 成績

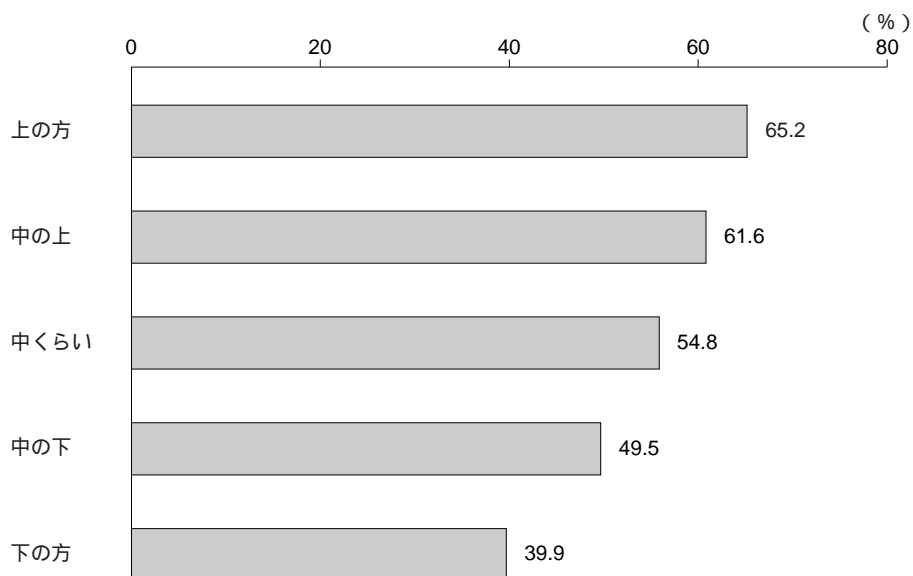
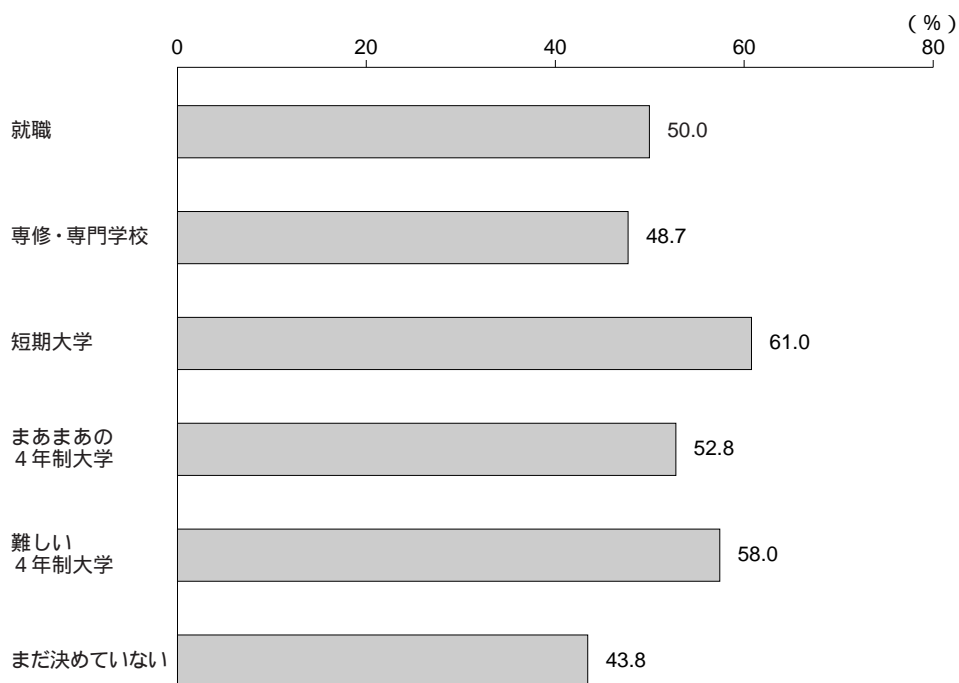


図4 - 14 「計画性あり」の割合 × 進路志望



授業中の態度別（図4 - 15）では、時間に関する授業中の態度がよい生徒と悪い生徒との間に25.6ポイントもの差があり、ここで検討する諸属性・特性の中で最も大きな差になっている。学校は近代的な「時間の費やし方」を学ぶ場でもあるので、学校で求められている「時間の費やし方」に肯定的な態度を示しているほど、計画性があるのは当然のことであろう。

家庭のしつけ別（図4 - 16）では、厳しい方が5ポイントほど計画性がある割合が高い。しかし、前節までの分析でもみられたように、家庭での「時間」に関するしつけは、あまり「時間の費やし方」や「時間感覚」に直接的な影響を持っていないようだ。

欲望満足延期性の延期型・即時型の別（図4 - 17）では、延期型の方が即時型より13.3ポイントほど計画性のある割合が高い。

以上をトータルして考えると、今日の社会で求められている「ある時刻」で何かをすることを区切り、「何分か的时间」で一定の成果を達成するという、「時間」に対する規範に肯定的な高校生ほど計画性もあるということになる。つまり、今日の社会の「時間」に対する規範に関して社会化しているほど、計

画性を身につけているということがいえる。

しかし、それは単に近代業績主義社会やそれを支える学校に対する構えとの関連があるということだけにはとどまらない。図4 - 18の一連のグラフは、対人関係に関する性格特性と計画性との関連をみたものである。これらのグラフによれば、友だちに信頼されていたり、友だちをひっぱっていくことができたりする高校生の方が、計画性のある割合が高いことがわかる。つまり、計画性があるということは対人関係における自信と関連しているのである。

このように考えてみると、計画性に裏づけられた対人関係の自信が心のゆとりになって、前節までにみたようなメリハリのある「主観的な時間の費やし方」や高い「時間に関する耐性」につながっているといえるのではないだろうか。特に耐性に関しては、本稿では「時間」という耐性の一側面だけを捉えて議論を展開してきたが、「時間に関する耐性」と深くかかわりのある計画性が、対人関係の自信とも深くかかわっているとしたら、それはきっと「時間」以外の側面から計られる耐性ともつながっていると推測することは、決して飛躍しすぎた暴論ではないだろう。

図4 - 15 「計画性あり」の割合 × 授業中の態度

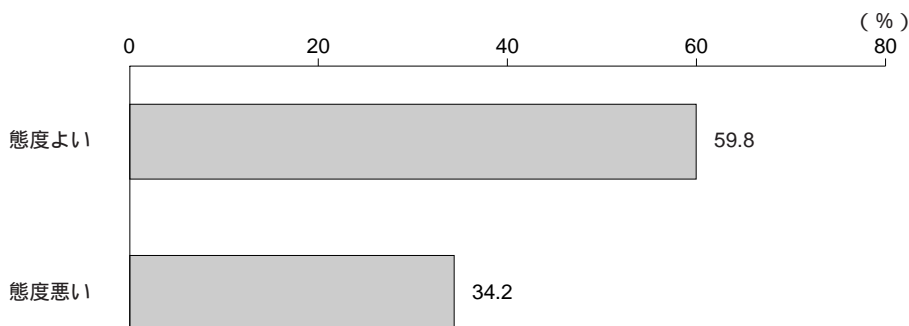


図4 - 16 「計画性あり」の割合 × 家庭のしつけ

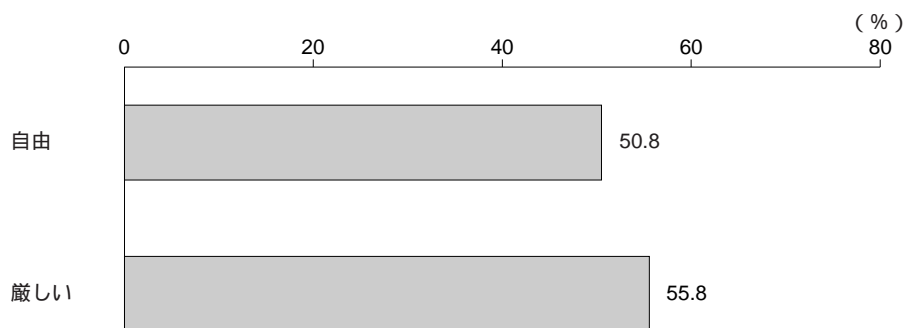


図4 - 17 「計画性あり」の割合 × 欲望満足延期性

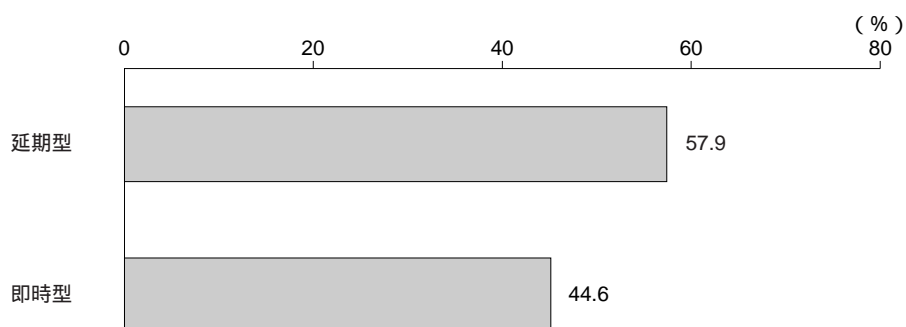
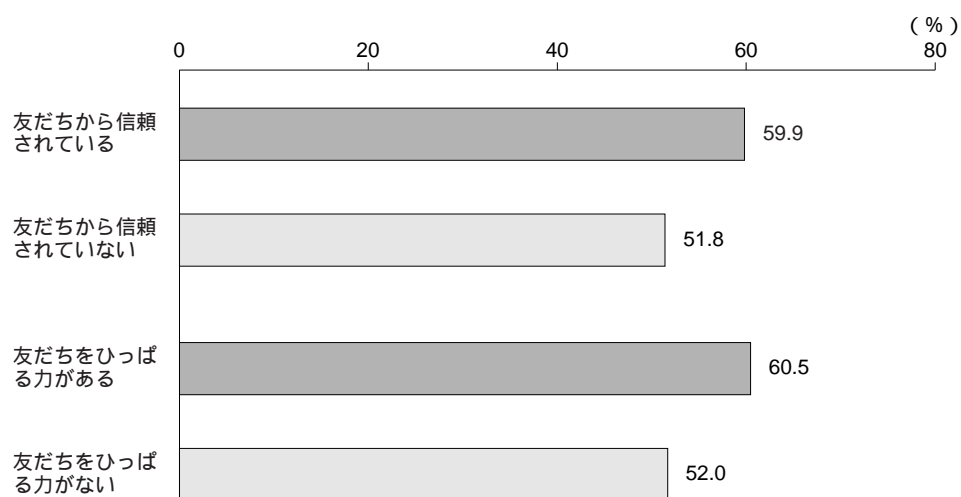


図4 - 18 「計画性あり」の割合 × 性格特性(対人関係)



第5章 IIIII

高校生の時間感覚タイプ とその日常

はじめに

1分は60秒、1時間は60分、1日は24時間、1年は365(ときに366)日、1世紀は100年といった具合に、時間をめぐる単位は一律になっている。私たちはこの時間の単位にそって生活をしている。いつのまにか時刻や時間はごく自然に私たちの生活に溶け込んでいる。例えば、時計を何気なく見ている自分がいたりする。これは、あまりに当然のこととして考えられている。このように、私たちは時刻や時間という決められた単位にしたがって、現在の生活リズムを作り出し、自分というものを創りあげていく。

しかし、一律に決められた単位の中で、必

ずしも皆が皆同じ感覚を持って日々を過ごしているとはいえない。それぞれの時間についての感じ方は違うであろうし、この感じ方に応じた日常を送っているとも考えられる。

それでは、高校生は時間について、どのように感じ取っているのだろうか。この感じ方には何らかのパターンが読み取れないだろうか。時間の感じ方によって、生活に特徴があらわれはしないのだろうか。決められた時間の中で、人々は独自の意義づけを行ってはいないだろうか。

本章では、このような疑問から出発して、データを分析していこう。

1 時間感覚タイプ ; I 軸 (将来志向 現在志向) の析出

そこでまずは、生徒の時間意識や日頃の行動に関する質問全体の関連を生徒の行動類型(タイプ)で出していく。質問間の相互連関

を回答の傾向から明らかにし、同時に回答者を類型化する方法として数量化 類がある。この分析方法を使用する。

この方法は、雑多な反応の中からパターンの似たものを見つけだし、それらを整理する1つの「筋」を探ろうとするものである。このようにして見つけだされた「筋」を事後的に解釈することによって、高校生の日常生活の背後に潜む価値観や基本的態度を捉えることができる。

Q25の時間に関する2者択一の質問回答(A～I)を数量化Ⅲ類にかけた。Ⅰ軸の相関

係数は0.4207(固有値0.1770)、同じくⅡ軸の相関係数は0.3565(固有値0.1271)であった。

まず最初に、9個の質問・18の回答を最も有効に仕分ける軸としてⅠ軸が出てくる。Ⅰ軸の得点の高い順にカテゴリースコアを示したものが表5-1である。

まずⅠ軸のマイナスのスコアが高いのは、「テストの失敗気にする(Ⅰ1)」「まわりの時間の使い方気になる(Ⅱ1)」「旅行は計画

表5-1 Ⅰ軸・Ⅱ軸のカテゴリースコア

Ⅰ軸 - <将来志向> <現在志向> +		Ⅱ軸 - <絶対志向> <相対志向> +	
I1 テストの失敗気にする	-1.7107	C2 夢にはお金が必要	-4.5526
H1 まわりの時間の使い方気になる	-1.6654	H1 まわりの時間の使い方気になる	-2.1807
B1 旅行は計画派	-1.0521	E2 結果にはひらめき	-1.7893
A1 将来のため今はがまん	-1.0290	I1 テストの失敗気にする	-1.7892
E1 結果には時間が必要	-0.8721	G1 時間へのこだわりあり	-1.4246
D1 無駄な時間を少なく	-0.8205	B2 旅行は無計画派	-0.9923
G1 時間へのこだわりあり	-0.5701	F1 旅行は計画楽しい	-0.5186
C1 夢には時間が大切	-0.2063	D1 無駄な時間を少なく	-0.3847
F1 旅行は計画楽しい	0.0004	A1 将来のため今はがまん	-0.0236
F2 旅行は思い出楽しい	0.0016	A2 将来は不明今を楽しく	0.0134
G2 時間へのこだわりなし	0.3431	C1 夢には時間が大切	0.3935
I2 テストの失敗切り替える	0.5883	D2 無駄な時間があっていい	0.4052
H2 まわりの時間の使い方気にならない	0.7452	B1 旅行は計画派	0.6265
D2 無駄な時間があっていい	0.8739	I2 テストの失敗切り替える	0.6372
B2 旅行は無計画派	1.6565	E1 結果には時間が必要	0.7493
A2 将来は不明今を楽しく	1.6913	G2 時間へのこだわりなし	0.8632
E2 結果にはひらめき	2.0734	H2 まわりの時間の使い方気にならない	0.9874
C2 夢にはお金が必要	2.4288	F2 旅行は思い出楽しい	0.9968

派 (B 1)」「将来のため今はがまん (A 1)」などの回答である。これら I 軸のマイナス方向は、現在よりも未来に価値を感じる傾向である。 < 将来志向 > と名づける。

それに対して、その対極にある I 軸のプラス方向は、「夢にはお金が必要 (C 2)」「結果にはひらめき (E 2)」「将来は不明今を楽しく (A 2)」などの回答である。これを < 現在志向 > と名づけることにしたい。以上から I 軸は、 < 将来志向 > と < 現在志向 > を区分する軸ということができる。このように、高校生の時間に関する行動様式を区分するのに、 < 将来のため / 現在のため > のどちらかを選択していることが、一番の大きな基準である。

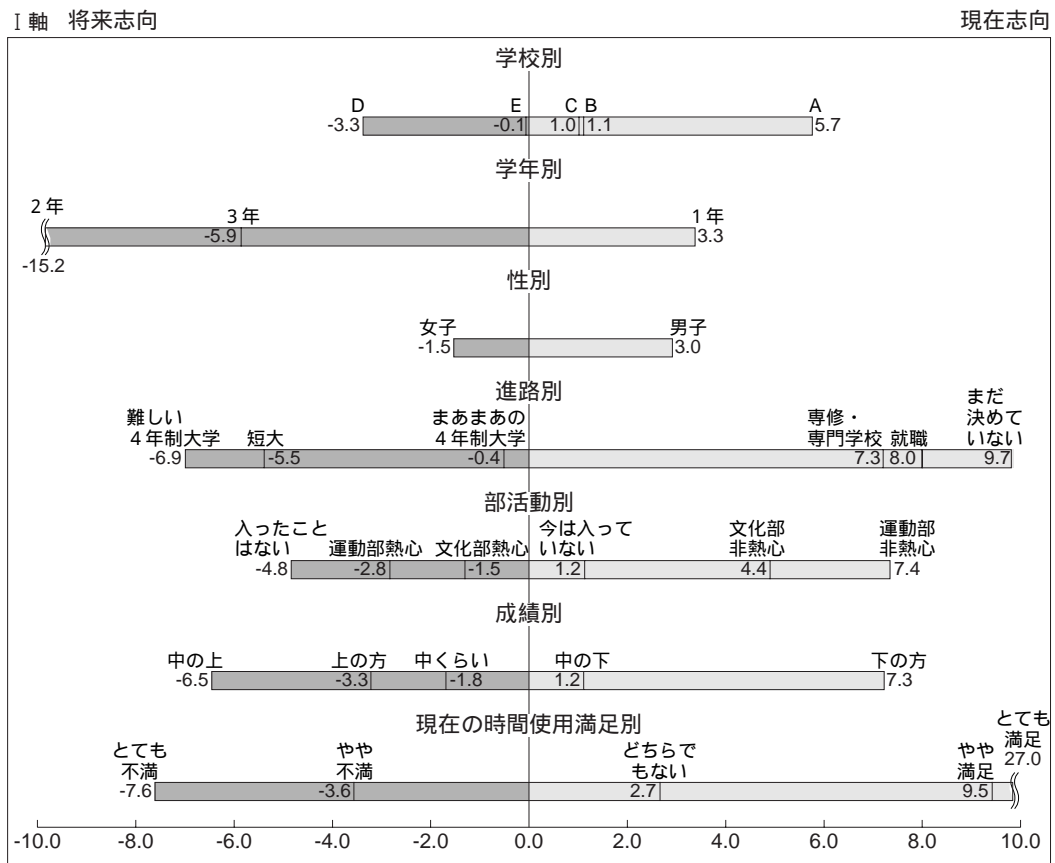
この < 将来 - 現在 > 志向が、学校や生徒に

どのような属性を伴って分化しているかをみてみよう。図 5 - 1 は、属性別に I 軸のスコアを示したものである。

< 現在志向 > を示すのは、学校別では A 校、学年では 1 年生、性別では男子、進路別では、迷っているとする「まだ決めていない」回答者、部活動では運動部・文化部とも部活動にあまり熱心でない者、成績下位層、現在の時間使用に対して満足を表明する生徒たちでみられる。

< 将来志向 > を示すのは、学校別では D 校、学年では 2、3 年生、性別では女子、進路別では難関とされる 4 年制大学希望者、部活動では加入していない者、もしくは運動部・文化部とも熱心な者、成績上位層、現在の時間使用に対して不満を表明する生徒たちでみられる。

図 5 - 1 I 軸のサンプルスコア × 10²



2 時間感覚タイプ；Ⅱ軸（絶対志向 相対志向）の析出

Ⅰ軸に次いで、生徒のタイプを仕分けるのに有効なⅡ軸についてみてみよう。表5-1のように、マイナス方向は、「夢にはお金が必要（C2）」「まわりの時間の使い方気になる（H1）」「結果にはひらめき（E2）」「テストの失敗気にする（I1）」などの回答である。この回答群は時間による彼らの支配・従属性をあらわしている。マイナス方向を強く感じる生徒たちには、時間は客観的な指標であり、元に戻すことができない客観的かつ絶対的な指標であると価値づけられている。現在決められている時間には従属する傾向がある。ここでは＜絶対志向＞と名づける。

Ⅱ軸のプラス方向をみてみると、「旅行は思い出楽しい（F2）」「まわりの時間の使い方気にならない（H2）」「時間へのこだわりなし（G2）」「結果には時間が必要（E1）」などの回答が並ぶ。自分自身の価値観に合わせた時間感覚が感じられる。自分の価値観に時間を合わせ、彼らなりに出来事を解釈していこうとするものと考えたい。この方向性を＜相対志向＞と名づける。以上のようにⅡ

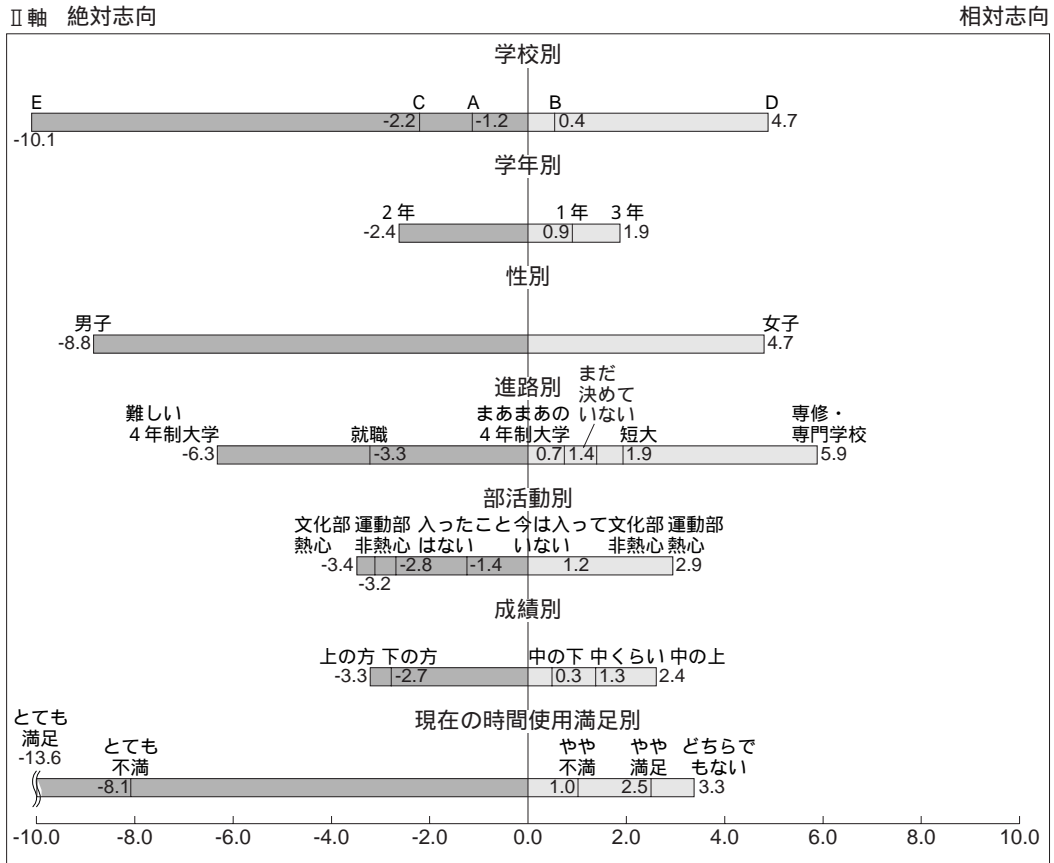
軸は、＜絶対志向＞と＜相対志向＞を仕分ける軸ということができる。

Ⅰ軸と同様に、この志向が生徒たちのどのような属性によって分化しているかをみてみよう。図5-2は、属性別にⅡ軸のスコアを示したものである。

＜絶対志向＞が示すのは、学校別ではE校、学年では2年生、性別では男子、進路別では難関とされる4年制大学希望者、部活動では運動部にあまり熱心でない者、文化部に熱心な者、加入したことがない者、成績が「上の方」と「下の方」の生徒たち、現在の時間使用に対して「とても満足」と「とても不満」を表明する生徒たちでみられる。

＜相対志向＞を示すのは、学校別ではD校、学年では1、3年生、性別では女子、進路別では専修・専門学校希望者、部活動では運動部に熱心な者、文化部にあまり熱心でない者、成績では中位（「中の上」「中くらい」「中の下」）層、現在の時間使用に対して「やや満足」と「やや不満」を表明する生徒たちでみられる。

図5 - 2 II軸のサンプルスコア × 10²



3 4つのタイプの命名

ここでお互いに独立しているⅠ軸とⅡ軸を交差させてみよう。こうすることによって、生徒の4つの行動類型(タイプ)をつくることができる(図5 - 3)。図5 - 4は、各質問項目で析出されたカテゴリースコアをプロットしたものである。それでは次に、それぞれの象限の特徴をみてみよう。

第Ⅰ象限 - 「旅行は思い出楽しい(F 2)」、「まわりの時間の使い方気にならない(H 2)」、「時間へのこだわりなし(G 2)」、「テストの失敗切り替える(I 2)」という回答にみられるタイプで、現在中心の活動をし、その評

価はポジティブに受けとめるタイプである。これを「直感型」と名づける。

第Ⅱ象限 - 「夢にはお金が必要(C 2)」、「結果にはひらめき(E 2)」、「旅行は無計画派(B 2)」という回答にみられるタイプで、現在中心の活動をしつつ、決められた時間という規範に絶えず引きずられた評価をするタイプである。これを「現実型」と名づける。

第Ⅲ象限 - 「結果には時間が必要(E 1)」、「旅行は計画派(B 1)」、「夢には時間が大切(C 1)」という回答にみられるタイプで、将来への目標を持ち、そのために自分の価値観

を上手に適合させることのできるタイプである。これを「柔軟型」と名づける。

第Ⅳ象限 - 「まわりの時間の使い方気になる (H1)」「テストの失敗気にする (I1)」「時間へのこだわりあり (G1)」「無駄な時間

間を少なく (D1)」という回答にみられるタイプで、将来を求めながらも、規定された時間の中でうまく結果が出せない自分に対し、反省した意識を感じやすいタイプである。これを「とらわれ型」と名づけることにしよう。

図5 - 3 I軸 × II軸でつくられる4つの時間感覚タイプ

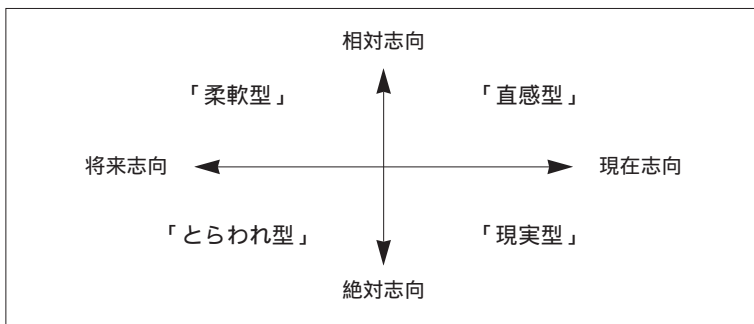
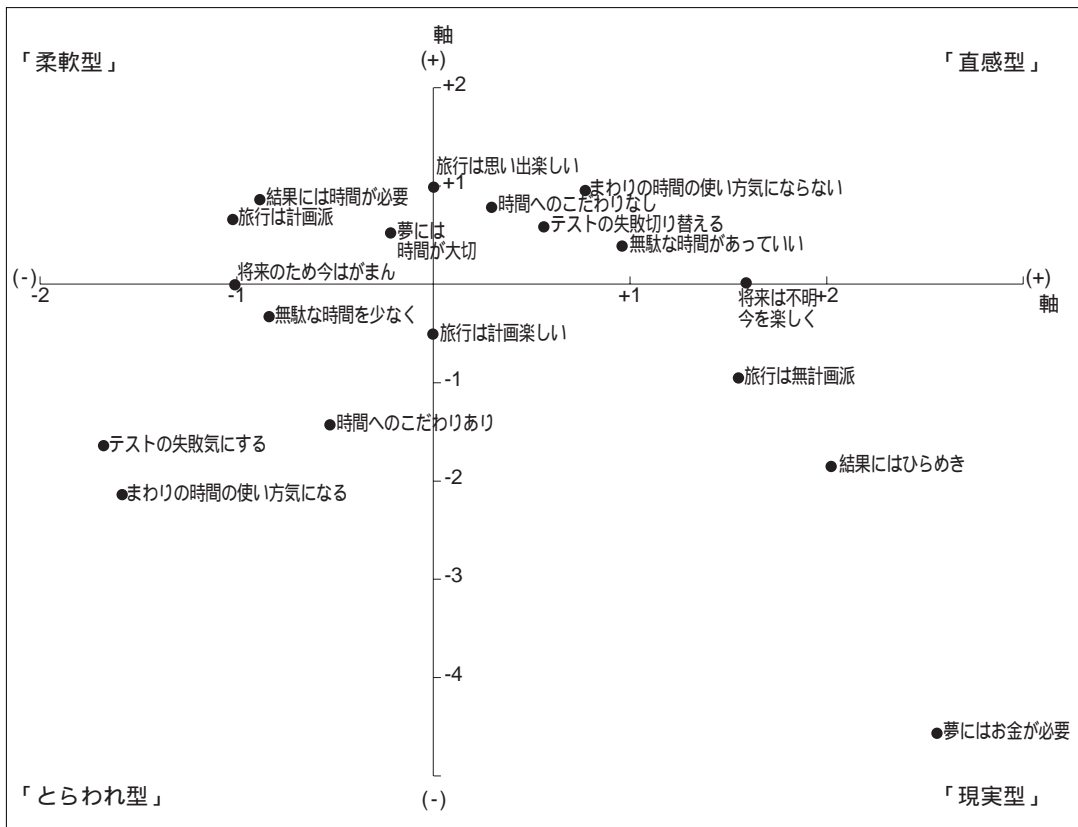


図5 - 4 I軸 × II軸質問プロット



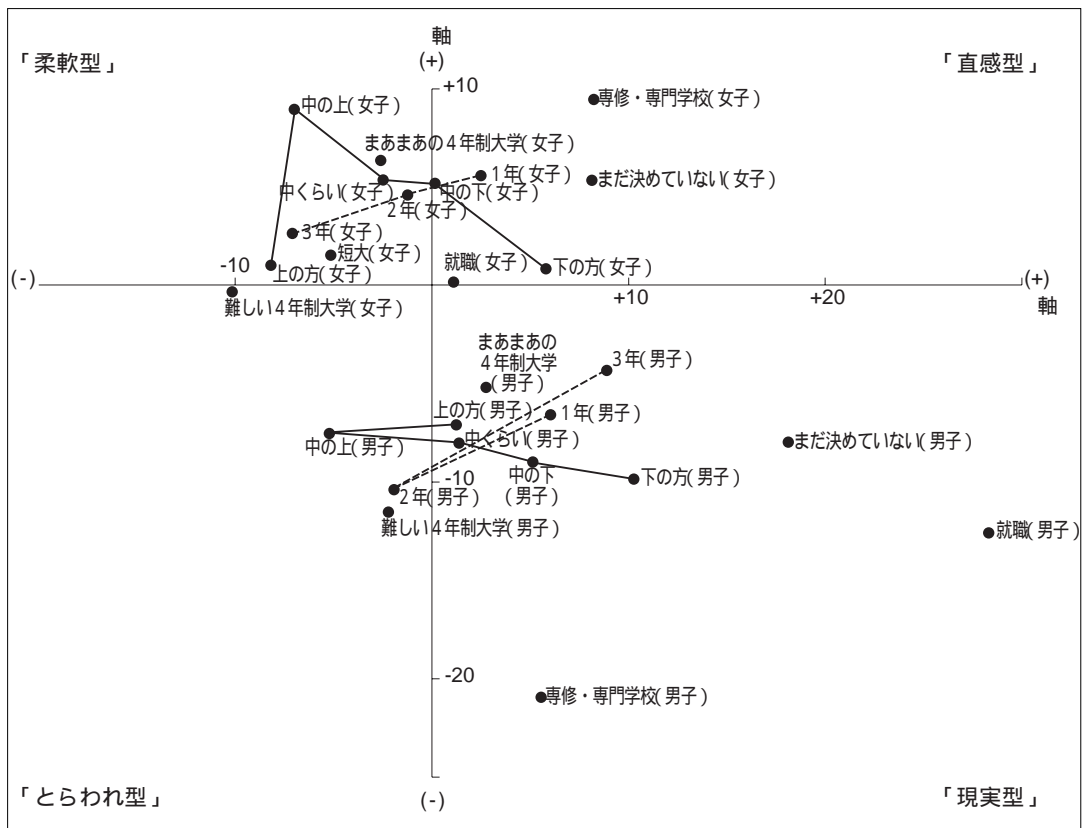
以上のように、＜将来 - 現在＞（Ⅰ軸）と＜絶対 - 相対＞（Ⅱ軸）という、生徒の行動を仕分ける2つの軸を交差させることによって、「直感型」「現実型」「柔軟型」「とらわれ型」という4つのタイプの高校生像を浮かび上がらせることができる。

次に、このような生徒のタイプを分化させている要因について検討してみよう。生徒の属性別に第Ⅰ軸と第Ⅱ軸に関して、サンプル

スコアの平均を示したのが図5 - 5である。

男女別にそれぞれ学年、成績、進路をみると、Ⅱ軸が男女ではっきりと分かれた格好になる。＜絶対志向＞に男子が、＜相対志向＞に女子が多い。進路が短大・大学と高等教育機関に向かうにつれて、また、成績が上位層になるにつれて、＜現在志向＞から＜将来志向＞へと移行していることがわかる。

図5 - 5 高校生のタイプの規定要因(サンプルスコア × 10²) × 属性



4 各タイプの属性

次に、この4つのタイプを属性別でみた場合に、どのような構成をとっているのであろうか。この構成割合を示したものが、図5 - 6である。

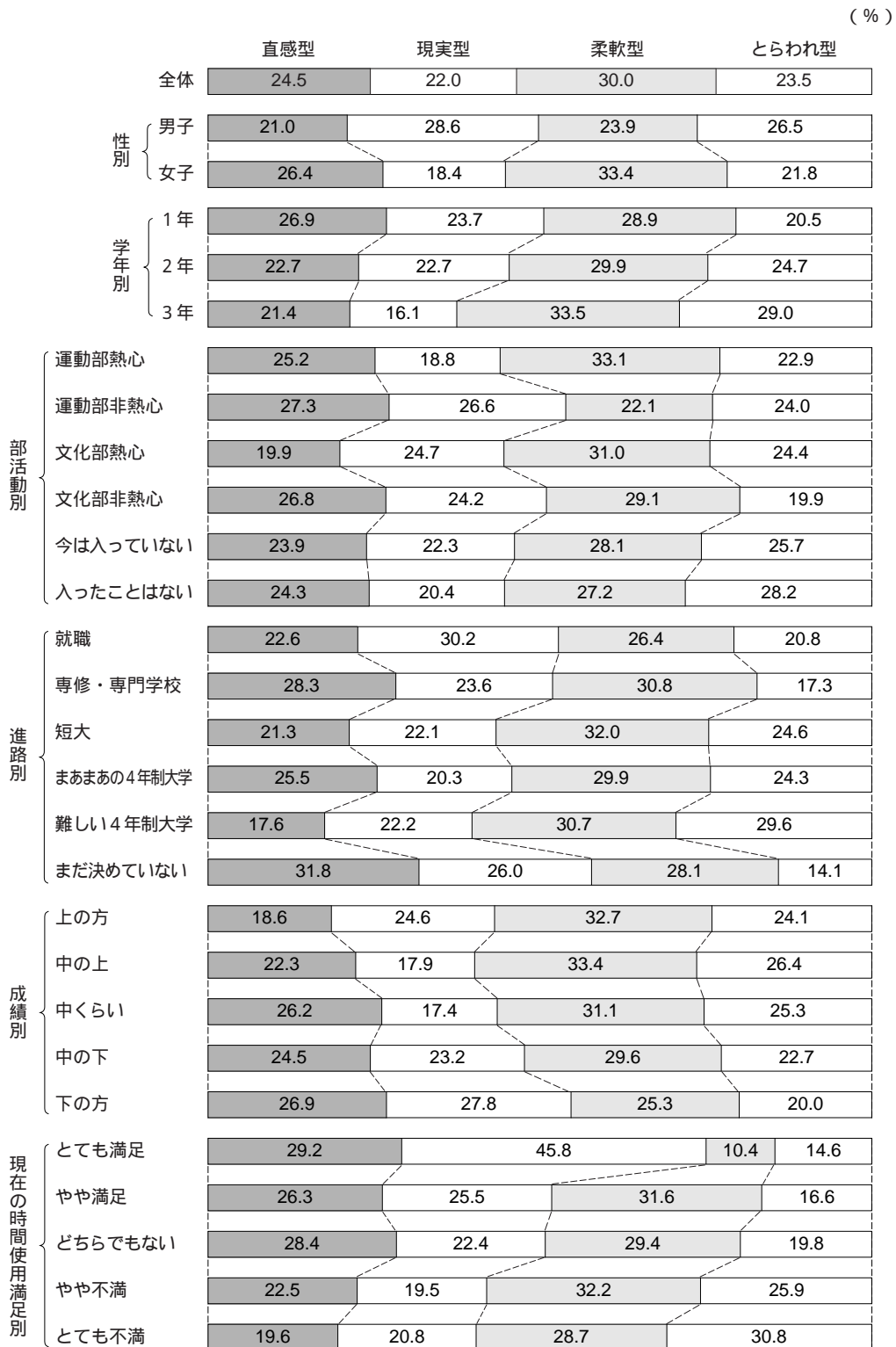
サンプル全体の割合をみると、「柔軟型」が30.0%、「直感型」が24.5%、「とらわれ型」が23.5%、「現実型」が22.0%である。性別で目立つ構成は、男子の「現実型」が28.6%（同女子18.4%）、「とらわれ型」が26.5%（同女子21.8%）であり、一方、女子の「柔軟型」が33.4%（同男子23.9%）、「直感型」が26.4%（同男子21.0%）である。

学年での割合をみると、学年が上昇するにつれて、「柔軟型」「とらわれ型」が多くなっている。将来をより直視せざるをえない状況に立たされているからであろうか。進路希望別では、「就職」希望者に「現実型」が

30.2%と最も多い。「まだ決めていない」に「直感型」が31.8%である。「専修・専門学校」「短期大学」「まあまあの4年制大学」「難しい4年制大学」希望者に「柔軟型」が最も多い。「とらわれ型」の割合が最も多いのは「難しい4年制大学」の29.6%である。このグループが最も時間に対してネガティブに捉えている。

成績別では、下位層に「現実型」が多く、上位層に「柔軟型」が多い。現在の時間使用に関する満足別では、「とても満足」に「現実型」が45.8%と半数近くを占める。一方、「とても不満」に「とらわれ型」が30.8%と最も多い。このように、現在の時間使用満足の捉え方で、各タイプ別に特徴がみられる。

図5 - 6 属性に占める4つのタイプの割合；左から「直感型」「現実型」「柔軟型」「とらわれ型」



5 タイプ別の自画像

それでは、この高校生の4つのタイプが他の質問項目の回答とどのような関係があるか、各タイプの特徴をみていこう。ここでは、将来への意識、親の厳しさ、自覚する性格についての質問回答とクロスを試してみた。

表5 - 2より、「とらわれ型」に将来へのぞむ意識が強くあらわれている。その後、「柔軟型」「現実型」と続く。「直感型」は、あまり将来のことは考えていない。

表5 - 2 将来について「考えること」×時間感覚タイプ

(%)

	全 体	時間感覚タイプ			
		直感型	現実型	柔軟型	とらわれ型
高校を卒業したあとの進路**	90.6	85.8	85.9	95.4	93.6
将来つきたい職業**	88.6	85.3	85.6	92.9	89.1
おとなになってからの暮らし方**	69.3	61.6	66.9	72.2	76.1
将来どんな人と結婚したいか**	59.2	54.8	60.6	57.0	65.6
自分の子どもをどう育てたいか**	52.7	46.3	54.1	50.7	60.5
自分が社会の中心になっている頃(2030年頃)の日本社会がどうなっているか**	28.9	20.8	32.2	27.5	36.0

「よく」+「ときどき」考える割合 **p<0.01 *p<0.05
数値のアミかけは全体の割合より大きい場合につけた

表5 - 3は、親のしつけの程度を各タイプごとにみたものである。軸の(将来志向)「柔軟型」「とらわれ型」に、時間に厳しい親の存在を推測することができる。高校生の帰宅後から就寝までの間に親の介入があるかないかによって、時間感覚タイプに差があらわれるものと考えられる。

表5 - 4は、自分自身の性格についての回

答である。「友だちから信頼されている」という「柔軟型(75.5%)」、「先生から信頼されている」という「とらわれ型(54.4%)」が特徴的である。自分を「努力型だ」と自覚するのも「柔軟型(65.0%)」「とらわれ型(64.5%)」に多い。ただし、「異性から人気がある」と自覚するのは「現実型(29.0%)」に最も多い。

表5 - 3 親が「厳しい」×時間感覚タイプ

(%)

	全 体	時間感覚タイプ			
		直感型	現実型	柔軟型	とらわれ型
友だちと長時間電話をする**	46.9	42.1	41.7	51.1	51.5
夕食後、買い物に出る**	42.1	36.8	33.6	48.0	47.8
夜9時すぎに友だちと電話をする	25.0	21.7	24.4	27.3	26.2
夕食を食へ始める時間	25.0	22.7	24.7	25.1	27.4
夜遅くまでテレビを見る**	20.5	16.1	18.6	22.4	24.0
就寝時間**	12.3	9.4	10.4	10.6	19.3

「少し」+「とても」厳しい割合 **p<0.01 *p<0.05
数値のアミかけは全体の割合より大きい場合につけた

表5 - 4 自覚する性格×時間感覚タイプ

(%)

	全 体	時間感覚タイプ			
		直感型	現実型	柔軟型	とらわれ型
心がやさしい**	73.7	70.7	68.5	78.1	75.9
友だちから信頼されている**	70.6	68.7	65.8	75.5	71.1
努力型だ**	56.8	52.3	42.3	65.0	64.5
先生から信頼されている**	47.3	39.1	40.5	53.2	54.4
異性から人気がある**	22.9	21.8	29.0	20.8	21.2

「とても」+「かなり」+「やや」そうの割合 **p<0.01 *p<0.05
数値のアミかけは全体の割合より大きい場合につけた

6 タイプ別の生活時間

さらに、各タイプによる生活時間の使い方・意識をみていこう。表5 - 5 はふだんの日常サイクル時間を尋ねたものである。日頃「6時30分以前には起床する」のは「直感型(43.7%)」「柔軟型(41.6%)」で、彼らは比較的朝に強い。「登校前の身支度を15分以内で行うのは「とらわれ型(68.6%)」「現実型(67.4%)」である。「家族そろっての夕食時間が20分以内」なもの「現実型(52.8%)」に多い。「就寝時間が0時以降」なのは「とらわれ型(66.7%)」に多くみられる。

次に「十分に時間をとれているか」を尋ねた項目をみると、各タイプごとに評価が異なる。「睡眠時間」は「直感型(65.4%)」「柔軟型(64.1%)」に、「勉強時間」は「とらわれ型(20.6%)」「柔軟型(18.2%)」に、「好

きなことをする時間」は「直感型(67.4%)」「現実型(65.3%)」に、それぞれ十分であると考えられている。

表5 - 6 は、「3分までしかがまんできない」と回答した各質問項目と各タイプとのクロスである。3分間をどのように位置づけるのかは人々の間で差異はあるかもしれないが、ここでは表中の数値が高いほど、忍耐のなさ(=落ち着きがない)がみられるものと解釈することにしたい。この観点から表をみていくと、どの項目も「現実型」や「直感型」の数値が高い。「終了ベル後の延長授業」に至っては、「現実型」の62.1%が忍耐のなさを表明する。どうやら、「現実型」が最も落ち着きのない生徒のようである。

表5 - 5 生活時間・意識 × 時間感覚タイプ

		全 体	時間感覚タイプ			
			直感型	現実型	柔軟型	とらわれ型
起床時間	6時30分以前	40.6	43.7	36.8	41.6	39.0
登校前の身支度	15分以内	66.9	65.0	67.4	66.2	68.6
家族そろっての夕食時間**	20分以内	41.2	39.8	52.8	35.9	38.9
平日の就寝時間	0時以降	63.6	61.3	65.7	61.3	66.7
睡眠時間	とれている	62.3	65.4	60.8	64.1	58.2
勉強時間**	とれている	16.2	12.2	13.0	18.2	20.6
好きなことをする時間	とれている	63.4	67.4	65.3	61.0	60.9

「十分」+「まあ」とれている割合 **p<0.01 *p<0.05
数値のアミかけは全体の割合より大きい場合につけた

表5 - 6 3分までしかがまんできない × 時間感覚タイプ

(%)

	全 体	時間感覚タイプ			
		直感型	現実型	柔軟型	とらわれ型
終了ベル後の延長授業**	50.4	53.3	62.1	42.3	47.0
親のお説教**	46.6	48.9	54.4	40.2	45.3
入学式などの来賓のあいさつ**	37.9	38.4	50.2	30.3	35.8
始業式などの校長先生のあいさつ**	25.3	24.6	38.8	18.2	22.9

数値のアミかけは全体の割合より大きい場合につけた **p<0.01 *p<0.05

7 各タイプの日常

日常に関することでも、これら各タイプごとに特徴的な結果があらわれる。より顕著と思われるものとして、「授業中」でのしぐさ、「日常」一般に関する意識をあげてみよう。

表5 - 7は、授業に関する各項目についてである。「ノートをしっかりとる」「宿題や提出物はきちんと出す」「先生の話をお熱心に聞く」のは「柔軟型」や「とらわれ型」に多い。授業をまじめに受けているタイプである。一方、「いねむり」「となりの人などおしゃべり」をしてしまうのは「現実型」「直感型」に多い。集中力の欠如がうかがえる。「内職」「マンガや雑誌を読む」という行為に至っては「現実型」が突出している。

日常意識と感覚についてみたものが表5 - 8である。「締め切り直前になって宿題をやり始める」「学校に遅刻する」ことが「ある」と回答するのは「直感型」「現実型」にみられる。反対に、「電車の発車時刻より少し早めに駅に着くように出かける」「試験前に、

科目ごとの勉強時間のスケジュールを作る」傾向にあるのは、「柔軟型」「とらわれ型」である。時間にゆとりを持って物事に対処しようとするタイプと、直前に慌てて対処しようとするタイプとが、はっきりと分化している。

だがしかし、ゆとりを持っているはずの「柔軟型」と「とらわれ型」であっても、異なる感覚を持つ。「とらわれ型」は「1日が24時間では足りないと思うことがある(75.6%)」「時間に追われていると思うことがある(76.0%)」と高い。「階段をかけ上がったたりかけ下りたりする(62.0%)」こともたびたびである。この対極に「直感型」がいる。「発車しそうな電車に走って乗る(29.4%)」ことが多々あるものの、片や「のんびり歩く(54.7%)」こともある。このタイプは実にマイペースを保ち続けている。「現実型」は、切迫感を常に受けながらの生活である。「食事を急いで食べる(50.3%)」ほどの気忙しさを漂わせている。

表5 - 7 授業でのこと(「している」) × 時間感覚タイプ

(%)

	全 体	時間感覚タイプ			
		直感型	現実型	柔軟型	とらわれ型
ノートをしっかりとる**	89.2	90.4	80.5	94.4	89.6
宿題や提出物はきちんと出す**	78.9	76.6	69.6	85.6	81.1
先生の話を中心に聞く**	77.0	75.0	66.8	83.1	80.7
いねむりをする**	64.2	68.1	68.3	61.6	59.4
となりの人などおしゃべりをする**	58.6	60.6	61.9	52.5	61.4
「内職」をする**	36.1	33.9	46.1	30.3	36.4
マンガや雑誌を読む**	16.9	18.1	24.3	11.8	15.3

「よく」+「ときどき」している割合 **p<0.01 *p<0.05
数値のアミかけは全体の割合より大きい場合につけた

表5 - 8 日常生活(「ある」こと) × 時間感覚タイプ

(%)

	全 体	時間感覚タイプ			
		直感型	現実型	柔軟型	とらわれ型
締め切り直前になって宿題をやり始める**	74.3	80.4	77.7	71.2	69.3
電車の発車時刻より少し早めに駅に着くように出かける**	55.3	52.9	47.4	60.4	58.3
試験前に、科目ごとの勉強時間のスケジュールを作る**	26.9	20.9	19.5	33.7	30.9
夏休みなどの長期の休みを、計画を立てて過ごす**	23.1	16.7	14.5	28.6	30.5
学校に遅刻する**	8.3	9.2	13.4	5.5	6.8
1日が24時間では足りないと思うことがある**	69.3	64.6	70.5	67.1	75.6
時間に追われていると思うことがある**	66.1	58.7	64.2	65.9	76.0
階段を駆け上がったりかけ下りたりする	60.0	58.7	64.3	56.6	62.0
のんびり歩く**	49.4	54.7	47.7	51.2	43.1
食事を急いで食べる**	43.0	40.4	50.3	36.3	47.5
エスカレーターを歩いたり走ったりして上る**	40.5	37.0	47.3	37.8	41.8
発車しそうな電車で走って乗る*	27.9	29.4	32.8	26.1	24.7
ゆっくり散歩する*	21.0	19.3	26.5	20.7	18.0

「よく」+「わりと」ある割合 **p<0.01 *p<0.05
数値のアミかけは全体の割合より大きい場合につけた

■おわりに

以上みてきた結果をもとに、高校生の4つの時間感覚タイプをもう一度まとめておこう。

「直感型」 - 彼らなりにには満足のいく独自でマイペースな時間感覚を持っているが、周囲に“のんびり”とした印象を与える高校生。

「現実型」 - 集中力が途切れがちで絶えず迫りくる現状に、その場しのぎの対処をみせる“いい加減”な印象を与える高校生。

「柔軟型」 - 親のしつけを受け、自分なりに設定した目標に向けて、確実に余裕を持って対処し、かつ規範も守る“まじめ”な印象を与える高校生。

「とらわれ型」 - 「柔軟型」と同じ背景でありながら、まじめすぎるがゆえに、これが重荷となって“絶えず生き急いでいる”印象を与える高校生。

このように高校生の中では、同じ単位にそって生活していながら、時間感覚が異なっている。これらの感じ方のタイプは、親のしつ

けの厳しさに規定され、自分の性格、将来への意識、日常行為に見える形となってあらわれる。

3年間という高校生活の中で、彼らは正規のカリキュラムの履修やさまざまな「規律」を遵守していくことが要求される。だが本分析のように、決められた時間への対応の仕方は人さまざまである。これは高校生が現在意識している状況によって違う。これまで当たり前を受けとめられてきた時間について、改めて人々の感じ方に注意を払ってみると、その人たちに適した生活時間の流れがあることがわかる。例えば決められた時間単位によって、都合の悪い状況へと追い込まれている人が少なからずいる。また一方で、周囲の不安をよそに自分用の時計を信じて動いている人もいる。

いろいろな感覚を備えた人々が結びつき、今という時が進んでいく。本章の結びとして、私はその人に合った時間を消費していったほしいと思う。そして、現在の消費が将来の困難を克服できる有用な財産となることも同時に願う。

まとめに代えて

時間のとらえ方

時間を使いこなす

時間についての調査結果を読み取りながら、「時間を使いこなしている生徒」と「時間に流されている生徒」とが目についた。進学先のはっきりとした成績上位層の生徒が時間を効率よく活用しているのに対し、ぼんやりと時間を費やしている生徒が少なくなかった。

昨年、別の機会に中学生を対象として、居場所についての調査を行った。その結果によると、「一番のんびりとできるとき」は、「自分の部屋でごろっとしているとき」の32%、次いで、「部屋でマンガを読んだり、音楽を聴いているとき」の28%、3位は「お風呂に入っているとき」の16%だった。

いずれも1人でぼんやりとしているときだが、「1日の中で楽しいときは」の問いに対しても、「のんびり」の場合と同じような結果で、「友だちと話しているとき」の楽しさは、「部屋で音楽を聴く」より下位に位置していた。もちろん、「授業を聞いているとき」の楽しさは1日の中で最低に近かった。

部屋で寝転びながら、夜遅く、時間を気にすることなしに、マンガのページをめくりながら、大好きな音楽に耳を傾ける。生徒にと

っての至福の時なのだと思う。そして、中高生というと、部屋にひきこもって、ぼんやりとしている状況を思い起こす。それだけに、「もう少し勉強しては」とか、「意味のありそうなことをしては」といいたいくなる。しかし、こうした時間の使い方について、いろいろな面からの考察が可能であろう。

仮に同じ音楽を聴いている場合でも、熱心に勉強をしている生徒が疲れをとるためなら、息抜きの時といえよう。その一方、ロックに傾斜している生徒が自分の音を求めてのものなら、休息というより探求の時となる。あるいは、友だちとの人間関係に疲れた生徒が癒しを求めての行動なら、それなりに理解できる時間の過ごし方になる。

したがって、同じ音楽を聴く時間でも、単なる暇つぶしである場合もあろうが、生徒が意識してそういう時間をとっているのなら、生徒なりに時間を使いこなしているともいえる。

「モノ」から「マルチ」へ

こう考えてくると、時間の使い方はそれぞれの気持ちの持ち方が関係してくるので、勉強をすればいいというような単純なものでは

いことがわかる。

調査が終わってから、分析の枠組を考えるのも変なものだ。しかし、専攻研究の少ない領域だけに調査票を作成するのが精一杯で、今になると、こうすれば、もう少し分析が深まったのと思う面が少なくない。そこで改めて、時間のとらえ方を考えてみよう。

①時間を使う「領域」

高校生が時間を使う領域として、①学業の他に、②部活動、③アルバイト、④友だちづきあい、⑤趣味の世界、⑥家ででの気晴らしなどが考えられる。学業に精を出すのが望ましいのはいうまでもない。しかし、生徒によっては、部活動でもアルバイトでも何でもよい。現代の高校生の場合、趣味や友だちに時間を割くことがあってもいいのではと思う。

②時間を使う「長さ」

どの領域にしても、1つのものを習得するには時間がかかる。なにごとに付け、簡便さや抜け道が求められ、地道な努力がダサいとみなされがちである。そうはいても、部活動などで長い練習を重ねている生徒や趣味となると根気よく努力を重ねる生徒もある。それだけに時間を使う領域はどこでもいいが、どの程度の根気があるかが時間を考える際の1つの角度となる。

③時間の「密度」

同じ時間を使うにしても、どの程度集中できるかで、時間の意味が変わってくる。密度を濃く集中して時間を使えば、短時間で成果を上げることができる。しかし、集中力を欠くと、成果の上まらないままに、時間だけが

流れていくことになりやすい。

④時間の「バランス」

時間を1つのことに集中的に使うか、それとも多面的にバランスをとって使うのか。現在の高校生が望むのは、いろいろなことに関心を持つ生き方であろう。

かつての高校生が理想とした、あるいは、理想とされた時間の使い方は、勉学を中心に(①)、他に目を向けずに(④)、根気よく(②)、集中して(③)、学ぶ態度だった。もちろん、勉学の代わりに、部活動が対象でもよい。「1つのことを根気よく集中して」がイメージにある理想の高校生らしさだったように思う。1つにこだわる「モノ」的な文化である。

それに対し、現在の高校生が理想とするのは、主として、自分に近い領域(①)で、できる限り短時間(②)で、バランスを取りながら(④)、軽いノリで(③)、多面的に自分らしさを展開したい、「マルチ」的な文化である。

おとなたちは「マルチは無理」と思っている。しかし、それが可能なら、われわれもそうした生き方をしたいと思っていたのではないか。効率よく勉強をして、運動の部活動もがんばる。それに、音楽にも通じている。その上、好きな異性ともつきあっている。そんな高校生だったら、高校生時代が楽しかったらと思う。われわれは不器用だから、1つのことしかできなかった。でも、新しい世代はマルチが可能なのかもしれない。時間の使い方について、われわれと異なるマルチな動きをする若い世代のお手並みを拝見したいと思った。

アンケートのお願い

このアンケートは、高校生の皆さんの「時間感覚」をお聞きする目的で作られたものです。テストではありませんので、自由に思った通りに教えてください。よろしくお願いします。
(お名前はいりませんので、ありのままをお答えください)

高校教育研究会

東京成徳短期大学教授

上智大学教授

明治学院大学教授

深谷昌志

武内清

望月重信

((回答のしかた)) 特にことわりのない場合は、あてはまる数字に1つだけをつけてください。

資料1 調査票見本

① あなたの学校、学年、性別についておたずねします。

- 1) 学校名 () 高等学校
 2) 学 年 () 年
 3) 性 別 (1 . 男子 2 . 女子) < をつけてください >

I . まず、あなたのことをお聞きします。

② あなたは部活動（課外クラブ）に参加していますか。 < を1つつけてください >

- 1 . 運動部に入って、熱心に活動している
 2 . 運動部に入っているが、あまり熱心に活動していない
 3 . 文化部に入って、熱心に活動している
 4 . 文化部に入っているが、あまり熱心に活動していない
 5 . 以前入っていたが、現在はやめてしまった
 6 . 入ったことはない

③ あなたは高校卒業後、どんな進路を希望していますか。 < を1つつけてください >

- 1 . 就職
 2 . 専修・専門学校
 3 . 短期大学
 4 . まあまあの4年制大学
 5 . むずかしい4年制大学
 6 . まだ決めていない

④ あなたは高校生として、自分をどんなタイプだと思っていますか。

- | | とても
そう | かなり
そう | やや
そう | やや
ちがう | かなり
ちがう | まったく
ちがう |
|---------------------|-----------|-----------|----------|-----------|------------|-------------|
| 1 . 行動力がある | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 2 . オシャレな方だ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 3 . 異性から人気がある | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 4 . 友だちが多い | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 5 . 努力型だ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 6 . 心がやさしい | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |

- | | とても
そう | かなり
そう | やや
そう | やや
ちがう | かなり
ちがう | まったく
ちがう |
|--------------------|-----------|-----------|----------|-----------|------------|-------------|
| 7. 友だちから信頼されている …… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 8. 友だちをひっぱる力がある …… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 9. 先生から信頼されている …… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 10. スポーツが得意だ …… | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |

II. 時間についてお聞きます。

- ⑤ あなたは、ふだん学校のある日の朝、何時頃起きますか。

6時以前	6時15分頃	6時30分頃	6時45分頃	7時頃	7時15分頃	7時30分頃	7時45分頃	8時すぎ
1	2	3	4	5	6	7	8	9

- ⑥ あなたは、学校のある日の朝、顔を洗ったり髪を整えたりするのに何分くらいかけていますか。

0分	2分 くらい	5分 くらい	10分 くらい	15分 くらい	20分 くらい	30分 くらい	45分 くらい	1時間 以上
1	2	3	4	5	6	7	8	9

- ⑦ あなたは、家族そろって夕食を食べるとき、食事に何分くらいかけていますか。

10分 くらい	20分 くらい	30分 くらい	40分 くらい	50分 くらい	1時間 以上
1	2	3	4	5	6

- ⑧ あなたは、1人で夕食を食べるとき、食事に何分くらいかけていますか。

10分 くらい	20分 くらい	30分 くらい	40分 くらい	50分 くらい	1時間 以上
1	2	3	4	5	6

- ⑨ あなたは、ふだん平日の夜は何時頃寝ますか。

10時以前	10時30分頃	11時頃	11時30分頃	0時頃	0時30分頃	1時頃	1時30分頃	2時すぎ
1	2	3	4	5	6	7	8	9

資料1 調査票見本

⑩ あなたの家の門限は何時頃ですか。

6時以前 7時頃 8時頃 9時頃 10時頃 11時頃 0時頃 特にない
 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4 ——— 5 ——— 6 ——— 7 ——— 8

⑪ あなたは、次のような時間を十分にとれていると思いますか。

十分 まあ あまり まったく
とれている とれている とれていない とれていない

1. 睡眠時間 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4

2. 勉強する時間 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4

3. 好きなことをする時間 1 ——— 2 ——— 3 ——— 4

⑫ あなたは、自分の現在の時間の使い方に、全体として満足していますか。

とても満足 やや満足 どちらでも やや不満 とても不満
している している ない である である

1 ——— 2 ——— 3 ——— 4 ——— 5

⑬ あなたは平日の放課後、次のようなことをどれくらいしますか。日によって違うときは、1週間のうち一番長くする場合を教えてください。

ほとんど 15分 30分 45分 1時間 1時間半 2時間 3時間 4時間
しない くらい くらい くらい くらい くらい くらい くらい 以上

1. 部活動をする 1 — 2 — 3 — 4 — 5 — 6 — 7 — 8 — 9

2. 塾や予備校で勉強
する 1 — 2 — 3 — 4 — 5 — 6 — 7 — 8 — 9

3. おけいごとをする 1 — 2 — 3 — 4 — 5 — 6 — 7 — 8 — 9

4. 友だちと遊びに
出かける 1 — 2 — 3 — 4 — 5 — 6 — 7 — 8 — 9

5. 家で勉強する 1 — 2 — 3 — 4 — 5 — 6 — 7 — 8 — 9

6. テレビを見る 1 — 2 — 3 — 4 — 5 — 6 — 7 — 8 — 9

7. 音楽を聴く 1 — 2 — 3 — 4 — 5 — 6 — 7 — 8 — 9

8. マンガや雑誌を読む 1 — 2 — 3 — 4 — 5 — 6 — 7 — 8 — 9

9. テレビゲームをする 1 — 2 — 3 — 4 — 5 — 6 — 7 — 8 — 9

10. 友だちと電話で話す 1 — 2 — 3 — 4 — 5 — 6 — 7 — 8 — 9

11. 家の手伝いをする 1 — 2 — 3 — 4 — 5 — 6 — 7 — 8 — 9

12. ただボーっとする 1 — 2 — 3 — 4 — 5 — 6 — 7 — 8 — 9

14 あなたは休日や夏休みなどの長期の休みの日で、部活動やおけいごとや塾・予備校のない日に、次のことをどれくらいしますか。

- | | ほとんど
しない | 30分
くらい | 1時間
くらい | 2時間
くらい | 3時間
くらい | 4時間
くらい | 5時間
くらい | 6時間
くらい | 7時間
以上 |
|-----------------------------|-------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-----------|
| 1. 友だちと遊びに
出かける | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 2. 彼氏/彼女と遊びに
出かける | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 3. コンビニでぶらぶら
する | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 4. ウィンドーショッピ
ングをする | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 5. アルバイトをする | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 6. 家で勉強する | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 7. テレビを見る | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 8. 友だちと電話で話す | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 9. 読書をする(マンガ・
雑誌以外)..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 10. 自分の趣味をする | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 11. ただボーっとする | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |

Ⅲ. もう少し、時間の使い方をお聞きます。

15 あなたの家庭では、親は次のようなことに対して厳しいですか、自由ですか。

- | | とても
自由 | まあ
自由 | 少し
厳しい | とても
厳しい |
|--------------------------|-----------|----------|-----------|------------|
| 1. 夜9時すぎに友だちと電話をする | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 2. 夜遅くまでテレビを見る | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 3. 夕食を食べ始める時間 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 4. 夕食後、買い物に出る | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5. 友だちと長時間電話をする | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 6. 就寝時間 | 1 | 2 | 3 | 4 |

資料1 調査票見本

16 あなたは、次にあげるようなことはどれくらいありますか。

	よく ある	わりと ある	あまり ない	ぜんぜん ない
1. 学校に遅刻する	1	2	3	4
2. 朝起きる時間になってもなかなか起きられない	1	2	3	4
3. 電車の発車時刻より少し早めに駅に着くように 出かける	1	2	3	4
4. 試験前に、科目ごとの勉強時間のスケジュール を作る	1	2	3	4
5. 締め切り直前になって宿題をやり始める	1	2	3	4
6. テレビを見始めると、ついいつまでも見続ける	1	2	3	4
7. 夏休みなどの長期の休みを、計画を立てて過ごす	1	2	3	4

IV. それでは、時間についてのあなたの気持ちをお聞きます。

17 あなたには、次のようなことはどれくらいありますか。

	よく ある	わりと ある	あまり ない	ぜんぜん ない
1. 発車しそうな電車に走って乗る	1	2	3	4
2. エスカレーターを歩いたり走ったりして上る	1	2	3	4
3. 食事を急いで食べる	1	2	3	4
4. 1日が24時間では足りないと思うことがある	1	2	3	4
5. 時間に追われていると思うことがある	1	2	3	4
6. ぼけーっと過ごしていることがある	1	2	3	4
7. 食事のあと、一休みする	1	2	3	4
8. のんびり歩く	1	2	3	4
9. ゆっくり散歩する	1	2	3	4
10. 階段を駆け上がったたりかけ下りたりする	1	2	3	4

18 あなたは次のようなとき、どれくらい経つとイライラしてきますか。

- | | すぐ | 1~2分
くらい | 5分
くらい | 10分
くらい | 15分
くらい | 20分
くらい | 30分
くらい | 45分
くらい | 1時間
以上 |
|---|----|-------------|-----------|------------|------------|------------|------------|------------|-----------|
| 1. 学校の授業が延びたとき... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 2. コンビニでレジの順番を
待つとき | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 3. ファミリーレストランで
注文したものが出てくる
のを待つとき | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 4. 電車やバスが時間通りに
来ないとき | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 5. 演劇やコンサートの開演
時間が遅れているとき | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 6. 病院で診察待ちをして
いるとき | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 7. 校外学習などで、学校外
で全員が集まるのを
待つとき | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 8. 公衆電話の順番待ちを
しているとき | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |

19 あなたは、次のようなことをしているとき、その時間を長く感じますか、短く感じますか。

- | | とても長く
感じる | やや長く
感じる | 長いとも
短いとも
感じない | やや短く
感じる | とても短く
感じる |
|-----------------------------|--------------|-------------|----------------------|-------------|--------------|
| 1. 寝ている時間 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 2. ロングホームルーム | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 3. 好きな科目の授業を受けているとき | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 4. 苦手な科目の授業を受けているとき | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 5. 昼休み | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 6. 部活動のとき | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 7. 友だちと遊びに出かけているとき | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 8. コンビニでぶらぶらしているとき | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 9. 家で勉強しているとき | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 10. 家で家族そろって食事をしているとき | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 11. テレビを見ているとき | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

資料1 調査票見本

- | | とても長く
感じる | やや長く
感じる | 長いとも
短いとも
感じない | やや短く
感じる | とても短く
感じる |
|---------------------------|--------------|-------------|----------------------|-------------|--------------|
| 12. 友だちと電話をしているとき | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 13. テレビゲームをしているとき | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 14. 1人で好きなことをしているとき | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

⑳ あなたが、次のような人たちと会う約束をしたとします。待ち合わせの時刻になっても相手の人が来ないとき、あなたはどれくらい待たされているとイライラしてきますか。

- | | 5分
くらい | 10分
くらい | 15分
くらい | 20分
くらい | 30分
くらい | 45分
くらい | 1時間
くらい | 2時間
くらい | 3時間
以上 |
|------------------|-----------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-----------|
| 1. 親 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 2. きょうだい..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 3. 親友 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 4. 同級生..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 5. 恋人(好きな人)..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 6. 部活動の先輩..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 7. 部活動の後輩..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 8. 担任の先生..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |

㉑ あなたが次にあげる人たちとの待ち合わせに遅れてしまったとします。何分までなら待たせても、その人たちに許してもらえenと思いますか。

- | | 5分
くらい | 10分
くらい | 15分
くらい | 20分
くらい | 30分
くらい | 45分
くらい | 1時間
くらい | 2時間
くらい | 3時間
以上 |
|------------------|-----------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-----------|
| 1. 親 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 2. きょうだい..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 3. 親友 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 4. 同級生..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 5. 恋人(好きな人)..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 6. 部活動の先輩..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 7. 部活動の後輩..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 8. 担任の先生..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |

㉒ あなたの世代と、あなたの親の世代（親が高校生だった頃）と比べて、次のようなことはどちらが長いと思いますか。

	あなたの世代の方がくんと長い	あなたの世代の方がやや長い	親の世代の方がやや長い	親の世代の方がくんと長い
1. 夕食の時間	1	2	3	4
2. 睡眠時間	1	2	3	4
3. お風呂に入っている時間	1	2	3	4
4. 友だちに電話している時間	1	2	3	4
5. 通学にかかる時間	1	2	3	4
6. テレビを見る時間	1	2	3	4
7. 本（マンガ以外）を読む時間	1	2	3	4
8. マンガや雑誌を読む時間	1	2	3	4
9. 自宅で勉強している時間	1	2	3	4
10. 家族と団らんする時間	1	2	3	4
11. 友だちと家の外で会っている時間	1	2	3	4

㉓ あなたは、次のようなときに何分くらいならがまんして聞いていられますか。

	1分以内	2～3分くらい	4～5分くらい	6～7分くらい	8～9分くらい	10分以上
1. 始業式などの校長先生のあいさつ	1	2	3	4	5	6
2. 入学式などの来賓のあいさつ	1	2	3	4	5	6
3. 終了ベル後の延長授業	1	2	3	4	5	6
4. 親のお説教	1	2	3	4	5	6
5. 部活動の顧問の先生のお説教	1	2	3	4	5	6
6. 部活動の先輩のお説教	1	2	3	4	5	6
7. 担任の先生のお説教	1	2	3	4	5	6

資料1 調査票見本

㉔ あなたは学校で、次のようなことをどれくらいしていますか。

- | | よく
している | ときどき
している | あまり
していない | ほとんど
していない |
|------------------------------|------------|--------------|--------------|---------------|
| 1. 授業中、となりの人などおしゃべりをする | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 2. 授業中、ノートをしっかりとする | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 3. 授業中、先生の話熱心に聞く | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 4. 授業中、いねむりをする | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5. 授業中、「内職」をする | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 6. 授業中、マンガや雑誌を読む | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 7. 宿題や提出物はきちんと出す | 1 | 2 | 3 | 4 |

㉕ あなたは次のような2つの意見について、どちらに賛成ですか。

- A) 1. 将来よい生活をしたり楽しんだりできるように、今はがまんしてもよい
2. 将来どうなるかわからないのだから、今を楽しむ方がよい
- B) 1. 旅行は、しっかり計画を立てて行く方が充実して過ごせる
2. 旅行は、しっかり計画を立てるより、行き当たりばったりで起こるハプニングが楽しい
- C) 1. 自分の夢を実現するためには、時間を多くかけることが大切だ
2. 自分の夢を実現するためには、お金をたくさんかけることが大切だ
- D) 1. 無駄な時間を少なくすることが、生活する上で必要である
2. 無駄な時間を多く持つことも、生活する上で必要である
- E) 1. よい結果を残すには、時間をかけることが大切だ
2. よい結果を残すには、一瞬のひらめきが大切だ
- F) 1. 旅行は、計画しているときの方が楽しい
2. 旅行は、帰ってきてから写真を見るなど思い出しているときの方が楽しい
- G) 1. 自分なりの時間の使い方にこだわりがある方だ
2. 自分なりの時間の使い方にこだわりはない方だ
- H) 1. 自分のまわりの人の時間の使い方が気になる
2. 自分のまわりの人の時間の使い方は気にならない
- I) 1. テストで失敗すると、いつまでもそのことを気にしてしまう
2. テストで失敗したら、次のテストでがんばろうと気持ちをすぐ切り替える

26 あなたは、次のようなことはどの時期が一番時間をかけてやれそうだと思いますか。

	小学生 のとき	中学生 のとき	高校生 のとき	大学生(短大生、 専門学校生)のとき	おとなに なってから
1. 本をたくさん読む	1	2	3	4	5
2. スポーツをする	1	2	3	4	5
3. 友だちと遊ぶ	1	2	3	4	5
4. テレビを見る	1	2	3	4	5
5. 趣味を育てる	1	2	3	4	5
6. 家族との団らん	1	2	3	4	5
7. 旅行をする	1	2	3	4	5
8. 勉強する	1	2	3	4	5

27 あなたは、次にあげるような自分の将来について考えることがありますか。

	よく 考える	ときどき 考える	あまり 考えない	まったく 考えない
1. 高校を卒業したあとの進路	1	2	3	4
2. 将来つきたい職業	1	2	3	4
3. おとなになってからの暮らし方	1	2	3	4
4. 将来どんな人と結婚したいか	1	2	3	4
5. 自分の子どもをどう育てたいか	1	2	3	4
6. 自分が社会の中心になっている頃(2030年頃) の日本社会がどうなっているか	1	2	3	4

28 あなたの今の成績は、クラスでどのくらいですか。

上の方	中の上	中くらい	中の下	下の方
1	2	3	4	5

～以上で終わりです。長い間ありがとうございました。～

資料2 学年・性別集計表

サンプル数、属性別データ①以外はパーセント。性別不明3名

質問項目		全体	性別		学年別				
			男子	女子	1年	2年	3年		
サンプル数		2,020	710	1,307	984	657	379		
①	属 性	学校別	1. A校	388	182	206	388	0	0
			2. B校	312	124	186	80	116	116
			3. C校	263	129	133	262	0	1
			4. D校	782	0	782	254	266	262
			5. E校	275	275	0	0	275	0
	学年別	1. 1年	984	344	639				
		2. 2年	657	318	338				
性別	3. 3年	379	48	330					
	1. 男子	710							
②	部活動への参加	2. 女子	1,307						
		1. 運動部で熱心に活動	35.3	44.8	30.0	46.3	30.3	14.8	
		2. 運動部だが、熱心ではない	7.7	10.1	6.4	8.8	8.0	4.3	
		3. 文化部で熱心に活動	18.1	8.5	23.4	19.9	15.3	18.0	
		4. 文化部だが、熱心ではない	17.5	8.9	22.2	17.2	13.9	24.7	
		5. 今は入っていない	16.3	14.8	17.1	5.9	20.0	37.1	
③	卒業後の進路	6. いったことはない	5.2	13.0	0.9	1.8	12.5	1.1	
		1. 就職	2.7	1.7	3.2	1.7	2.7	5.0	
		2. 専修・専門学校	11.8	3.4	16.5	12.2	9.8	14.6	
		3. 短期大学	6.1	0.0	9.5	5.0	4.9	11.1	
		4. まあまあの4年制大学	47.9	55.9	43.6	50.3	47.5	42.7	
		5. 難しい4年制大学	21.8	31.5	16.4	19.7	23.8	23.6	
④	自己 像	行動力がある	6. まだ決めていない	9.7	7.6	10.8	11.2	11.3	2.9
			1. とてもそう	5.6	6.5	5.2	8.0	3.2	3.7
			2. かなりそう	13.5	13.6	13.5	12.6	14.0	15.1
			3. ややそう	46.5	44.8	47.4	47.3	45.6	45.9
			4. やや違う	25.1	23.2	26.1	24.6	26.3	24.4
			5. かなり違う	6.9	8.5	6.0	5.5	8.1	8.2
		オシャレ	6. まったく違う	2.3	3.4	1.8	1.9	2.8	2.7
			1. とてもそう	3.6	5.0	2.8	4.6	3.4	1.1
			2. かなりそう	5.8	5.7	5.8	7.2	4.2	4.8
			3. ややそう	44.3	35.2	49.3	44.5	42.9	46.1
			4. やや違う	31.2	30.9	31.3	31.1	29.9	33.5
			5. かなり違う	9.8	14.2	7.4	7.5	12.8	10.7
		ある 異性から 人気がある	6. まったく違う	5.4	9.1	3.4	5.1	6.8	3.8
			1. とてもそう	2.1	2.6	1.8	3.1	1.6	0.3
			2. かなりそう	1.0	1.4	0.8	1.1	0.8	1.1
			3. ややそう	19.8	26.8	16.0	21.1	19.4	17.3
			4. やや違う	33.8	30.5	35.6	31.9	34.3	37.7
			5. かなり違う	23.8	23.8	23.8	20.9	26.2	27.4
	友だちが多い	6. まったく違う	19.5	14.8	22.0	21.9	17.7	16.3	
		1. とてもそう	9.7	10.8	9.1	13.4	6.0	6.6	
		2. かなりそう	18.3	19.2	17.9	21.8	15.1	14.9	
		3. ややそう	47.2	44.1	48.9	44.3	50.2	49.7	
		4. やや違う	19.5	18.5	20.0	15.9	23.0	22.6	
		5. かなり違う	3.0	3.4	2.8	2.5	2.9	4.5	
	6. まったく違う	2.3	4.0	1.3	2.2	2.8	1.6		

資料2 学年・性別集計表

質問項目		全 体	性 別		学 年 別				
			男 子	女 子	1 年	2 年	3 年		
4	自 己 像	努力型だ	1. とてもそう	7.6	9.8	6.4	8.9	6.3	6.4
			2. かなりそう	15.3	16.1	14.7	17.0	14.3	12.5
			3. ややそう	33.9	31.3	35.2	35.0	29.4	38.5
			4. やや違う	24.9	21.1	27.1	21.6	28.7	27.1
			5. かなり違う	11.3	11.7	11.0	10.3	13.0	10.6
			6. まったく違う	7.1	10.0	5.5	7.1	8.3	5.0
	心がやさしい	1. とてもそう	9.8	13.8	7.7	12.3	8.6	5.6	
		2. かなりそう	15.9	19.2	14.2	14.9	16.6	17.1	
		3. ややそう	48.0	43.8	50.2	46.7	47.9	51.3	
		4. やや違う	18.7	14.1	21.2	18.8	18.5	19.0	
		5. かなり違う	4.5	4.3	4.6	3.3	5.5	5.6	
		6. まったく違う	3.1	5.0	2.1	4.0	2.8	1.3	
	友だちから信頼されている	1. とてもそう	4.4	4.4	4.4	5.6	2.6	4.3	
		2. かなりそう	11.7	11.9	11.7	13.1	8.6	13.6	
		3. ややそう	54.5	51.6	56.1	54.9	54.3	54.0	
		4. やや違う	23.1	22.3	23.5	20.3	27.5	22.7	
		5. かなり違う	3.7	5.6	2.7	3.4	3.6	4.5	
		6. まったく違う	2.6	4.3	1.6	2.7	3.4	0.8	
	友だちをひっぱる力がある	1. とてもそう	3.9	4.4	3.6	4.8	2.9	3.2	
		2. かなりそう	8.6	8.7	8.5	9.9	6.0	9.6	
		3. ややそう	34.2	33.1	34.7	35.8	33.4	31.4	
		4. やや違う	36.9	34.7	38.2	34.7	40.2	37.0	
		5. かなり違う	10.8	11.4	10.5	8.7	12.0	13.8	
		6. まったく違う	5.7	7.8	4.5	6.1	5.4	5.1	
先生から信頼されている	1. とてもそう	2.8	4.1	2.1	3.4	2.9	1.1		
	2. かなりそう	6.3	6.8	6.0	6.4	5.7	7.0		
	3. ややそう	38.2	36.8	38.9	37.7	35.8	43.6		
	4. やや違う	34.3	30.4	36.3	33.7	37.6	29.9		
	5. かなり違う	10.8	12.4	10.0	10.4	10.8	11.8		
	6. まったく違う	7.6	9.5	6.6	8.4	7.1	6.7		
スポーツが得意	1. とてもそう	10.2	14.6	7.8	12.3	7.4	9.6		
	2. かなりそう	14.0	17.4	12.1	13.2	13.6	16.5		
	3. ややそう	30.1	31.5	29.3	29.3	32.6	28.0		
	4. やや違う	21.5	18.7	23.0	19.9	23.6	21.9		
	5. かなり違う	13.0	9.8	14.8	12.9	12.3	14.7		
	6. まったく違う	11.2	8.1	13.0	12.4	10.6	9.3		
5	朝の起床時間	1. 6時以前	11.5	12.0	11.2	15.5	6.7	9.5	
		2. 6時15分頃	10.0	6.1	12.1	11.7	8.1	8.7	
		3. 6時30分頃	19.1	15.7	21.0	20.4	16.4	20.3	
		4. 6時45分頃	12.6	12.1	12.9	12.2	14.2	10.8	
		5. 7時頃	22.3	21.2	23.0	20.6	24.4	23.5	
		6. 7時15分頃	10.3	12.1	9.3	9.3	12.3	9.5	
		7. 7時30分頃	9.3	13.8	6.8	7.5	11.3	10.3	
		8. 7時45分頃	3.7	4.9	3.0	2.1	4.9	5.8	
		9. 8時すぎ	1.2	2.1	0.8	0.7	1.8	1.6	

資料2 学年・性別集計表

質問項目			全 体	性 別		学 年 別		
				男 子	女 子	1 年	2 年	3 年
6	朝の準備にかかる時間	1. 0分	1.1	3.1	0.0	1.1	1.7	0.0
		2. 2分くらい	6.3	13.4	2.4	4.3	9.6	5.8
		3. 5分くらい	16.0	27.6	9.7	15.0	19.2	12.9
		4. 10分くらい	21.4	26.8	18.4	21.7	24.6	15.0
		5. 15分くらい	22.1	15.2	25.8	22.5	20.5	23.7
		6. 20分くらい	16.6	8.9	20.8	17.3	12.5	21.6
		7. 30分くらい	13.1	3.8	18.2	14.2	9.8	16.1
		8. 45分くらい	2.3	0.3	3.5	2.6	1.1	3.7
		9. 1時間以上	1.2	0.8	1.4	1.3	1.1	1.1
7	夕食家族にかかるとの時間	1. 10分くらい	8.6	13.6	5.9	7.7	11.1	6.6
		2. 20分くらい	32.6	37.1	30.3	32.2	34.5	30.4
		3. 30分くらい	35.0	30.7	37.2	34.0	35.4	36.5
		4. 40分くらい	14.2	12.4	15.1	15.1	12.1	15.6
		5. 50分くらい	6.3	4.4	7.3	7.2	4.1	7.7
		6. 1時間以上	3.3	1.8	4.2	3.8	2.7	3.2
8	か1か人での夕食に時間	1. 10分くらい	22.6	29.7	18.6	21.0	25.1	22.3
		2. 20分くらい	46.4	45.6	46.9	44.9	49.1	45.5
		3. 30分くらい	21.6	17.6	23.8	23.3	18.0	23.1
		4. 40分くらい	5.6	4.2	6.3	6.7	4.0	5.3
		5. 50分くらい	2.0	1.7	2.1	2.1	2.0	1.6
		6. 1時間以上	1.9	1.1	2.4	1.9	1.8	2.1
9	夜の就寝時間	1. 10時以前	1.9	2.3	1.8	2.2	2.3	0.5
		2. 10時30分頃	3.7	3.8	3.5	3.9	3.2	4.0
		3. 11時頃	12.9	11.7	13.6	14.9	11.9	9.8
		4. 11時30分頃	17.8	15.4	19.2	19.3	17.8	14.0
		5. 0時頃	26.3	26.6	26.2	27.1	24.8	26.6
		6. 0時30分頃	16.1	17.9	15.1	14.9	16.9	17.7
		7. 1時頃	13.2	12.7	13.6	11.5	13.4	17.4
		8. 1時30分頃	4.8	5.6	4.3	3.7	5.9	5.8
		9. 2時すぎ	3.2	4.0	2.8	2.5	3.7	4.2
10	門限時間	1. 6時以前	4.0	4.0	4.1	4.3	4.7	2.1
		2. 7時頃	12.7	9.9	14.2	14.2	12.1	10.1
		3. 8時頃	9.8	6.9	11.4	11.8	7.8	8.2
		4. 9時頃	6.8	4.7	7.9	7.4	5.1	8.2
		5. 10時頃	4.5	4.2	4.6	4.3	4.3	5.3
		6. 11時頃	0.9	1.1	0.8	0.5	1.2	1.6
		7. 0時頃	0.3	0.6	0.2	0.3	0.3	0.5
		8. 特にない	60.9	68.6	56.7	57.2	64.5	64.0
11	睡眠時間	1. 十分とれている	17.1	14.5	18.5	15.1	17.5	21.4
		2. まあとれている	45.2	42.5	46.7	42.7	49.1	45.1
		3. あまりとれていない	33.9	38.1	31.6	38.6	28.8	30.6
		4. まったくとれていない	3.8	4.9	3.2	3.7	4.6	2.9
	勉強時間	1. 十分とれている	2.1	3.4	1.5	2.3	2.4	1.1
		2. まあとれている	14.1	16.6	12.7	12.5	13.7	18.7
		3. あまりとれていない	51.1	45.7	53.9	52.5	47.3	53.8
		4. まったくとれていない	32.7	34.3	31.9	32.6	36.5	26.4
	自由時間	1. 十分とれている	18.4	23.8	15.5	19.5	19.8	13.0
		2. まあとれている	45.0	40.9	47.2	42.1	48.1	47.1
		3. あまりとれていない	30.0	28.8	30.7	30.9	27.0	32.8
		4. まったくとれていない	6.6	6.5	6.6	7.5	5.0	7.1

資料2 学年・性別集計表

質問項目		全体	性別		学年別				
			男子	女子	1年	2年	3年		
12	時間の満足度の使い方	1. とても満足している	2.4	3.8	1.6	2.7	2.6	1.1	
		2. やや満足している	12.3	13.9	11.4	12.5	12.8	10.9	
		3. どちらでもない	30.6	30.4	30.7	29.7	32.3	29.8	
		4. やや不満である	38.3	35.5	39.8	39.2	37.6	37.0	
		5. とても不満である	16.5	16.4	16.5	15.9	14.7	21.3	
13	平日の放課後のくらししているか	部活動をする	1. ほとんどしない	37.7	34.7	39.4	21.7	43.3	69.7
			2. 15分くらい	0.4	0.1	0.5	0.5	0.5	0.0
			3. 30分くらい	1.6	0.4	2.3	2.5	1.2	0.3
			4. 45分くらい	1.3	0.4	1.8	2.1	0.3	0.8
			5. 1時間くらい	4.3	2.3	5.5	5.7	3.1	2.9
			6. 1時間半くらい	9.6	7.6	10.7	10.2	9.6	7.8
			7. 2時間くらい	28.8	29.6	28.5	34.0	28.6	15.5
			8. 3時間くらい	13.9	19.2	10.9	19.4	11.9	2.9
			9. 4時間以上	2.3	5.7	0.5	3.8	1.4	0.0
		塾や予備校で勉強する	1. ほとんどしない	81.3	85.7	78.9	82.9	82.0	76.1
			2. 15分くらい	0.4	0.7	0.2	0.4	0.5	0.3
			3. 30分くらい	0.3	0.0	0.4	0.3	0.2	0.3
			4. 45分くらい	0.3	0.3	0.2	0.1	0.6	0.0
			5. 1時間くらい	2.1	2.0	2.2	2.0	2.3	2.1
			6. 1時間半くらい	5.5	3.1	6.8	4.1	5.2	9.4
			7. 2時間くらい	6.9	4.7	8.1	7.2	6.5	6.7
			8. 3時間くらい	2.9	3.0	2.8	2.7	2.6	3.8
			9. 4時間以上	0.4	0.6	0.3	0.2	0.2	1.3
		おけいごをする	1. ほとんどしない	83.7	91.8	79.3	81.5	85.3	86.6
			2. 15分くらい	0.4	0.7	0.2	0.2	0.6	0.5
			3. 30分くらい	4.0	1.3	5.5	5.2	3.2	2.4
			4. 45分くらい	1.3	0.1	1.8	1.2	1.5	0.8
			5. 1時間くらい	4.3	1.6	5.8	5.1	3.2	4.3
			6. 1時間半くらい	2.5	1.6	3.0	3.3	2.0	1.3
			7. 2時間くらい	2.7	1.7	3.3	2.4	3.2	2.7
			8. 3時間くらい	0.7	0.4	0.8	1.0	0.5	0.3
			9. 4時間以上	0.4	0.8	0.2	0.1	0.5	1.1
		友だちと遊びに出かける	1. ほとんどしない	57.9	65.7	53.7	57.1	56.7	62.2
			2. 15分くらい	1.5	1.0	1.8	1.3	1.7	1.6
			3. 30分くらい	4.3	2.1	5.5	5.0	3.7	3.5
			4. 45分くらい	1.8	0.4	2.6	2.3	1.4	1.3
			5. 1時間くらい	9.7	6.5	11.4	8.1	11.0	11.5
			6. 1時間半くらい	4.0	1.8	5.3	4.2	4.3	3.2
			7. 2時間くらい	8.0	9.1	7.4	8.2	7.8	7.8
			8. 3時間くらい	5.8	6.1	5.6	6.1	5.7	5.6
			9. 4時間以上	6.9	7.2	6.7	7.7	7.8	3.2
		家で勉強する	1. ほとんどしない	29.1	27.1	30.3	25.0	37.7	25.0
			2. 15分くらい	3.4	3.4	3.4	4.6	3.2	0.5
			3. 30分くらい	11.1	9.2	12.1	12.4	11.1	7.3
			4. 45分くらい	3.7	3.7	3.6	6.1	2.0	0.3
			5. 1時間くらい	19.4	19.5	19.4	22.3	16.8	16.4
			6. 1時間半くらい	12.2	10.9	12.9	14.1	8.1	14.5
			7. 2時間くらい	13.3	16.1	11.8	12.3	11.4	19.1
			8. 3時間くらい	6.5	8.5	5.4	2.8	8.2	13.4
			9. 4時間以上	1.3	1.7	1.2	0.4	1.5	3.5

資料2 学年・性別集計表

質問項目		全 体	性 別		学 年 別			
			男 子	女 子	1 年	2 年	3 年	
13 平日の放課後どのくらいしているか	テレビを見る	1. ほとんどしない	6.5	5.9	6.9	6.7	5.0	8.6
		2. 15分くらい	0.8	1.1	0.7	0.9	0.6	1.1
		3. 30分くらい	5.0	5.8	4.6	4.3	5.0	7.0
		4. 45分くらい	1.6	1.3	1.8	1.8	0.9	2.4
		5. 1時間くらい	21.2	23.2	20.1	20.9	19.2	25.3
		6. 1時間半くらい	10.7	10.6	10.8	11.1	11.1	8.9
		7. 2時間くらい	32.4	29.0	34.3	34.2	31.8	28.8
		8. 3時間くらい	15.9	15.3	16.2	14.8	18.9	13.2
		9. 4時間以上	5.8	7.8	4.6	5.1	7.3	4.8
	音楽を聴く	1. ほとんどしない	17.9	17.8	18.0	17.5	16.4	21.8
		2. 15分くらい	10.4	10.7	10.2	8.9	11.3	12.4
		3. 30分くらい	20.3	21.9	19.4	21.1	18.5	21.0
		4. 45分くらい	4.3	4.3	4.2	5.7	3.4	1.9
		5. 1時間くらい	23.2	21.2	24.4	21.8	27.1	20.2
		6. 1時間半くらい	8.0	8.8	7.5	8.4	7.4	7.8
		7. 2時間くらい	8.9	9.5	8.5	8.8	8.7	9.2
		8. 3時間くらい	4.7	3.4	5.3	5.4	4.1	3.8
		9. 4時間以上	2.5	2.6	2.4	2.3	3.1	1.9
	マンガや雑誌を読む	1. ほとんどしない	19.3	21.0	18.3	19.2	15.4	26.3
		2. 15分くらい	11.6	12.9	11.0	10.9	11.3	14.2
		3. 30分くらい	26.6	26.4	26.8	27.0	26.0	26.8
		4. 45分くらい	5.4	4.8	5.8	6.7	4.1	4.6
		5. 1時間くらい	21.6	21.0	22.0	20.1	27.0	16.1
		6. 1時間半くらい	6.4	5.0	7.2	5.9	7.3	5.9
		7. 2時間くらい	6.2	6.4	6.0	7.2	5.6	4.6
		8. 3時間くらい	1.9	1.3	2.3	2.4	1.8	1.1
		9. 4時間以上	0.9	1.3	0.7	0.7	1.4	0.5
	テレビゲームをする	1. ほとんどしない	75.9	52.3	88.8	76.4	67.9	88.7
		2. 15分くらい	1.7	2.4	1.3	1.5	2.7	0.3
		3. 30分くらい	4.8	9.1	2.4	4.8	6.0	2.4
		4. 45分くらい	1.3	2.8	0.4	1.4	1.4	0.5
		5. 1時間くらい	8.4	16.4	4.0	9.0	9.5	4.8
		6. 1時間半くらい	1.5	3.0	0.6	1.2	2.3	0.5
		7. 2時間くらい	3.9	8.5	1.4	3.2	6.3	1.6
		8. 3時間くらい	1.3	2.5	0.5	1.1	1.5	1.1
		9. 4時間以上	1.4	3.0	0.5	1.2	2.4	0.0
友だちと電話で話す	1. ほとんどしない	45.5	61.7	36.6	36.7	54.3	53.1	
	2. 15分くらい	9.6	12.7	7.9	10.9	8.4	8.0	
	3. 30分くらい	13.8	8.6	16.7	16.8	10.1	12.6	
	4. 45分くらい	4.1	2.8	4.9	5.0	2.7	4.3	
	5. 1時間くらい	13.0	7.4	16.0	14.0	11.7	12.3	
	6. 1時間半くらい	4.9	3.3	5.9	6.0	4.4	2.9	
	7. 2時間くらい	6.7	2.4	9.0	7.7	6.4	4.8	
	8. 3時間くらい	1.7	0.6	2.4	2.1	1.4	1.3	
	9. 4時間以上	0.6	0.6	0.7	0.7	0.6	0.5	

資料2 学年・性別集計表

質問項目		全 体	性 別		学 年 別				
			男 子	女 子	1 年	2 年	3 年		
13	平日の放課後のくらししているか	家の手伝いをする	1. ほとんどしない	45.6	64.1	35.5	47.5	47.9	36.6
			2. 15分くらい	26.3	23.5	27.9	27.9	24.6	25.3
			3. 30分くらい	17.2	8.6	21.8	15.2	18.0	21.0
			4. 45分くらい	3.3	1.0	4.6	3.6	2.1	4.8
			5. 1時間くらい	4.4	1.3	6.1	3.6	4.6	6.2
			6. 1時間半くらい	1.2	0.6	1.5	0.9	1.5	1.3
			7. 2時間くらい	1.0	0.3	1.5	0.6	0.3	3.5
			8. 3時間くらい	0.3	0.1	0.5	0.3	0.2	0.8
			9. 4時間以上	0.5	0.6	0.5	0.4	0.8	0.5
		ただボーっとする	1. ほとんどしない	32.7	44.1	26.5	34.6	34.3	25.0
			2. 15分くらい	17.7	17.5	17.8	18.3	16.8	17.7
			3. 30分くらい	21.2	19.6	22.1	21.2	19.8	23.7
			4. 45分くらい	3.6	1.3	4.9	3.9	2.6	4.8
			5. 1時間くらい	14.0	10.3	16.0	12.3	14.2	18.0
			6. 1時間半くらい	2.8	1.3	3.7	3.1	2.6	2.7
			7. 2時間くらい	4.5	2.4	5.6	4.5	4.1	5.1
			8. 3時間くらい	0.8	1.0	0.8	0.5	1.5	0.5
			9. 4時間以上	2.6	2.5	2.6	1.6	4.1	2.4
14	休日どのくらいしているか	友だちと遊びに出かける	1. ほとんどしない	20.5	23.2	19.1	12.1	23.9	36.6
			2. 30分くらい	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.8
			3. 1時間くらい	2.8	3.7	2.4	2.3	3.5	3.0
			4. 2時間くらい	4.5	6.8	3.3	4.6	4.6	4.3
			5. 3時間くらい	10.0	12.3	8.7	11.8	7.2	9.9
			6. 4時間くらい	11.7	11.4	11.7	13.4	12.1	6.5
			7. 5時間くらい	15.8	15.4	16.0	19.7	13.9	8.9
			8. 6時間くらい	14.3	8.9	17.2	15.0	13.0	14.5
			9. 7時間以上	20.2	18.1	21.2	20.9	21.7	15.6
		出かける 彼女・彼女と遊びに	1. ほとんどしない	82.1	84.0	81.1	80.8	87.8	75.4
			2. 30分くらい	0.4	0.4	0.3	0.5	0.0	0.5
			3. 1時間くらい	0.8	0.4	0.9	1.0	0.3	0.8
			4. 2時間くらい	1.0	1.0	1.0	1.2	0.6	1.3
			5. 3時間くらい	1.8	1.6	1.9	1.8	0.8	3.5
			6. 4時間くらい	1.7	1.3	2.0	2.3	0.6	2.1
			7. 5時間くらい	2.4	1.7	2.7	2.6	1.2	3.7
			8. 6時間くらい	2.3	1.3	2.7	2.8	0.9	3.2
			9. 7時間以上	7.6	8.3	7.2	6.9	7.7	9.4
		コンビニでぶらぶらする	1. ほとんどしない	67.3	68.1	66.9	62.7	69.0	76.3
			2. 30分くらい	24.5	21.9	25.9	27.0	24.1	18.7
			3. 1時間くらい	6.2	7.2	5.6	7.6	5.3	4.0
			4. 2時間くらい	1.2	1.6	1.0	1.6	0.9	0.5
			5. 3時間くらい	0.5	0.7	0.5	0.8	0.2	0.5
			6. 4時間くらい	0.0	0.1	0.0	0.0	0.2	0.0
			7. 5時間くらい	0.0	0.1	0.0	0.0	0.2	0.0
			8. 6時間くらい	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
			9. 7時間以上	0.1	0.3	0.1	0.2	0.2	0.0

資料2 学年・性別集計表

質問項目		全 体	性 別		学 年 別				
			男 子	女 子	1 年	2 年	3 年		
14	休日どのくらいしているか	ウィンドーショッピングをする	1. ほとんどしない	51.3	71.4	40.4	44.7	58.9	54.9
			2. 30分くらい	3.3	4.1	2.9	4.2	2.3	2.7
			3. 1時間くらい	8.9	7.7	9.6	10.5	8.6	5.4
			4. 2時間くらい	9.8	6.7	11.5	12.8	6.6	7.6
			5. 3時間くらい	10.0	5.7	12.4	11.2	7.2	11.9
			6. 4時間くらい	5.3	1.6	7.3	4.8	5.8	5.7
			7. 5時間くらい	4.1	1.1	5.8	3.9	4.0	4.9
			8. 6時間くらい	2.6	0.6	3.7	3.1	1.7	2.7
			9. 7時間以上	4.7	1.1	6.5	4.6	4.9	4.3
		アルバイトをする	1. ほとんどしない	83.9	90.9	80.1	84.5	83.5	83.2
			2. 30分くらい	0.2	0.3	0.1	0.1	0.3	0.0
			3. 1時間くらい	0.2	0.1	0.2	0.1	0.2	0.3
			4. 2時間くらい	0.8	0.9	0.8	1.0	0.3	1.1
			5. 3時間くらい	3.0	2.4	3.3	3.9	2.2	1.9
			6. 4時間くらい	2.7	1.0	3.7	2.8	2.3	3.2
			7. 5時間くらい	3.3	1.8	4.1	3.1	3.9	2.9
			8. 6時間くらい	2.6	0.7	3.6	2.3	2.9	2.7
			9. 7時間以上	3.4	1.8	4.3	2.2	4.5	4.8
		家で勉強する	1. ほとんどしない	22.0	23.7	21.1	22.4	24.6	16.3
			2. 30分くらい	7.8	6.9	8.3	9.0	8.3	3.7
			3. 1時間くらい	19.6	18.0	20.3	21.5	19.9	13.9
			4. 2時間くらい	24.4	23.2	25.1	27.3	20.6	23.3
			5. 3時間くらい	13.4	13.6	13.3	13.1	12.2	16.3
			6. 4時間くらい	5.6	6.5	5.2	3.8	5.8	10.2
			7. 5時間くらい	3.7	4.2	3.5	1.7	4.9	7.0
			8. 6時間くらい	1.3	1.8	1.0	0.3	2.0	2.7
			9. 7時間以上	2.2	2.0	2.3	0.8	1.7	6.7
		テレビを見る	1. ほとんどしない	4.8	4.8	4.8	4.5	5.2	5.0
			2. 30分くらい	2.2	2.3	2.2	1.4	2.3	4.2
			3. 1時間くらい	11.5	11.4	11.4	11.2	10.0	14.6
			4. 2時間くらい	28.3	30.0	27.4	29.6	26.5	27.9
			5. 3時間くらい	25.8	24.3	26.7	27.0	24.3	25.2
			6. 4時間くらい	14.9	14.9	14.9	15.1	15.7	12.7
			7. 5時間くらい	6.3	5.7	6.6	5.9	7.7	4.8
			8. 6時間くらい	2.0	1.6	2.2	1.6	2.6	1.9
			9. 7時間以上	4.2	5.1	3.7	3.6	5.5	3.7
友だちと電話で話す	1. ほとんどしない	42.6	62.9	31.5	34.3	50.1	51.3		
	2. 30分くらい	18.5	17.6	19.1	21.7	15.5	15.6		
	3. 1時間くらい	22.7	11.4	28.9	25.8	19.4	20.2		
	4. 2時間くらい	11.1	5.7	14.0	12.0	10.9	9.1		
	5. 3時間くらい	3.4	1.1	4.6	3.9	3.1	2.7		
	6. 4時間くらい	1.0	0.6	1.3	1.4	0.6	0.8		
	7. 5時間くらい	0.1	0.1	0.1	0.2	0.0	0.0		
	8. 6時間くらい	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.0		
	9. 7時間以上	0.4	0.4	0.4	0.5	0.3	0.3		

資料2 学年・性別集計表

質問項目		全体	性別		学年別				
			男子	女子	1年	2年	3年		
14	休日どのくらいしているか	読書をする	1. ほとんどしない	45.0	45.7	44.6	49.3	40.5	41.6
			2. 30分くらい	15.2	15.6	15.1	14.6	15.2	16.8
			3. 1時間くらい	20.3	20.1	20.5	18.1	22.4	22.4
			4. 2時間くらい	11.7	11.7	11.6	10.6	13.7	10.7
			5. 3時間くらい	5.1	4.7	5.3	4.8	5.6	4.8
			6. 4時間くらい	1.4	0.8	1.7	0.9	1.2	2.9
			7. 5時間くらい	0.5	0.4	0.5	0.6	0.3	0.5
			8. 6時間くらい	0.1	0.0	0.2	0.1	0.2	0.3
			9. 7時間以上	0.6	1.0	0.5	0.8	0.8	0.0
	自分の趣味をする	1. ほとんどしない	22.6	17.3	25.4	20.1	21.7	30.7	
		2. 30分くらい	9.1	7.0	10.3	9.8	6.8	11.5	
		3. 1時間くらい	24.3	23.4	24.9	24.9	21.8	27.2	
		4. 2時間くらい	20.9	22.6	20.0	21.0	23.7	15.7	
		5. 3時間くらい	11.2	13.8	9.7	11.7	13.1	6.7	
		6. 4時間くらい	5.0	6.1	4.5	5.1	6.3	2.7	
		7. 5時間くらい	2.7	3.1	2.5	2.8	2.6	2.7	
		8. 6時間くらい	0.9	1.6	0.5	1.0	1.1	0.3	
		9. 7時間以上	3.2	5.2	2.1	3.5	3.1	2.7	
	たどポ一とする	1. ほとんどしない	33.5	46.0	26.7	35.5	34.0	27.7	
		2. 30分くらい	24.0	23.4	24.4	26.9	20.9	22.1	
		3. 1時間くらい	22.2	16.6	25.3	19.2	23.3	28.2	
		4. 2時間くらい	9.3	4.7	11.8	8.7	8.4	12.5	
		5. 3時間くらい	5.3	4.0	6.0	4.5	6.9	4.8	
		6. 4時間くらい	2.0	1.8	2.2	2.2	2.1	1.3	
		7. 5時間くらい	1.1	0.6	1.4	1.0	1.1	1.3	
		8. 6時間くらい	0.1	0.1	0.2	0.2	0.0	0.3	
		9. 7時間以上	2.3	2.8	2.0	1.7	3.4	1.9	
15	家庭のしつけ	夜9時すぎに遅くまで見	1. とても自由	38.6	46.5	34.4	38.0	39.6	38.8
			2. まあ自由	36.4	35.4	36.8	36.3	36.1	36.9
			3. 少し厳しい	19.6	13.3	23.0	21.2	17.3	19.3
			4. とても厳しい	5.4	4.8	5.8	4.5	7.0	5.0
	夕食を食べる時間	夕飯後に出る	1. とても自由	43.5	41.9	44.4	39.5	46.4	48.9
			2. まあ自由	35.9	36.4	35.7	36.4	35.1	36.2
			3. 少し厳しい	15.9	16.8	15.5	19.3	13.3	11.6
			4. とても厳しい	4.6	4.9	4.5	4.8	5.2	3.2
	友人と話す	友人と話す	1. とても自由	32.8	31.5	33.5	32.6	31.3	35.9
			2. まあ自由	42.2	42.9	41.9	42.8	42.2	40.9
			3. 少し厳しい	21.3	21.3	21.2	21.1	22.5	19.5
			4. とても厳しい	3.7	4.2	3.4	3.5	4.0	3.7
	就寝時間	友人と話す	1. とても自由	22.1	29.7	17.8	20.3	23.6	23.9
			2. まあ自由	35.8	41.4	32.9	34.9	38.3	34.0
			3. 少し厳しい	26.7	18.3	31.2	28.2	23.4	28.4
			4. とても厳しい	15.4	10.6	18.1	16.6	14.7	13.7
	友人と話す	友人と話す	1. とても自由	20.2	26.3	16.8	19.7	21.6	18.8
			2. まあ自由	32.9	34.6	32.0	33.6	33.3	30.5
			3. 少し厳しい	33.5	26.9	37.1	35.6	28.7	36.3
			4. とても厳しい	13.4	12.2	14.1	11.0	16.4	14.3
就寝時間	就寝時間	1. とても自由	52.5	49.5	54.0	46.8	56.3	60.6	
		2. まあ自由	35.2	35.3	35.2	38.3	32.6	31.7	
		3. 少し厳しい	10.7	12.6	9.7	13.3	8.7	7.1	
		4. とても厳しい	1.6	2.7	1.1	1.5	2.4	0.5	

資料2 学年・性別集計表

質問項目		全体	性別		学年別				
			男子	女子	1年	2年	3年		
16	どれくらいあるか	学校に遅刻する	1.よくある	2.0	2.5	1.8	1.6	1.7	3.7
			2.わりとある	6.3	5.5	6.8	4.7	7.2	9.2
			3.あまりない	18.5	17.2	19.2	15.8	21.2	20.8
			4.ぜんぜんない	73.1	74.8	72.2	77.9	70.0	66.2
		朝起きられ	1.よくある	19.3	18.9	19.5	19.0	18.9	21.2
			2.わりとある	29.2	30.1	28.8	31.5	28.5	24.6
			3.あまりない	33.2	29.9	35.1	34.0	32.3	32.8
			4.ぜんぜんない	18.2	21.0	16.6	15.5	20.4	21.4
		電車の発車時刻より早めに到着する	1.よくある	27.9	22.1	31.0	28.3	25.2	31.3
			2.わりとある	27.4	24.2	29.1	27.2	25.5	31.0
			3.あまりない	21.6	17.7	23.7	24.5	17.9	20.6
			4.ぜんぜんない	23.1	36.0	16.2	20.0	31.3	17.1
		強試予定を前に作らぬ	1.よくある	10.5	8.2	11.6	9.8	10.0	12.9
			2.わりとある	16.4	11.6	18.9	16.8	13.5	20.1
			3.あまりない	28.8	24.5	31.2	29.5	26.3	31.4
			4.ぜんぜんない	44.4	55.7	38.3	43.9	50.1	35.6
前締り始めの宿題を直	1.よくある	32.0	36.5	29.5	34.8	29.9	28.2		
	2.わりとある	42.3	38.6	44.4	40.9	43.7	43.5		
	3.あまりない	19.0	16.2	20.5	17.4	19.2	22.7		
	4.ぜんぜんない	6.7	8.8	5.6	6.9	7.2	5.5		
見続ける	1.よくある	36.3	35.6	36.6	37.6	34.6	35.9		
	2.わりとある	37.7	36.6	38.3	38.8	36.1	37.7		
	3.あまりない	20.4	21.5	19.8	18.4	22.2	22.4		
	4.ぜんぜんない	5.7	6.2	5.4	5.3	7.2	4.0		
長期休暇を休まず過ごす	1.よくある	6.2	3.8	7.5	5.9	4.9	9.5		
	2.わりとある	16.9	12.4	19.1	14.5	16.1	24.3		
	3.あまりない	41.4	34.3	45.4	41.2	40.3	44.1		
	4.ぜんぜんない	35.4	49.4	27.9	38.4	38.7	22.2		
17	主観的な時間の費やし方	電車の乗車寸前につ	1.よくある	10.1	12.2	9.0	11.8	8.8	8.2
			2.わりとある	17.8	15.8	19.0	18.9	15.2	19.6
			3.あまりない	37.0	30.6	40.4	38.6	35.2	36.0
			4.ぜんぜんない	35.0	41.4	31.6	30.7	40.8	36.2
		カートを歩く	1.よくある	10.8	14.0	9.0	11.7	9.3	10.8
			2.わりとある	29.7	26.8	31.4	28.5	31.7	29.6
			3.あまりない	38.2	32.6	41.3	38.3	36.1	41.4
			4.ぜんぜんない	21.3	26.6	18.3	21.5	22.9	18.2
		食事食べる急い	1.よくある	12.8	16.4	10.9	13.5	12.9	10.8
			2.わりとある	30.2	30.5	30.0	31.1	29.7	28.5
			3.あまりない	44.4	39.5	47.1	45.1	43.2	44.9
			4.ぜんぜんない	12.6	13.6	12.0	10.3	14.2	15.8
		1日は24時間不足	1.よくある	42.1	45.0	40.5	44.7	37.1	43.8
			2.わりとある	27.2	24.0	28.9	26.1	26.3	31.4
			3.あまりない	20.9	18.3	22.2	19.3	24.0	19.5
			4.ぜんぜんない	9.9	12.8	8.3	9.9	12.7	5.3
時間で追いつ	1.よくある	29.8	31.6	28.8	31.5	25.7	32.5		
	2.わりとある	36.3	33.6	37.7	35.2	37.3	37.5		
	3.あまりない	26.3	25.1	26.9	25.2	27.4	26.9		
	4.ぜんぜんない	7.6	9.6	6.5	8.1	9.6	3.2		
が過ぎること	1.よくある	26.3	20.5	29.4	25.7	27.3	25.9		
	2.わりとある	35.2	30.8	37.6	33.6	33.1	43.0		
	3.あまりない	26.3	30.0	24.3	27.4	26.2	23.5		
	4.ぜんぜんない	12.3	18.7	8.7	13.3	13.4	7.7		

資料2 学年・性別集計表

質問項目		全体	性別		学年別				
			男子	女子	1年	2年	3年		
17	主観的な時間の費やし方	一食事後、休みする	1. よくある	42.0	39.0	43.5	42.9	41.5	40.9
			2. わりとある	44.1	44.6	44.0	41.3	46.2	47.8
			3. あまりない	11.8	13.7	10.8	13.3	10.2	10.8
			4. ぜんぜんない	2.0	2.7	1.7	2.6	2.1	0.5
		歩くのんびり	1. よくある	20.4	14.0	24.0	21.9	18.0	20.9
			2. わりとある	29.0	24.2	31.5	29.8	27.5	29.4
			3. あまりない	38.7	41.7	37.1	36.9	40.2	40.7
			4. ぜんぜんない	11.9	20.2	7.4	11.4	14.3	9.0
		散歩する	1. よくある	7.8	7.1	8.3	8.0	8.1	7.1
			2. わりとある	13.2	12.3	13.6	12.5	13.9	13.7
			3. あまりない	39.8	33.6	43.3	38.3	38.7	45.6
			4. ぜんぜんない	39.2	47.0	34.9	41.3	39.4	33.5
下がりつたりかけ上	1. よくある	24.8	26.3	23.9	25.0	26.0	21.9		
	2. わりとある	35.2	33.8	36.0	34.7	36.5	34.3		
	3. あまりない	30.1	26.6	32.0	30.4	25.6	37.2		
	4. ぜんぜんない	9.9	13.3	8.0	9.9	11.7	6.6		
18	どれくらい経つとイライラするか	授業が延びた	1. すぐ	19.1	23.6	16.6	21.3	20.8	10.3
			2. 1～2分くらい	15.6	16.1	15.4	14.7	15.3	18.8
			3. 5分くらい	34.9	29.7	37.8	34.0	33.1	40.5
			4. 10分くらい	15.5	14.7	16.0	15.6	15.1	16.1
			5. 15分くらい	5.0	4.2	5.5	5.4	5.2	3.7
			6. 20分くらい	2.8	3.0	2.8	2.7	2.9	3.2
			7. 30分くらい	2.9	2.5	3.1	2.7	2.7	3.7
			8. 45分くらい	0.4	0.4	0.4	0.5	0.2	0.5
			9. 1時間以上	3.7	5.8	2.5	3.2	4.7	3.2
		レジでの順番待ち	1. すぐ	4.8	8.1	3.1	5.0	5.6	2.9
			2. 1～2分くらい	17.1	20.9	15.1	15.8	20.2	15.1
			3. 5分くらい	35.2	33.3	36.3	33.3	36.3	38.4
			4. 10分くらい	22.2	18.8	23.9	23.7	19.5	22.8
			5. 15分くらい	8.4	5.8	9.9	8.5	6.9	11.1
			6. 20分くらい	4.4	2.3	5.6	4.8	3.5	5.0
			7. 30分くらい	3.2	3.1	3.2	3.8	2.7	2.4
			8. 45分くらい	0.5	0.6	0.5	0.7	0.5	0.0
			9. 1時間以上	4.1	7.2	2.5	4.4	4.7	2.4
		飲食店で注文したものが	1. すぐ	2.1	3.3	1.5	2.0	2.6	1.3
			2. 1～2分くらい	0.5	1.3	0.2	0.6	0.3	0.8
			3. 5分くらい	2.2	4.1	1.2	2.4	1.8	2.4
			4. 10分くらい	9.1	11.9	7.6	10.2	8.4	7.4
			5. 15分くらい	17.2	16.3	17.8	17.7	18.3	14.3
			6. 20分くらい	21.0	21.6	20.5	19.2	22.9	22.2
			7. 30分くらい	31.6	26.3	34.6	31.0	29.7	36.5
			8. 45分くらい	8.6	5.9	10.0	9.0	7.9	9.0
			9. 1時間以上	7.6	9.3	6.7	7.9	8.1	6.1
		電車がバスが時間通りに	1. すぐ	6.2	10.2	4.0	6.7	7.2	2.9
			2. 1～2分くらい	6.0	9.5	4.1	7.3	5.3	3.7
			3. 5分くらい	27.6	31.5	25.5	30.1	24.9	26.2
			4. 10分くらい	26.3	19.9	29.7	24.5	27.2	29.4
			5. 15分くらい	14.3	9.5	17.0	12.4	14.5	19.0
			6. 20分くらい	8.1	6.6	8.9	7.4	9.0	8.5
			7. 30分くらい	6.8	6.5	6.9	6.5	6.6	7.7
			8. 45分くらい	1.1	0.8	1.3	1.1	1.4	0.8
			9. 1時間以上	3.6	5.4	2.6	4.0	4.0	1.9

資料2 学年・性別集計表

質問項目		全体	性別		学年別			
			男子	女子	1年	2年	3年	
18	演劇などの開演時間が遅れている	1. すぐ	5.3	8.2	3.7	5.3	7.0	2.1
		2. 1～2分くらい	2.7	4.1	2.0	3.3	2.3	2.1
		3. 5分くらい	10.4	12.6	9.1	10.5	11.6	7.7
		4. 10分くらい	20.0	21.7	19.0	21.8	19.4	16.4
		5. 15分くらい	16.8	13.1	18.9	15.3	17.3	20.1
		6. 20分くらい	12.5	11.5	13.1	13.2	11.9	11.9
		7. 30分くらい	19.2	14.6	21.5	18.6	16.8	24.6
		8. 45分くらい	2.8	2.3	3.1	2.6	2.9	3.4
		9. 1時間以上	10.3	11.8	9.4	9.4	10.7	11.6
	病院で診察待ち	1. すぐ	3.4	5.8	2.1	3.7	3.7	2.1
		2. 1～2分くらい	0.9	2.0	0.3	1.2	0.6	0.5
		3. 5分くらい	2.6	3.1	2.3	2.6	2.1	3.4
		4. 10分くらい	7.9	11.3	6.0	7.8	9.1	6.1
		5. 15分くらい	11.7	11.9	11.6	13.2	11.7	7.7
		6. 20分くらい	15.4	14.7	15.9	16.6	13.3	16.1
		7. 30分くらい	26.4	21.0	29.3	24.3	28.7	28.0
		8. 45分くらい	9.9	7.2	11.4	9.5	8.7	13.0
		9. 1時間以上	21.8	23.0	21.2	21.2	22.1	23.0
	生徒全員の集合待ち	1. すぐ	6.7	11.0	4.3	5.5	9.9	4.0
		2. 1～2分くらい	3.7	4.7	3.2	3.3	4.6	3.2
		3. 5分くらい	13.2	14.9	12.3	12.8	13.4	13.8
		4. 10分くらい	23.3	21.6	24.1	23.0	22.9	24.7
		5. 15分くらい	18.1	16.0	19.2	18.2	16.5	20.4
		6. 20分くらい	12.7	11.5	13.5	13.3	12.1	12.5
		7. 30分くらい	13.1	10.2	14.6	13.4	12.1	14.1
		8. 45分くらい	2.1	1.4	2.5	1.9	2.3	2.1
		9. 1時間以上	7.3	8.8	6.5	8.7	6.3	5.3
	公衆電話の順番待ち	1. すぐ	9.4	13.3	7.3	8.7	11.6	7.4
		2. 1～2分くらい	11.2	14.2	9.5	11.3	12.2	9.5
		3. 5分くらい	30.9	29.0	32.0	28.0	30.6	38.9
		4. 10分くらい	24.9	22.1	26.4	25.2	24.9	24.1
		5. 15分くらい	11.7	7.9	13.8	12.7	10.7	10.8
		6. 20分くらい	5.4	4.0	6.2	6.7	3.7	5.3
		7. 30分くらい	2.8	2.7	2.9	3.2	2.4	2.6
		8. 45分くらい	0.5	0.4	0.5	0.8	0.2	0.3
		9. 1時間以上	3.1	6.4	1.3	3.5	3.7	1.1
19	寝ている時間	1. とても長く感じる	0.9	1.4	0.7	0.8	1.5	0.3
		2. やや長く感じる	2.8	4.0	2.2	2.8	2.4	3.4
		3. 長いとも短いとも感じない	20.4	19.8	20.7	20.0	19.6	22.7
		4. やや短く感じる	30.2	29.5	30.6	30.9	30.1	28.2
		5. とても短く感じる	45.8	45.3	45.9	45.5	46.3	45.4
	ロングホーム	1. とても長く感じる	11.1	16.9	8.0	11.6	12.8	6.9
		2. やや長く感じる	21.1	22.6	20.2	22.4	21.0	17.8
		3. 長いとも短いとも感じない	51.4	44.5	55.2	49.5	49.7	59.4
		4. やや短く感じる	12.9	12.1	13.5	12.2	13.7	13.5
		5. とても短く感じる	3.4	4.0	3.2	4.3	2.7	2.4
	授業好きな科目の	1. とても長く感じる	2.4	3.4	1.8	2.4	2.6	2.1
		2. やや長く感じる	4.4	6.2	3.5	5.1	4.1	3.2
		3. 長いとも短いとも感じない	33.0	35.7	31.6	34.3	31.6	32.5
		4. やや短く感じる	40.6	34.7	43.8	38.9	40.4	45.4
		5. とても短く感じる	19.6	19.9	19.4	19.4	21.3	16.9

資料2 学年・性別集計表

質問項目		全体	性別		学年別				
			男子	女子	1年	2年	3年		
19	長く感じるか、短く感じるか	授業	1. とても長く感じる	56.5	49.8	60.1	59.0	55.6	51.7
		2. やや長く感じる	29.1	29.5	29.0	27.4	29.4	33.0	
		3. 長いとも短いとも感じない	11.9	16.4	9.5	10.5	12.7	14.2	
		4. やや短く感じる	1.5	2.8	0.8	1.9	1.4	0.8	
		5. とても短く感じる	0.9	1.6	0.5	1.1	0.9	0.3	
		休み	1. とても長く感じる	0.8	1.3	0.6	1.1	0.8	0.3
		2. やや長く感じる	5.4	6.6	4.8	6.3	4.6	4.5	
		3. 長いとも短いとも感じない	28.3	28.5	28.2	26.0	28.3	34.3	
		4. やや短く感じる	38.2	35.8	39.5	36.4	39.3	40.6	
		5. とても短く感じる	27.3	27.8	26.9	30.1	27.1	20.3	
		部活動	1. とても長く感じる	10.8	11.8	10.3	13.1	8.5	8.6
		2. やや長く感じる	18.1	13.1	20.9	19.3	15.8	19.1	
		3. 長いとも短いとも感じない	46.5	46.3	46.6	42.0	52.5	48.1	
		4. やや短く感じる	15.5	17.3	14.5	16.8	12.6	16.9	
		5. とても短く感じる	9.1	11.6	7.7	8.9	10.6	7.3	
	で友だちと遊ぶとき	1. とても長く感じる	1.3	2.1	0.8	1.1	1.5	1.3	
	2. やや長く感じる	2.9	1.8	3.5	2.5	2.6	4.5		
	3. 長いとも短いとも感じない	18.8	18.6	18.9	16.6	20.0	22.4		
	4. やや短く感じる	30.1	29.6	30.2	28.5	32.6	29.6		
	5. とても短く感じる	47.0	47.8	46.6	51.3	43.3	42.2		
	らコンパニオンで遊ぶとき	1. とても長く感じる	3.8	5.1	3.2	3.3	4.6	4.0	
	2. やや長く感じる	13.8	14.1	13.7	13.6	14.2	13.8		
	3. 長いとも短いとも感じない	57.3	55.4	58.2	55.5	57.4	61.6		
	4. やや短く感じる	19.0	18.8	19.2	20.5	19.2	15.1		
	5. とても短く感じる	6.0	6.5	5.8	7.2	4.6	5.6		
	い家で勉強するとき	1. とても長く感じる	21.6	23.6	20.6	23.1	23.5	14.5	
	2. やや長く感じる	26.9	27.4	26.5	26.8	26.9	26.9		
	3. 長いとも短いとも感じない	23.5	21.9	24.4	22.0	23.4	27.4		
	4. やや短く感じる	19.8	18.2	20.6	20.7	18.2	20.1		
	5. とても短く感じる	8.3	9.0	7.9	7.4	8.1	11.1		
	とき家族と過ごすとき	1. とても長く感じる	2.2	3.1	1.7	2.5	1.8	2.1	
	2. やや長く感じる	4.9	5.9	4.4	5.9	4.1	4.0		
	3. 長いとも短いとも感じない	77.6	76.4	78.3	76.4	79.1	78.4		
	4. やや短く感じる	11.4	10.5	11.9	11.8	11.1	10.8		
	5. とても短く感じる	3.8	4.1	3.7	3.5	3.8	4.7		
	いテレビを見てるとき	1. とても長く感じる	1.5	1.8	1.3	1.3	1.5	1.8	
	2. やや長く感じる	4.8	5.4	4.5	5.0	4.9	4.0		
	3. 長いとも短いとも感じない	31.3	30.1	31.9	28.8	34.9	31.4		
	4. やや短く感じる	36.8	37.7	36.3	37.4	34.0	40.1		
	5. とても短く感じる	25.7	25.0	26.1	27.5	24.7	22.7		
	し友だちと電話するとき	1. とても長く感じる	2.3	3.1	1.8	1.8	2.7	2.6	
	2. やや長く感じる	5.7	6.4	5.3	6.0	5.3	5.5		
	3. 長いとも短いとも感じない	34.0	43.6	28.8	30.4	40.5	32.2		
	4. やや短く感じる	27.7	25.2	29.1	28.0	25.3	31.1		
	5. とても短く感じる	30.3	21.7	34.9	33.8	26.1	28.5		
きをテレビゲームとム	1. とても長く感じる	1.9	2.0	1.8	1.8	1.7	2.4		
2. やや長く感じる	1.3	1.6	1.1	1.2	0.9	2.2			
3. 長いとも短いとも感じない	49.1	27.3	61.5	47.1	46.6	58.4			
4. やや短く感じる	22.0	28.0	18.5	22.2	22.8	19.8			
5. とても短く感じる	25.8	41.2	17.0	27.7	28.0	17.1			

資料2 学年・性別集計表

質問項目			全 体	性 別		学 年 別			
				男 子	女 子	1 年	2 年	3 年	
19	短く感じるか、長く感じるか	一人で好きか、一人で好きでないか	1. とても長く感じる	1.3	1.7	1.1	1.0	1.5	1.6
			2. やや長く感じる	2.1	2.4	2.0	2.4	1.8	2.1
			3. 長いとも短いとも感じない	22.6	18.9	24.7	22.4	22.7	23.0
			4. やや短く感じる	31.3	29.9	32.0	31.0	30.0	34.3
			5. とても短く感じる	42.7	47.0	40.2	43.2	44.0	39.1
20	どのくらい待たされるとイライラするか	親	1. 5分くらい	22.2	28.3	18.8	23.0	22.6	19.5
			2. 10分くらい	24.6	24.6	24.6	25.3	23.8	24.0
			3. 15分くらい	18.8	15.7	20.6	18.4	18.9	19.8
			4. 20分くらい	12.4	11.2	12.9	12.3	11.3	14.5
			5. 30分くらい	14.2	12.4	15.1	13.4	15.5	13.7
			6. 45分くらい	1.7	0.7	2.2	1.8	1.4	1.8
			7. 1時間くらい	4.6	5.4	4.2	4.3	4.7	5.0
			8. 2時間くらい	0.3	0.1	0.4	0.1	0.3	0.8
			9. 3時間以上	1.3	1.6	1.2	1.3	1.5	0.8
		きょうだい	1. 5分くらい	25.1	32.5	21.1	25.9	25.5	22.6
			2. 10分くらい	25.6	24.9	25.9	26.2	25.0	25.0
			3. 15分くらい	18.1	14.0	20.5	18.7	16.9	18.9
			4. 20分くらい	12.4	12.1	12.5	11.2	12.7	14.9
			5. 30分くらい	12.3	9.7	13.7	11.2	13.3	13.0
			6. 45分くらい	1.5	0.9	1.8	1.8	1.2	1.1
			7. 1時間くらい	3.8	4.1	3.6	3.8	3.8	3.5
			8. 2時間くらい	0.5	0.3	0.5	0.5	0.2	0.8
			9. 3時間以上	0.9	1.6	0.5	0.7	1.4	0.3
		親友	1. 5分くらい	8.0	13.0	5.2	7.1	9.2	8.2
			2. 10分くらい	17.2	18.2	16.7	16.7	17.6	18.0
			3. 15分くらい	20.7	18.6	21.8	21.6	21.7	16.4
			4. 20分くらい	17.9	15.4	19.3	18.0	16.2	20.4
			5. 30分くらい	20.6	19.9	20.9	20.5	21.1	20.1
			6. 45分くらい	3.2	2.3	3.7	3.3	3.4	2.6
			7. 1時間くらい	9.4	10.0	9.0	10.0	7.8	10.3
			8. 2時間くらい	1.2	0.4	1.6	0.6	1.2	2.6
			9. 3時間以上	1.8	2.1	1.7	2.2	1.7	1.3
		同級生	1. 5分くらい	10.1	16.4	6.6	10.0	10.2	10.1
			2. 10分くらい	20.6	20.7	20.6	19.2	23.1	19.9
			3. 15分くらい	22.6	19.8	24.2	23.3	22.4	21.3
			4. 20分くらい	18.7	15.9	20.3	18.4	17.3	22.1
			5. 30分くらい	17.0	15.9	17.4	17.6	16.5	16.2
			6. 45分くらい	2.8	2.4	3.0	2.7	3.1	2.7
			7. 1時間くらい	6.4	7.2	5.9	7.4	5.5	5.3
			8. 2時間くらい	0.7	0.1	1.1	0.4	0.8	1.6
			9. 3時間以上	1.1	1.6	0.8	1.1	1.2	0.8
恋人	1. 5分くらい	9.6	12.3	8.1	8.2	10.6	11.5		
	2. 10分くらい	11.8	10.7	12.5	9.8	13.5	14.1		
	3. 15分くらい	14.6	11.8	16.1	13.8	16.3	13.9		
	4. 20分くらい	13.8	13.4	14.0	14.7	12.6	13.6		
	5. 30分くらい	21.8	19.4	23.1	22.7	19.4	23.7		
	6. 45分くらい	3.5	3.6	3.5	3.6	4.3	1.9		
	7. 1時間くらい	14.9	16.1	14.3	15.7	15.5	11.7		
	8. 2時間くらい	2.6	2.4	2.7	2.2	2.5	4.0		
	9. 3時間以上	7.3	10.3	5.6	9.3	5.4	5.6		

資料2 学年・性別集計表

質問項目		全体	性別		学年別				
			男子	女子	1年	2年	3年		
20	どのくらい待たされるとイライラするか	部活動の先輩	1. 5分くらい	10.9	17.2	7.4	10.8	10.8	11.5
			2. 10分くらい	14.8	14.8	14.9	12.5	17.2	16.6
			3. 15分くらい	19.0	19.3	18.9	17.5	22.4	16.8
			4. 20分くらい	18.4	16.2	19.7	20.6	14.9	19.0
			5. 30分くらい	20.6	17.6	22.1	20.5	20.3	21.1
			6. 45分くらい	4.0	3.1	4.5	4.4	4.1	2.9
			7. 1時間くらい	8.8	7.9	9.4	9.9	7.4	8.6
			8. 2時間くらい	1.2	1.3	1.2	1.2	0.9	1.6
			9. 3時間以上	2.2	2.7	2.0	2.5	2.0	1.9
		部活動の後輩	1. 5分くらい	24.4	34.9	18.6	25.9	25.1	19.5
			2. 10分くらい	22.5	21.5	23.1	23.8	20.8	22.4
			3. 15分くらい	18.7	15.8	20.4	16.7	21.4	19.2
			4. 20分くらい	13.1	9.4	15.2	12.6	11.8	16.8
			5. 30分くらい	12.7	10.8	13.7	12.2	12.9	13.6
			6. 45分くらい	2.1	2.0	2.2	2.4	1.7	2.1
			7. 1時間くらい	4.8	4.3	5.1	5.0	4.9	4.3
			8. 2時間くらい	0.7	0.1	1.0	0.8	0.3	1.1
			9. 3時間以上	0.9	1.1	0.7	0.6	1.1	1.1
		担任の先生	1. 5分くらい	25.0	33.2	20.4	27.0	25.3	19.0
			2. 10分くらい	18.8	16.1	20.3	18.1	18.8	20.6
			3. 15分くらい	18.7	16.0	20.1	18.7	18.2	19.3
			4. 20分くらい	13.0	10.5	14.3	12.5	13.4	13.5
			5. 30分くらい	14.5	12.9	15.5	12.6	15.3	18.3
			6. 45分くらい	2.4	2.1	2.6	2.7	2.4	1.6
			7. 1時間くらい	5.4	6.5	4.9	5.9	4.6	5.8
			8. 2時間くらい	0.6	0.4	0.7	0.7	0.5	0.5
			9. 3時間以上	1.6	2.3	1.3	1.9	1.5	1.3
21	親	1. 5分くらい	19.9	25.3	16.9	19.8	19.8	20.1	
		2. 10分くらい	22.1	22.5	21.9	23.0	22.0	19.8	
		3. 15分くらい	20.5	16.4	22.7	20.8	19.5	21.4	
		4. 20分くらい	13.3	14.0	12.9	12.8	14.3	12.7	
		5. 30分くらい	16.1	12.6	18.0	15.6	16.0	17.4	
		6. 45分くらい	1.5	1.1	1.7	1.5	1.1	2.1	
		7. 1時間くらい	4.0	4.5	3.8	3.8	4.1	4.5	
		8. 2時間くらい	0.5	0.1	0.7	0.3	0.8	0.5	
		9. 3時間以上	2.2	3.5	1.5	2.4	2.4	1.6	
	きょうだい	1. 5分くらい	20.9	27.5	17.3	21.3	21.5	18.8	
		2. 10分くらい	25.6	24.9	26.0	25.6	26.6	23.9	
		3. 15分くらい	20.1	16.8	21.9	19.8	18.6	23.3	
		4. 20分くらい	12.7	11.4	13.5	11.6	14.0	13.5	
		5. 30分くらい	13.9	11.4	15.2	14.7	12.6	14.1	
		6. 45分くらい	1.3	1.0	1.4	1.4	1.2	0.8	
		7. 1時間くらい	3.2	2.8	3.4	2.8	2.9	4.8	
		8. 2時間くらい	0.4	0.1	0.5	0.7	0.0	0.0	
		9. 3時間以上	2.0	4.0	0.9	2.1	2.6	0.8	

資料2 学年・性別集計表

質問項目		全 体	性 別		学 年 別			
			男 子	女 子	1 年	2 年	3 年	
21 どのくらい待たせて許してもらえるか	親友	1. 5分くらい	23.4	27.6	21.1	24.5	23.0	21.4
		2. 10分くらい	25.7	23.6	26.9	24.5	27.4	25.9
		3. 15分くらい	21.8	17.5	24.1	23.1	19.1	23.2
		4. 20分くらい	11.6	13.3	10.7	11.3	13.0	10.0
		5. 30分くらい	11.7	11.0	12.1	10.7	12.0	13.7
		6. 45分くらい	1.3	1.3	1.3	1.1	1.7	1.1
		7. 1時間くらい	3.2	3.0	3.3	3.7	2.4	3.2
		8. 2時間くらい	0.2	0.1	0.2	0.0	0.2	0.8
		9. 3時間以上	1.1	2.5	0.3	1.1	1.2	0.8
	同級生	1. 5分くらい	26.8	29.9	25.1	27.8	26.2	25.3
		2. 10分くらい	30.7	27.4	32.6	28.7	30.2	36.9
		3. 15分くらい	21.3	18.8	22.7	22.6	21.2	18.2
		4. 20分くらい	10.3	12.1	9.3	10.6	11.3	7.7
		5. 30分くらい	8.2	7.2	8.6	7.6	8.1	9.8
		6. 45分くらい	0.7	0.7	0.7	0.7	0.8	0.5
		7. 1時間くらい	1.1	1.6	0.8	0.8	1.4	1.3
		8. 2時間くらい	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		9. 3時間以上	0.9	2.3	0.2	1.1	0.9	0.3
	恋人	1. 5分くらい	31.1	40.4	26.0	33.7	29.3	27.7
		2. 10分くらい	24.4	23.0	25.2	22.9	25.2	26.7
		3. 15分くらい	16.3	11.3	19.1	16.6	17.8	13.1
		4. 20分くらい	9.1	8.4	9.5	9.9	8.9	7.5
		5. 30分くらい	11.0	9.1	11.9	9.4	11.2	14.7
		6. 45分くらい	1.6	1.1	1.9	2.0	1.2	1.3
		7. 1時間くらい	3.2	2.1	3.8	2.1	2.8	6.9
		8. 2時間くらい	0.7	0.4	0.8	0.5	0.9	0.5
		9. 3時間以上	2.6	4.1	1.8	2.9	2.8	1.6
	部活動の先輩	1. 5分くらい	51.0	53.5	49.6	55.1	47.2	46.8
		2. 10分くらい	26.6	24.4	27.9	24.4	27.8	30.5
		3. 15分くらい	11.5	9.5	12.5	9.6	13.5	12.8
		4. 20分くらい	4.8	5.2	4.5	4.8	4.6	5.1
		5. 30分くらい	4.0	3.5	4.3	3.8	4.6	3.5
		6. 45分くらい	0.4	0.4	0.3	0.5	0.3	0.0
		7. 1時間くらい	0.6	0.7	0.5	0.4	0.8	0.8
		8. 2時間くらい	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.3
		9. 3時間以上	1.1	2.7	0.2	1.3	1.2	0.3
部活動の後輩	1. 5分くらい	21.8	22.6	21.3	22.0	20.2	23.8	
	2. 10分くらい	27.7	24.4	29.5	26.1	27.5	32.1	
	3. 15分くらい	19.3	15.3	21.6	19.5	19.3	19.0	
	4. 20分くらい	11.8	12.5	11.5	12.0	12.1	11.0	
	5. 30分くらい	11.8	13.2	11.0	12.1	12.7	9.4	
	6. 45分くらい	1.9	1.8	1.9	2.4	1.1	1.9	
	7. 1時間くらい	2.7	3.8	2.0	2.4	3.4	2.1	
	8. 2時間くらい	0.2	0.1	0.2	0.1	0.2	0.3	
	9. 3時間以上	2.9	6.1	1.1	3.4	3.5	0.5	

資料2 学年・性別集計表

質問項目		全体	性別		学年別				
			男子	女子	1年	2年	3年		
21	どのくらい待たせてもらいますか 担任の先生	1. 5分くらい	44.0	46.2	42.8	44.2	42.2	46.6	
		2. 10分くらい	26.2	25.7	26.5	25.3	27.5	26.2	
		3. 15分くらい	13.5	10.5	15.1	13.5	14.2	12.2	
		4. 20分くらい	5.8	5.4	6.0	5.7	5.8	6.1	
		5. 30分くらい	5.9	5.2	6.3	5.7	5.7	6.6	
		6. 45分くらい	0.7	0.6	0.8	0.8	0.8	0.5	
		7. 1時間くらい	1.3	1.3	1.3	1.2	1.2	1.6	
		8. 2時間くらい	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	
		9. 3時間以上	2.5	5.1	1.1	3.3	2.6	0.3	
22	高校生世代と親世代の時間感覚	夕食時間	1. あなたの世代の方がぐんと長い	4.7	4.1	5.0	5.0	3.5	5.9
			2. あなたの世代の方がやや長い	21.4	22.4	20.8	20.8	20.6	24.5
			3. 親の世代の方がやや長い	55.6	51.1	58.1	56.2	56.4	52.4
			4. 親の世代の方がぐんと長い	18.1	22.4	15.8	17.8	19.4	16.8
		睡眠時間	1. あなたの世代の方がぐんと長い	5.1	4.7	5.4	6.0	3.8	5.3
			2. あなたの世代の方がやや長い	15.4	18.1	14.0	15.8	13.6	17.8
			3. 親の世代の方がやや長い	51.5	47.0	54.0	48.9	53.5	54.9
			4. 親の世代の方がぐんと長い	27.8	30.3	26.3	29.3	29.1	21.5
		入浴時間	1. あなたの世代の方がぐんと長い	22.4	14.4	26.8	22.5	20.3	25.7
			2. あなたの世代の方がやや長い	52.8	46.3	56.3	51.5	52.9	56.0
			3. 親の世代の方がやや長い	20.0	30.2	14.4	20.5	22.0	15.4
			4. 親の世代の方がぐんと長い	4.8	9.0	2.5	5.5	4.9	2.9
		友だちとの電話時間	1. あなたの世代の方がぐんと長い	64.7	55.0	70.1	65.2	61.0	70.2
			2. あなたの世代の方がやや長い	28.3	32.7	25.8	27.1	31.3	26.1
			3. 親の世代の方がやや長い	5.0	8.0	3.4	5.8	5.3	2.7
			4. 親の世代の方がぐんと長い	1.9	4.2	0.7	2.0	2.4	1.1
		通学時間	1. あなたの世代の方がぐんと長い	11.8	10.6	12.4	13.9	8.5	11.7
			2. あなたの世代の方がやや長い	24.4	26.7	23.1	26.5	22.3	22.3
			3. 親の世代の方がやや長い	41.5	40.7	41.9	38.9	44.9	42.3
			4. 親の世代の方がぐんと長い	22.4	21.9	22.6	20.6	24.3	23.7
		テレビを見る時間	1. あなたの世代の方がぐんと長い	64.3	63.0	65.0	62.7	65.5	66.3
			2. あなたの世代の方がやや長い	31.4	30.8	31.7	31.9	30.5	31.6
			3. 親の世代の方がやや長い	2.9	3.4	2.7	3.8	2.4	1.6
			4. 親の世代の方がぐんと長い	1.4	2.8	0.6	1.6	1.5	0.5
		読書時間	1. あなたの世代の方がぐんと長い	17.3	18.2	16.8	18.0	16.2	17.5
			2. あなたの世代の方がやや長い	20.2	23.3	18.6	20.9	18.5	21.5
			3. 親の世代の方がやや長い	39.5	34.3	42.3	37.5	40.4	43.0
			4. 親の世代の方がぐんと長い	22.9	24.2	22.2	23.6	24.8	18.0
		マンガを読む時間など	1. あなたの世代の方がぐんと長い	47.5	46.9	47.8	46.2	51.2	44.3
			2. あなたの世代の方がやや長い	46.4	43.9	47.7	48.0	41.3	50.9
			3. 親の世代の方がやや長い	3.9	5.1	3.3	3.6	4.1	4.5
			4. 親の世代の方がぐんと長い	2.2	4.1	1.2	2.2	3.4	0.3
		自宅での勉強時間	1. あなたの世代の方がぐんと長い	11.1	12.1	10.4	9.0	11.9	14.9
			2. あなたの世代の方がやや長い	31.2	29.7	32.1	27.7	30.1	42.3
			3. 親の世代の方がやや長い	40.0	36.9	41.8	43.1	38.8	34.0
			4. 親の世代の方がぐんと長い	17.7	21.3	15.7	20.2	19.1	8.8
家族団らん時間	1. あなたの世代の方がぐんと長い	2.8	2.3	3.1	2.9	2.4	3.2		
	2. あなたの世代の方がやや長い	11.2	11.2	11.2	11.4	9.3	14.1		
	3. 親の世代の方がやや長い	48.6	47.7	49.1	48.9	48.7	47.9		
	4. 親の世代の方がぐんと長い	37.3	38.8	36.5	36.8	39.5	34.8		

資料2 学年・性別集計表

質問項目		全体	性別		学年別				
			男子	女子	1年	2年	3年		
22	世代的時間感覚 高校生世代と親世代との時間感覚	友達と会う時間	1. あなたの世代の方がぐんと長い	32.9	29.2	34.8	34.7	30.0	33.2
			2. あなたの世代の方がやや長い	48.8	45.6	50.5	47.7	49.2	50.7
			3. 親の世代の方がやや長い	13.4	17.1	11.5	12.7	14.9	12.7
			4. 親の世代の方がぐんと長い	4.9	8.2	3.2	4.9	5.8	3.4
23	どのくらいがまんして聞いているか	校長のあいさつ	1. 1分以内	11.6	17.1	8.6	10.7	14.4	9.5
			2. 2～3分くらい	13.7	12.6	14.4	12.7	14.4	15.3
			3. 4～5分くらい	30.8	30.1	31.2	32.0	29.8	29.6
			4. 6～7分くらい	14.8	11.4	16.6	15.3	14.7	13.7
			5. 8～9分くらい	9.6	5.1	12.1	10.5	6.7	12.4
			6. 10分以上	19.5	23.7	17.1	19.0	20.2	19.5
		来賓のあいさつ	1. 1分以内	15.3	23.4	10.8	14.8	18.9	10.3
			2. 2～3分くらい	22.6	21.2	23.5	21.9	22.0	25.6
			3. 4～5分くらい	33.0	29.0	35.2	34.3	31.7	32.2
			4. 6～7分くらい	11.0	8.1	12.7	11.2	10.4	11.9
			5. 8～9分くらい	5.5	3.5	6.6	5.4	4.6	7.4
			6. 10分以上	12.5	14.8	11.2	12.4	12.5	12.7
		延長授業	1. 1分以内	21.4	31.0	16.1	22.9	23.9	12.9
			2. 2～3分くらい	29.0	24.8	31.4	27.6	29.9	31.1
			3. 4～5分くらい	31.3	27.4	33.3	29.5	31.6	35.6
			4. 6～7分くらい	6.2	4.7	7.0	7.0	4.4	7.1
			5. 8～9分くらい	2.9	2.4	3.2	3.5	2.1	2.9
			6. 10分以上	9.2	9.8	8.9	9.5	8.1	10.3
		親のお説教	1. 1分以内	25.9	32.9	22.0	25.9	27.1	23.6
			2. 2～3分くらい	20.7	18.2	22.1	19.9	19.8	24.4
			3. 4～5分くらい	23.7	19.4	26.0	24.5	23.3	22.3
			4. 6～7分くらい	9.2	7.1	10.4	9.4	8.7	9.5
			5. 8～9分くらい	3.6	2.8	4.0	3.9	3.0	3.7
			6. 10分以上	16.9	19.6	15.4	16.4	18.0	16.4
顧問の先生のお説教	1. 1分以内	20.6	26.5	17.3	17.9	24.8	20.5		
	2. 2～3分くらい	19.0	18.6	19.3	19.1	18.6	19.4		
	3. 4～5分くらい	24.8	19.3	27.8	27.0	23.2	21.8		
	4. 6～7分くらい	10.5	8.1	11.9	10.9	10.5	9.8		
	5. 8～9分くらい	4.6	4.4	4.7	5.0	3.1	6.1		
	6. 10分以上	20.5	23.1	19.1	20.2	19.8	22.3		
先輩のお説教	1. 1分以内	23.9	31.1	19.9	20.7	29.5	22.3		
	2. 2～3分くらい	20.2	19.9	20.4	20.0	20.3	20.7		
	3. 4～5分くらい	25.0	20.6	27.4	25.4	24.6	24.7		
	4. 6～7分くらい	10.4	8.2	11.7	11.3	9.5	9.8		
	5. 8～9分くらい	3.5	3.0	3.8	4.2	1.8	4.5		
	6. 10分以上	16.9	17.2	16.8	18.4	14.2	17.8		
担任のお説教	1. 1分以内	23.1	30.8	18.8	22.2	27.7	17.2		
	2. 2～3分くらい	21.2	18.9	22.5	21.2	20.7	22.2		
	3. 4～5分くらい	24.9	19.8	27.6	25.6	23.3	25.7		
	4. 6～7分くらい	9.5	8.5	10.2	10.7	7.3	10.3		
	5. 8～9分くらい	4.3	3.4	4.8	4.0	3.0	7.1		
	6. 10分以上	17.0	18.6	16.1	16.3	17.8	17.5		
24	授業中の態度・行動	おしゃべり	1. よくしている	17.1	15.7	17.9	17.0	16.5	18.5
			2. ときどきしている	41.5	38.7	43.0	39.0	43.4	44.6
			3. あまりしていない	23.0	23.9	22.6	23.8	23.8	19.5
			4. ほとんどしていない	18.4	21.8	16.5	20.2	16.3	17.4

資料2 学年・性別集計表

質問項目		全体	性別		学年別				
			男子	女子	1年	2年	3年		
24	授業中の態度・行動	ノートをとる	1.よくしている	70.6	61.0	75.8	73.7	62.0	77.6
			2.ときどきしている	18.6	22.9	16.4	17.8	21.6	15.6
			3.あまりしていない	7.1	9.9	5.6	6.3	9.8	4.7
			4.ほとんどしていない	3.6	6.2	2.2	2.3	6.6	2.1
		先生の話を聞く	1.よくしている	26.6	28.1	25.8	27.8	21.8	31.7
			2.ときどきしている	50.4	47.2	52.0	50.3	49.6	52.0
			3.あまりしていない	17.7	17.5	17.8	16.9	21.4	13.5
			4.ほとんどしていない	5.3	7.1	4.4	5.0	7.2	2.9
		授業中のいねむりの	1.よくしている	17.3	19.8	15.8	14.8	18.8	21.1
			2.ときどきしている	46.9	42.6	49.2	44.7	49.2	48.5
			3.あまりしていない	17.9	18.1	17.8	18.9	16.5	17.7
			4.ほとんどしていない	18.0	19.5	17.2	21.7	15.5	12.7
		「授業中に内職」	1.よくしている	8.2	8.2	8.3	5.9	10.5	10.3
			2.ときどきしている	27.9	21.6	31.3	21.1	34.5	33.9
			3.あまりしていない	25.9	22.2	28.0	23.5	27.2	29.9
			4.ほとんどしていない	38.0	47.9	32.5	49.5	27.8	25.9
授業中に雑誌を読む	1.よくしている	2.7	3.7	2.2	2.3	3.2	2.9		
	2.ときどきしている	14.2	11.9	15.5	12.1	18.0	12.9		
	3.あまりしていない	20.4	13.3	24.3	17.3	22.1	25.6		
	4.ほとんどしていない	62.7	71.2	58.0	68.3	56.7	58.6		
宿題や提出物を出す	1.よくしている	47.1	39.8	51.0	43.8	44.8	59.4		
	2.ときどきしている	31.8	33.2	31.1	33.4	32.3	26.6		
	3.あまりしていない	16.3	19.2	14.6	18.1	17.4	9.8		
	4.ほとんどしていない	4.9	7.8	3.3	4.7	5.5	4.2		
25	どちらに賛成か	A	1. 将来のために今はがまん	62.2	66.7	59.7	55.9	68.0	68.1
			2. 将来どうなるかわからないから今を楽しむ	37.8	33.3	40.3	44.1	32.0	31.9
		B	1. 旅行は計画を立てる	61.1	51.6	66.3	59.8	60.8	64.9
			2. 旅行は行き当たりばったり	38.9	48.4	33.7	40.2	39.2	35.1
		C	1. 夢実現のために時間をかける	92.0	88.5	93.9	91.9	91.0	94.2
			2. 夢実現のためにお金をかける	8.0	11.5	6.1	8.1	9.0	5.8
		D	1. 無駄な時間を少なくする	51.5	57.4	48.3	52.9	53.4	44.7
			2. 無駄な時間を多く持つ	48.5	42.6	51.7	47.1	46.6	55.3
		E	1. よい結果を残すには時間をかける	70.4	61.4	75.3	68.7	69.2	77.1
			2. よい結果を残すには一瞬のひらめき	29.6	38.6	24.7	31.3	30.8	22.9
		F	1. 旅行は計画しているときが楽しい	65.8	65.6	65.9	61.3	69.3	71.3
			2. 旅行は思い出しているときが楽しい	34.2	34.4	34.1	38.7	30.7	28.7
		G	1. 時間の使い方にこだわりがある	37.4	42.0	34.9	36.7	40.0	34.8
			2. 時間の使い方にこだわりはない	62.6	58.0	65.1	63.3	60.0	65.2
		H	1. 他人の時間の使い方が気になる	30.9	32.2	30.1	28.3	32.3	34.9
			2. 他人の時間の使い方は気にならない	69.1	67.8	69.9	71.7	67.7	65.1
I	1. テストでの失敗をいつまでも気にする	26.1	28.1	25.1	26.3	24.3	28.8		
	2. テストでの失敗は次でがんばる	73.9	71.9	74.9	73.7	75.7	71.2		
26	一番やれそうだと思う時期	読む本をたくさん	1. 小学生のとき	31.6	23.1	36.4	37.9	25.5	26.2
			2. 中学生のとき	18.5	20.5	17.4	17.9	17.9	21.1
			3. 高校生のとき	13.3	12.3	13.8	8.5	19.1	15.5
			4. 大学生(短大・専門)のとき	11.1	13.8	9.6	8.9	11.7	15.5
			5. おとなになってから	25.5	30.3	22.8	26.7	25.8	21.7
	スポーツをする	1. 小学生のとき	11.9	11.0	12.5	13.9	9.7	10.7	
		2. 中学生のとき	58.4	47.5	64.4	55.0	60.5	63.4	
		3. 高校生のとき	25.6	35.5	20.0	28.8	22.7	22.2	
		4. 大学生(短大・専門)のとき	3.1	4.9	2.1	1.1	6.0	2.9	
		5. おとなになってから	1.1	1.1	1.0	1.1	1.1	0.8	

資料2 学年・性別集計表

質問項目			全 体	性 別		学 年 別			
				男 子	女 子	1 年	2 年	3 年	
26	一番やれそうだと思う時期	友だちと遊ぶ	1.小学生のとき	19.5	24.8	16.6	21.2	16.9	19.5
			2.中学生のとき	14.1	21.7	9.9	15.2	15.6	8.5
			3.高校生のとき	42.7	28.0	50.8	47.2	36.2	42.4
			4.大学生(短大・専門)のとき	22.3	24.3	21.2	14.8	29.7	28.8
			5.おとなになってから	1.4	1.3	1.5	1.6	1.5	0.8
		テレビを見る	1.小学生のとき	40.4	39.9	40.7	43.2	36.7	39.4
			2.中学生のとき	31.7	33.6	30.7	32.0	30.6	33.0
			3.高校生のとき	16.5	14.0	17.9	14.3	19.6	16.9
			4.大学生(短大・専門)のとき	4.3	6.0	3.4	3.1	6.0	4.3
			5.おとなになってから	7.1	6.6	7.3	7.4	7.1	6.4
		趣味を育てる	1.小学生のとき	7.9	10.3	6.6	9.3	7.0	5.9
			2.中学生のとき	26.0	27.7	25.2	28.6	24.1	22.5
			3.高校生のとき	30.6	31.1	30.2	30.3	33.7	25.9
			4.大学生(短大・専門)のとき	17.9	17.0	18.4	14.4	19.0	24.9
			5.おとなになってから	17.6	14.0	19.6	17.3	16.1	20.9
		家族との	1.小学生のとき	61.7	63.9	60.5	64.8	60.6	55.6
			2.中学生のとき	16.8	15.0	17.7	16.4	15.5	20.2
			3.高校生のとき	7.9	6.2	8.8	5.9	9.6	9.9
			4.大学生(短大・専門)のとき	1.9	1.7	2.0	2.1	2.0	1.3
			5.おとなになってから	11.7	13.2	11.0	10.8	12.4	12.9
		旅行	1.小学生のとき	22.9	29.1	19.5	28.0	20.8	13.1
			2.中学生のとき	6.6	6.7	6.6	6.9	6.9	5.6
			3.高校生のとき	6.8	5.4	7.5	6.5	6.8	7.5
			4.大学生(短大・専門)のとき	35.1	31.2	37.1	33.2	32.3	44.8
			5.おとなになってから	28.6	27.5	29.3	25.3	33.2	29.1
		勉強	1.小学生のとき	3.8	4.3	3.6	4.3	4.2	2.1
2.中学生のとき	24.9		21.0	27.1	33.3	19.3	13.3		
3.高校生のとき	53.0		58.8	50.0	41.8	60.7	68.5		
4.大学生(短大・専門)のとき	17.1		14.6	18.5	19.5	14.6	15.5		
5.おとなになってから	1.1		1.3	0.9	1.1	1.2	0.5		
27	将来観	進路卒業後の	1.よく考える	47.0	38.2	51.8	35.0	49.1	74.1
			2.ときどき考える	43.6	48.4	40.9	51.1	43.2	24.9
			3.あまり考えない	7.8	9.9	6.6	11.7	5.9	0.8
			4.まったく考えない	1.7	3.6	0.6	2.2	1.7	0.3
		将来の職業につき	1.よく考える	50.4	41.2	55.4	44.0	50.6	66.3
			2.ときどき考える	38.2	40.3	36.9	41.3	39.2	28.3
			3.あまり考えない	9.1	14.0	6.5	12.2	7.4	4.3
			4.まったく考えない	2.3	4.4	1.2	2.6	2.6	1.1
		暮らし方	1.よく考える	30.8	25.2	33.9	27.3	30.2	40.6
			2.ときどき考える	38.5	37.1	39.4	36.9	40.9	38.8
			3.あまり考えない	25.5	28.9	23.6	29.3	24.1	18.4
			4.まったく考えない	5.1	8.9	3.0	6.5	4.6	2.1
		将来の結婚相手	1.よく考える	24.6	21.9	26.1	23.1	26.4	25.2
			2.ときどき考える	34.6	31.9	36.0	31.8	33.7	43.4
			3.あまり考えない	29.1	32.4	27.4	32.2	29.1	21.2
			4.まったく考えない	11.7	13.8	10.5	12.8	10.8	10.2
		子育て方の	1.よく考える	19.8	15.2	22.3	19.2	19.6	21.7
			2.ときどき考える	32.9	27.4	35.8	29.3	33.5	41.0
			3.あまり考えない	32.1	36.6	29.6	35.9	30.1	25.5
			4.まったく考えない	15.3	20.8	12.3	15.6	16.8	11.8

資料2 学年・性別集計表

質問項目			全 体	性 別		学 年 別			
				男 子	女 子	1 年	2 年	3 年	
27	将来観	日本社会人としての 社会人にな	1. よく考える	8.1	11.4	6.2	7.9	9.0	7.0
			2. ときどき考える	20.8	21.2	20.6	17.8	21.5	27.5
			3. あまり考えない	40.2	34.3	43.5	42.6	35.4	42.5
			4. まったく考えない	30.9	33.0	29.6	31.8	34.2	23.0
28	成績	クラスでの	1. 上の方	10.3	15.2	7.6	11.2	10.2	7.8
			2. 中の上	19.6	19.5	19.5	18.2	19.9	22.6
			3. 中くらい	27.5	23.1	30.0	23.9	29.0	34.2
			4. 中の下	19.9	19.4	20.3	22.2	18.3	16.7
			5. 下の方	22.7	22.8	22.6	24.4	22.5	18.6